



京都桂病院年報

2024

京都桂病院年報

はじめに

社会福祉法人 京都桂病院
京都社会事業財団

院長 大久保和俊

2024年度の京都桂病院年報を発刊いたします。1995年度に初版を刊行して以来、今回で第30版となります。COVID-19は2023年5月に感染症法上の分類が5類へ変更され、徐々に影響は縮小しています。一方で、ポストコロナ時代を迎え、補助金の終了、患者の行動変容（受診控えや早期退院）、物価高、人手不足など、医療機関を取り巻く厳しい環境が続いています。多くの医療機関が経営難に直面しており、当院も例外ではありません。

当院では2020年に新棟GH棟が完成し、がん・救急・急性期・出産・緩和などの病床機能を大幅に強化し、入院環境の改善を図りました。2022年度にはDPC特定病院群に指定され、急性期充実体制加算を取得しました。さらに2023年1月には新B棟が完成し、運用を開始しました。これにより、ERの拡充、放射線診断機器の集約、消化器内視鏡センターの移設、手術室の増設、高度ケアユニットの病床数を10床から34床へ拡大するなど、診療体制を強化しました。救急車の搬入台数は6000台を超え、全身麻酔下での手術件数も2,000件を超えています。さらに2024年1月には脊椎脊髄外科を新設し、診療を開始しました。

当院は2007年に地域がん診療連携拠点病院、2011年には地域医療支援病院に認定されました。京都府が策定した「地域医療構想」においても、西部地域における高度急性期・急性期医療を担う病院として位置付けられています。今後も、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）と6事業（救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療、へき地医療、新興感染症対策）を念頭に置き、がん医療、高度急性期・急性期医療、そしてそれらを支える各科の専門性の高い医療を三本柱として、地域に貢献してまいります。

本年報では、京都桂病院全体および各部署・診療科・委員会の活動や現状、年次推移を数字や指標で示しています。病院全体の指標や各部署の取り組みを俯瞰することで、今後の進むべき方向を考える一助としていただければ幸いです。

2025年12月吉日

目次

1

はじめに

病院現況

病院の沿革	6
病院の概要	7
医師一覧	10
病院組織図	11
委員会一覧	12
2024 年度永年勤続被表彰者一覧	13

2

患者数の推移

2024 年度 月間・科別 外来延患者数	14
年度・科別 外来延患者数	14
年度・科別 入院患者数	14
紹介・逆紹介率の推移	15
救急	15
京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 患者数 TOP30	15
京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 入院中の手術件数 TOP30	16
京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 全身麻酔有件数 TOP30	16
京都桂病院 DPC 症例数推移／京都桂病院 入院中の手術件数推移	17
京都桂病院 全身麻酔有件数推移／京都桂病院 救急車ででの入院件数推移	17

3

当院の臨床指標

2024 年度	18
---------	----

4

各科診療の状況

消化器センター消化器内科	24
消化器センター外科	26
呼吸器センター呼吸器内科	28
呼吸器センター呼吸器外科	30
心臓血管センター心臓血管内科	31
心臓血管センター心臓血管外科	34
脳卒中センター脳神経内科	35
脳卒中センター脳神経外科	37
血液内科	38
腎臓内科	39
糖尿病・内分泌・生活習慣病センター糖尿病・内分泌内科	42
腫瘍内科	44
膠原病・リウマチ科	46
脊椎脊髄外科	47
整形外科	48
形成外科	49
耳鼻咽喉科	50
皮膚科	51
泌尿器科	52
産婦人科	53

5

各部門の状況

小児科	54
眼科	56
乳腺科	57
精神科	58
緩和ケア科	59
救急科	61
麻酔科	63
病理診断科	64
放射線診断科	65
放射線治療科	66
リハビリテーションセンターリハビリテーション科	67

看護部	70
薬剤科	73
臨床工学科	82
放射線科	85
検査科	90
栄養科	92
血液浄化センター	94
外来化学療法センター	95
手術室	96
臨床試験センター	97
健康管理センター	98
TQMセンター	103
患者サポートセンター	106
がん相談支援センター	108
診療情報管理室	109
医療安全管理室	114
福祉相談室	117
心理相談室	119
研修管理事務局	120
感染対策室	122

6

各委員会の報告

褥瘡予防対策委員会	124
学術委員会	125
職員教育研修委員会	126
クリニカルパス委員会	127
NST (Nutrition Support Team) 委員会	128

1 病院現況

■ 病院の沿革

昭和 12	11	財団法人療道協会結核療養所松尾病院創立（院長 養和田益二）。34 床。
昭和 17	5	治療棟、宝寮、看護学校校舎新築。98 床。
昭和 18	3	財団法人京都府厚生事業協会（会長京都府知事）結核療養所京都厚生園（園長 養和田益二）（81 床）設立。
昭和 23	3	松尾病院（121 床）、京都厚生園（81 床）合併。名称 京都厚生園（園長 養和田益二）、202 床。
昭和 27	5	青葉寮新築。275 床。
昭和 29	3	京都市警察共済組合松尾療養所（52 床）治療受託。
昭和 30	7	松尾療養所を警察共済烏丸病院松尾分院と改称。
昭和 30	9	蒼弓寮（74 床）、炊事棟、汽缶棟新築。349 床。
昭和 35	1	烏丸病院松尾分院を京都警察病院松尾分院と改称。
昭和 35	11	病棟増築。369 床。
昭和 39	1	結核の減少を予測し、総合病院化を図るため本館（3 階建 56 床）を新築し、名称を京都桂病院（院長 養和田益二）と改称。425 床（一般 56 床・結核 369 床）
昭和 39	11	京都警察病院松尾分院譲受。477 床（一般 56 床・結核 421 床）
昭和 41	2	府警病棟を一般病棟に転用。477 床（一般 108 床・結核 369 床）
昭和 41	9	附属高等看護学校（全日制 2 年課程進学コース）併設。
昭和 42	1	整形外科、皮膚科、泌尿器科開設。
昭和 42	12	総合病院認可。
昭和 44	8	中病棟（6 階建 212 床）、動力棟新築。616 床（一般 267 床・結核 349 床）
昭和 45	8	短期一泊二日人間ドック（日本病院会認定）開始。
昭和 46	4	附属高等看護学校学生定員増員（1 学年 20 名）。
昭和 47	8	創設者 本財団会長兼院長 養和田益二 逝去。会長 山下政行 前副院長、院長 緒方 豊 前副院長就任。
昭和 48	3	循環器科、脳神経外科開設。
昭和 50	2	呼吸器センター（5 階建 236 床）新築。北園病棟群全棟、南園病棟群一部廃床。744 床（一般 399 床・結核 345 床）
昭和 50	4	個室、2 人部屋等整備減床。698 床（一般 381 床・結核 317 床）。院内保育所併設。
昭和 52	11	附属看護専門学校と改称。
昭和 53	4	東病棟を老年内科病棟に改築。675 床（一般 427 床・結核 248 床）
昭和 53	8	核医学検査（RI）開始。府警病棟一部減床。666 床（一般 427 床・結核 239 床）。
昭和 57	8	外科系総合棟（5 階建 161 床）新築。南園病棟全棟（98 床）廃床。666 床（一般 525 床・結核 141 床）
昭和 57	11	放射線治療（リニアック）開始。
昭和 61	3	附属看護専門学校新築。
昭和 63	12	外来診療棟新増築移転。外来用 CT 装置、MRI 装置設置。職員食堂改修。
平成元	4	附属京都桂臨床医学研究所設立。
平成元	8	院長 矢崎次郎 前院長補佐就任。
平成 2	4	阪急桂駅西口に病院専用バス待合所設置。
平成 4	4	院長 池田貞雄 前院長補佐就任。
平成 5	10	経営管理室設置。
平成 5	10	消化器センター開設。
平成 7	3	訪問看護ステーション「桂」開設。
平成 7	4	メディカルリンクサービス室設置。
平成 8	10	院外処方開始。
平成 9	4	在宅医療センター開設。
平成 9	6	開放型病床 5 床開設。
平成 9	9	心臓血管センター開設。
平成 9	12	外来（血液内科、内科初診、総合診療内科、消化器センター）整備。
平成 10	3	救急告示病院。
平成 10	4	臨床研修指定病院。
平成 10	10	外来（薬局、処置室、腹部エコー室、点滴室、心臓血管センター、救急室）整備。
平成 10	12	外国医師臨床研修指定病院。
平成 11	4	呼吸器棟 4 階（40 床）、5 階（結核病床 12 床・一般病床 39 床）、中棟 4 階（CCU）、5 階等整備。院長 松原義人 前副院長就任。
平成 12	4	心臓血管外科開設。
平成 12	4	外来患者用立体駐車場再整備。中棟 4 階 ICU 再整備。全日制 3 年課程に変更するため校舎を増築し、京都桂看護専門学校に改称。平成 12 年度は全日制 2 年課程 2 年生と、3 年課程 1 年生が在校。
平成 14	3	新エネルギー棟稼働。
平成 14	4	患者の収容定員変更、許可病床数 585 床（結核病床 141 床から 60 床へ）
平成 14	6	新診療棟（A・B 棟）運用開始、既存棟改修工事開始。

平成 14	11	D 棟改修工事完了。
平成 14	12	消化器内視鏡センター C 棟 1 階へ移転。
平成 15	4	リニアック棟竣工。
平成 15	6	E 棟改修工事完了。
平成 15	7	透析センター開設。
平成 16	4	院長 野口雅滋 前消化器センター所長就任。口腔外科開設。メディカルリンクサービス室を地域医療福祉連携室に改称。
平成 16	5	京都社会事業財団会長 松原義人 前京都桂病院院長就任。臨床研修医師受け入れ開始。
平成 17	3	医療安全管理室設置。
平成 18	2	病院機能評価 Ver.4.0 認定。
平成 18	6	DPC 対象病院認定。
平成 18	7	7 対 1 看護配置基準届出。
平成 18	10	職員の 4 週 8 休実施に伴い土曜外来休診。
平成 19	1	がん診療連携拠点病院に認定。
平成 19	3	病院主催第 1 回解剖慰霊祭開催。
平成 19	4	がん相談支援センター開設。
平成 19	9	経営管理室を経営企画室へ改称。
平成 19	11	創立 70 周年記念式典開催。
平成 20	3	看護師寮「ヴォーンハイム桂」完成。
平成 21	4	がん患者サロン開設。
平成 22	5	脳神経外科再開。
平成 22	9	緩和ケア科開設。
平成 22	11	外来化学療法センター整備。
平成 23	4	病院機能評価 Ver.6.0 認定。
平成 23	10	京都府知事より地域医療支援病院に承認される。
平成 24	1	電子カルテシステム稼働。
平成 24	11	開設 75 周年記念 桂樹会（OB 会）開催。
平成 24	12	当院として初めての大規模災害訓練実施。
平成 25	8	ペインクリニック開設。
平成 25	12	放射線治療装置 Vero 4DRT 稼働。
平成 26	4	神経内科を脳神経内科に変更届出。
平成 26	8	職員向け食堂ブルミエオープン。
平成 27	4	救急科開設。
平成 27	7	JR 桂川駅からの送迎バス運行開始。
平成 27	10	南玄関にて時間内・時間外救急一元化運用開始。
平成 28	2	病院機能評価 3rdG：Ver.1.1 認定。
平成 28	4	院長 若園吉裕 前院長補佐就任。京都社会事業財団会長 野口雅滋 前京都桂病院院長就任。
平成 28	6	高精度汎用リニアック始動。
平成 29	11	脳卒中センター開設。創立 80 周年記念誌発行。
平成 30	5	手術支援ロボット ダヴィンチ Xi 導入。
平成 30	6	がんゲノム医療連携病院に認定。
平成 31	1	がん患者サロン「きずな」開設 10 周年。
令和元	6	腫瘍内科開設。
令和元	6	ゲノム医療センター・がん対策戦略推進室設置。
令和元	11	小児がん連携病院に指定。
令和 2	2	新診療棟（GH 棟）運用開始。患者収容定員変更 557 床（一般 545 床、結核 12 床）
令和 2	4	緩和ケア病棟（20 床）運用開始。
令和 2	4	G 棟 4 階病棟をコロナ患者受入病棟として運用。
令和 3	2	病院機能評価 3rdG：Ver.2.0 認定。特定行為研修指定研修機関に指定。
令和 3	4	看護師特定行為研修の開始。
令和 3	6	がんセンター開設。
令和 3	8	ISO15189 の認定取得。
令和 3	10	「西京・医療出前講座」の実施に当たり、西京区内 4 病院と西京区役所との連携・協働に関する協定締結。
令和 3	12	レディースドック開始。
令和 4	4	DPC 特定病院群に指定。
令和 4	12	クラウドファンディングによるホスピタルアート完成。
令和 5	1	新 B 棟運用開始。（ICU6 床、HCU12 床、SCU6 床、CCU10 床）
令和 5	9	医療マネジメント部発足
令和 6	1	脊椎脊髄外科開設。
令和 6	4	患者収容定員変更 551 床（一般 545 床、結核 6 床）

■ 病院の概要

1. 名称
社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院
2. 院長
若園吉裕
3. 所在地
京都市西京区山田平尾町 17 番地
4. 電話
(075) 391 - 5811 (代)・FAX (075) 381 - 4224
5. ホームページ
<https://www.katsura.com>
6. Eメール
info@katsura.com
7. 開設年月日
昭和 12 年 11 月 10 日
8. 許可病床数
551 床 (一般…545 床 結核…6 床)
9. 面積
延床面積 約 48,500㎡ 建築面積 約 16,500㎡敷地面積 約 48,000㎡
10. 診療科目
一般内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ科、心臓血管センター (心臓血管内科、心臓血管外科)、消化器センター (消化器内科、外科)、乳腺科、呼吸器センター (呼吸器内科、呼吸器外科)、脳卒中センター (脳神経内科、脳神経外科)、整形外科、脊椎脊髄外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、小児科、緩和ケア科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、腫瘍内科、血液浄化センター
11. 付属施設
健康管理センター 人間ドック (一泊二日・半日・政府管掌ドック・脳ドック) 京都桂臨床医学研究所 臨床試験センター 院内保育所
12. 診療指定
二次健康診断等給付養育、療育、特定疾患、小児慢性、戦傷病者特別、原子爆弾被害者、助産 (第 1 種)、公害、育成、更生 (整形外科、心臓血管外科、腎臓内科)、身体障害、母体保護、結核、精神保険医療、国民健康保険、労災、生活保護
13. 救急医療
救急告示病院 二次後送病院
14. 地域医療 (京都府指定)
地域医療支援病院
15. 教育指定 (厚生労働省指定)
臨床研修指定病院小児がん連携病院がんゲノム医療連携病院
地域がん診療連携拠点病院
特定行為研修指定研修機関指定 (特定行為区分 4 区分、救急領域)
外国医師臨床修練指定病院 (呼吸器科、循環器科)
16. 学会等認定施設
日本呼吸器内視鏡学会 専門医制度認定施設
左心耳閉鎖システム実施施設 認定
日本呼吸器学会 認定施設
日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度 薬物療法専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定
日本産科婦人科学会 専門医制度卒後研修指導施設・専攻医指導施設
日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師制度 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設 (基幹施設) 認定
日本臨床腫瘍学会 認定研修施設
臨床検査室 認定施設 (公益財団法人 日本適合性認定協会: ISO15189)
日本消化器病学会 専門医制度認定施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本乳癌学会 関連施設認定
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本放射線腫瘍学会 認定協力施設
日本心血管インターベンション治療学会 研修施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修認定施設
一般社団法人 薬学教育協議会 薬学生実務実習受入施設証
日本外科学会 外科専門医制度修練施設
日本眼科学会 専門医制度研修施設
日本整形外科学会 専門医制度研修施設
日本神経学会 専門医制度教育施設
日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育施設
特定非営利活動法人日本緩和医療学会基幹施設
日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関
日本糖尿病学会 認定教育施設
日本胃癌学会認定施設 A
日本リハビリテーション医学会 研修施設
日本形成外科学会 認定施設
日本臨床細胞学会 施設認定
労働指定医療機関等登録 (変更) 通知書
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
日本病態栄養学会認定 栄養管理・NST 実施施設
日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設
一般社団法人日本感染症学会 研修施設認定証
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 基幹施設
呼吸器外科専門医合同委員会 基幹施設
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
①日本循環器学会 循環器専門医研修施設②循環器疾患診療実態調査 (2014 年度) 協力認定
非血縁者間造血幹細胞移植診療科施設
日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設
一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会 認定施設
日本骨髓バンク・一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会 非血縁者間骨髓採取・移植認定施設
日本皮膚科学会 専門医研修施設
臨床研修協力施設
日本血液学会 認定血液研修施設
日本消化器外科学会 専門医修練施設
日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設
日本リウマチ学会 教育施設
日本緩和医療学会 認定研修施設
がん診療連携拠点病院指定
母体保護法指定医師指定基準 設備指定書
MRI 対応埋め込み型不整脈治療デバイス患者の MRI 検査の施設基準
日本急性血液浄化学会認定施設
日本医療機能評価機構認定 (3rd G: Ver.2.0)
母体保護法指定医師研修機関
IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル実施施設
日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
関連 10 学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設 (胸部大動脈瘤ステントグラフト実施基準による血管内治療の実施施設)
関連 10 学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設 (腹部大動脈瘤ステントグラフト実施基準による血管内治療の実施施設)
日本透析医学会施設認定
日本心臓血管外科手術データベース機構 日本成人心臓血管外科手術データベース 認定施設
日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医研修施設
京都府保健医療計画における脳卒中の医療機能を担う医療機関

日本病理学会 研修認定施設 B
 日本胆道学会認定施設指導医制度 指導施設認定証
 日本気管食道科学会 研修施設認定証
 日本消化管学会 胃腸科指導施設証
 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設認定証
 日本病院薬剤師会 プレアポイド報告施設証
 KES・環境マネジメントシステム・スタンダード登録証 KES 環境機構
 日本病理精度保証機構 認定証
 日本腎臓学会 研修施設
 日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能専門医修練施設 B
 NCD(Natioanal Clinical Database) (外科系領域データベース) 登録施設
 日本アレルギー学会 アレルギー専門医教育研修施設
 日本アフェレシス学会 認定施設
 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士認定規定 認定教育施設
 日本精神神経学会精神科専門医制度 研修施設
 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する指定機関
 日本消化器外科学会 学会連携証明 対象術式 腹腔鏡下肝切除術
 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
 人間ドック健診専門医研修施設
 健康保険組合連合会指定の人間ドック実施施設
 経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術に関する施設
 第一回日本病態栄養学会・日本栄養士会認定がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設
 日本核医学会専門医教育病院認定施設
 日本産婦人科学会 ロボット支援下婦人科良性疾患手術実施施設
 日本心臓血管麻酔学会 基幹施設
 日本肝臓学会 認定施設
 日本脳卒中学会一次脳卒中センター認定施設
 日本甲状腺学会認定専門医施設認定証
 一般社団法人 日本血液学会認定専門医研修認定施設
 日本医療薬学会薬学専門薬剤師精度 医療薬学専門薬剤師研修施設
 日本脳卒中学会専門医認定制度 研修教育施設
 日本緩和医療薬学会 緩和医療専門薬剤師研修施設
 日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
 近畿ブロック小児がん連携病院
 京都市消防団協力事業所認定継続通知書
 特定行為研修指定研修機関指定証 (特定行為区分 7 区分、救急領域)
 日本内分泌学会内分泌代謝専門医制度 認定教育施設
 日本乳癌学会 認定施設認定証
 日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設認定証
 日本専門医機構 京都桂病院内科専門研修プログラム
 結核指定医療機関指定書

17. 承認施設基準

- ・ 一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1)
- ・ 急性期充実体制加算 1
- ・ 救急医療管理加算
- ・ 超急性期脳卒中加算
- ・ 診療録管理体制加算 3
- ・ 医師事務作業補助体制加算 2 (15 対 1 補助体制加算)
- ・ 急性期看護補助体制加算 25 対 1 (看護補助者 5 割以上) 夜間 100 対 1
- ・ 急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算 看護補助体制充実加算 2
- ・ 看護職員夜間配置加算 (12 対 1 配置加算 1)
- ・ 療養環境加算
- ・ 重症者等療養環境特別加算
- ・ 無菌治療室管理加算 1
- ・ 緩和ケア診療加算
- ・ 摂食障害入院医療管理加算
- ・ 栄養サポートチーム加算
- ・ 医療安全対策加算 1 (注 2: 医療安全対策地域連携加算 1)
- ・ 感染対策向上加算 1 (注 2 に規定する指導強化加算) (注 5 に規定する抗菌薬適正使用体制加算)
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 重症患者初期支援充実加算
- ・ 報告書管理体制加算
- ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ ハイリスク妊娠管理加算
- ・ ハイリスク分娩管理加算
- ・ 呼吸ケアチーム加算
- ・ 後発医薬品使用体制加算 1
- ・ バイオ後続品使用体制加算
- ・ 入院支援加算 1 (入院時支援加算: 有)
- ・ 認知症ケア加算【加算 1】
- ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算

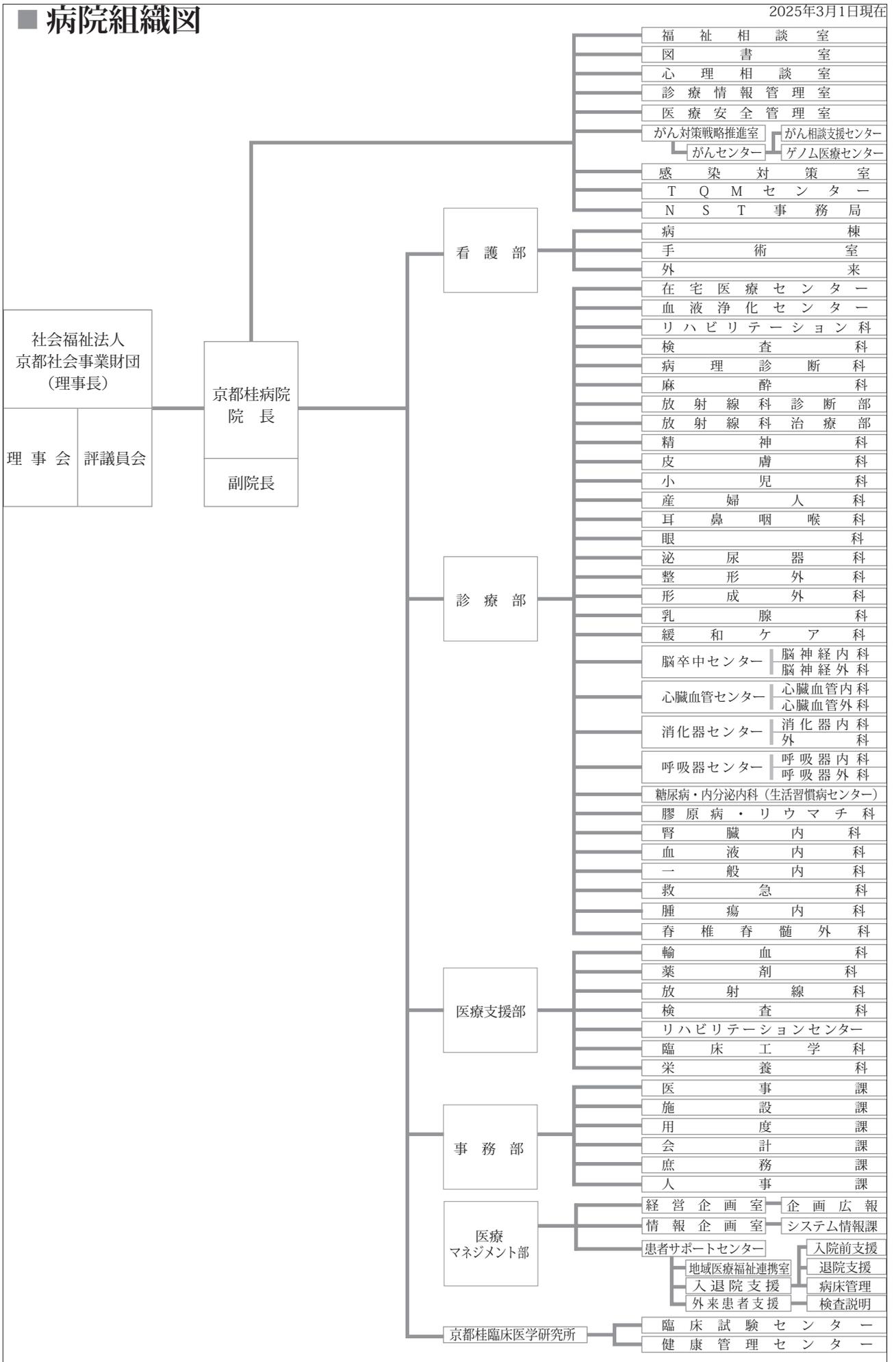
- ・ 病棟薬剤業務実施加算 1
- ・ 病棟薬剤業務実施加算 2
- ・ データ提出加算
- ・ 精神疾患診療体制加算
- ・ 排尿自立支援加算
- ・ 地域医療体制確保加算
- ・ 特定集中治療室管理料 1 (早期栄養介入管理加算) (早期離床・リハビリテーション加算)
- ・ 特定集中治療室管理料 3 (早期栄養介入管理加算) (早期離床・リハビリテーション加算)
- ・ ハイケアユニット入院医療管理料 1 (早期栄養介入管理加算) (早期離床・リハビリテーション加算)
- ・ 小児入院医療管理料 4 (注 7 に規定する養育支援体制加算)
- ・ 緩和ケア病棟入院料 1
- ・ 入院時食事療養費 (I)
- ・ 外来栄養食事指導料 (注 2 に規定する外来化学療法の実施患者の栄養食事指導を行う場合)
- ・ 外来栄養食事指導料 (注 3 に規定するがん専門管理栄養士が栄養食事指導を行う場合)
- ・ 心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に掲げる遠隔モニタリング加算
- ・ 糖尿病合併症管理料
- ・ がん性疼痛緩和指導管理料
- ・ がん患者指導管理料イ
- ・ がん患者指導管理料ロ
- ・ がん患者指導管理料ハ
- ・ がん患者指導管理料ニ
- ・ 外来緩和ケア管理料
- ・ 移植後患者指導管理料 (臓器移植後)
- ・ 移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)
- ・ 糖尿病透析予防指導管理料 (高度腎機能障害患者指導加算)
- ・ 婦人科特定疾患治療管理料
- ・ 腎代替療法指導管理料
- ・ 二次性骨折予防継続管理料 1
- ・ 二次性骨折予防継続管理料 3
- ・ 下肢創傷処置管理料
- ・ 慢性腎臓病透析予防指導管理料
- ・ 救急搬送看護体制加算 1 (夜間休日救急搬送医学管理料の注 3)
- ・ 外来放射線照射診療料
- ・ 外来腫瘍化学療法診療料 1
- ・ 連携充実加算 (外来腫瘍化学療法診療料 1 の注 6)
- ・ ニコチン依存症管理料
- ・ 相談支援加算 (療養・就労両立支援指導料の注 3)
- ・ 開放型病院共同指導料
- ・ がん治療連携計画策定料
- ・ 外来排尿自立指導料
- ・ ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- ・ 肝炎インターフェロン治療計画料
- ・ 薬剤管理指導料
- ・ 医療機器安全管理料 1
- ・ 医療機器安全管理料 2
- ・ 禁煙治療補助システム指導管理加算
- ・ 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
- ・ 在宅患者訪問看護・指導料の注 15 (同一建物居住者訪問看護・指導料の注 6 の規定により準用する場合を含む。)に掲げる訪問看護・指導体制充実加算
- ・ 在宅血液透析指導管理料
- ・ 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算
- ・ 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合及び皮下連続式グルコース測定)
- ・ 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
- ・ 遺伝学的検査の注 1 に規定する施設基準
- ・ 骨髄微小残存病変量測定
- ・ BRCA1 / 2 遺伝子検査 (腫瘍細胞を検体とするもの) (血液を検体とするもの)
- ・ がんゲノムプロファイリング検査
- ・ 先天性代謝異常症検査
- ・ 抗 H L A 抗体 (スクリーニング検査) 及び抗 H L A 抗体 (抗体特異性同定検査)
- ・ H P V 核酸検出及び H P V 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
- ・ ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 (S A R S - C o V - 2 核酸検出を含まないもの)
- ・ ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 (髄液)
- ・ 検体検査管理加算 (I)
- ・ 検体検査管理加算 (IV)
- ・ 国際標準検査管理加算
- ・ 遺伝カウンセリング加算
- ・ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算

- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・長期継続頭蓋内脳波検査
- ・神経学的検査
- ・ロービジョン検査判断料
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・内服・点滴誘発試験
- ・CT透視下気管支鏡検査加算
- ・画像診断管理加算2
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・冠動脈CT撮影加算
- ・血流予備量比コンピューター断層撮影
- ・心臓MRI撮影加算
- ・頭部MRI撮影加算
- ・全身MRI撮影加算
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・無菌製剤処理科
- ・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・集団コミュニケーション療法料
- ・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
- ・人工腎臓
- ・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
- ・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
- ・ストーマ合併症加算
- ・磁気による膀胱等刺激法
- ・緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
- ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
- ・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
- ・緊急穿頭血腫除去術
- ・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
- ・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
- ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
- ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
- ・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- ・緑内障手術(濾過腔再建術(needle法))
- ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
- ・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
- ・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- ・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
- ・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・気管支バルブ留置術
- ・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
- ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
- ・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- ・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- ・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるものに限る))
- ・経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
- ・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- ・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
- ・両室ペース機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペース機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- ・大動脈バルーンパンピング法(ⅠA B P法)
- ・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
- ・経皮的下肢動脈形成術
- ・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
- ・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
- ・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
- ・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
- ・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
- ・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
- ・体外衝撃波胆石破砕術
- ・腹腔鏡下肝切除術
- ・体外衝撃波碎石破砕術
- ・腹腔鏡下腫瘍摘出術
- ・腹腔鏡下膵尾部腫瘍切除術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
- ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- ・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・生体腎移植術
- ・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
- ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・尿道狭窄グラフト再建術
- ・人工尿道括約筋植込・置換術
- ・精巣温存手術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- ・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
- ・腹腔鏡下子宮癬痕部修復術
- ・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術)
- ・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)
- ・周術期栄養管理実施加算
- ・輸血管理料Ⅱ
- ・輸血適正使用加算
- ・コーディネート体制充実加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料(Ⅰ)
- ・放射線治療専任加算
- ・外来放射線治療加算
- ・高エネルギー放射線治療
- ・1回線量増加加算(新設:強度変調放射線治療(ⅠMRT)の1回線量増加加算)
- ・強度変調放射線治療(ⅠMRT)
- ・画像誘導放射線治療(ⅠGRT)
- ・体外照射呼吸性移動対策加算
- ・定位放射線治療
- ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・病理診断管理加算1
- ・悪性腫瘍病理組織標本加算
- ・看護職員処遇改善評価料71
- ・外来・在宅ベースアップ評価料(1)
- ・入院ベースアップ評価料(80)
- ・白内障患者に対する水晶体再建術に使用する多焦点眼内レンズ支給

(2025年3月1日現在)

■ 病院組織図

2025年3月1日現在



委員会一覧

2024年6月1日現在

委員会名	委員長名
医療ガス委員会	麻酔科 小山 智 弘
防火・防災管理委員会	事務部長 志 賀 徹 也
安全衛生委員会	精神科 伊 佐 将 人
医療安全対策委員会	副院長 藤 井 茂 彦
透析機器安全管理委員会	腎臓内科 宮 田 仁 美
個人情報管理委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊
N S T 委員会	消化器センター消化器内科 畦 地 英 全
クリニカルパス委員会	脳卒中センター脳神経外科 中 久 木 卓 也
褥瘡予防対策委員会	形成外科 / 皮膚科 河合勝也 / 石川牧子
感染対策委員会	血液内科 菱 澤 方 勝
虐待防止委員会	小児科 澤 田 眞 智 子
広報委員会	眼科 栗 本 雅 史
診療情報管理委員会	副院長 藤 井 茂 彦
地域医療支援委員会	副院長 藤 井 茂 彦
栄養管理委員会	糖尿病・内分泌内科 長 嶋 一 昭
電子カルテ管理委員会	放射線科治療部 坂 本 隆 吏
リハビリテーション運営委員会	リハビリテーションセンター 宮 崎 博 子
保険診療委員会	副院長 間 中 大
図書委員会	小児科 澤 田 眞 智 子
輸血委員会	呼吸器センター呼吸器外科 青 山 晃 博
病床運営委員会	消化器センター外科 福 光 劍
救急委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊
手術室運営委員会	副院長 間 中 大
緩和医療委員会	緩和ケア科 清 水 正 樹
せん妄・認知症ケア委員会	精神科 三 嶋 亮
外来運営委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊
臨床検査の適正化に関する委員会	副院長 藤 井 茂 彦
薬事委員会	副院長 西 村 尚 志
診療材料委員会	呼吸器センター呼吸器外科 青 山 晃 博
人事委員会	副院長 西 村 尚 志
働き方改革委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊
臨床倫理委員会	副院長 間 中 大
職員教育研修委員会	看護部長 谷 口 文 代
倫理・臨床研究審査委員会	糖尿病・内分泌内科 長 嶋 一 昭
治験審査委員会	緩和ケア科 清 水 正 樹
医師の勤務状況改善委員会	消化器センター消化器内科 藤 井 茂 彦
学術委員会	放射線科治療部 坂 本 隆 吏
臨床研修指導医委員会	副院長 西 村 尚 志
研修管理委員会	副院長 西 村 尚 志
専門医プログラム管理委員会	腎臓内科 宮 田 仁 美
がん化学療法委員会	副院長 西 村 尚 志
建築委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊
口腔機能管理プロジェクト委員会	副院長 西 村 尚 志
将来構想委員会	院長 若 園 吉 裕
特定行為管理委員会	院長 若 園 吉 裕
病院機能評価受審委員会	院長補佐 大 久 保 和 俊

会議など

TQMセンター	副院長 間 中 大
臨床試験センター	副院長 藤 井 茂 彦
がん対策戦略推進室	院長 若 園 吉 裕
がんセンター運営会議	副院長 間 中 大

2024年度永年勤続被表彰者一覧

被表彰者一覧

敬称及び役職は略させていただきます。

30年

堀井 美紀（看護部）
末井 文恵（看護管理室）
島野 綾（看護部）

（計3名）

20年

木村 まゆみ（看護部）	舘 智子（臨床工学科）
森田 純子（検査科）	小寺 聡（看護部）
船津 篤史（心臓血管センター・心臓血管内科）	田渕 陽子（看護部）
藏敷 恵美（検査科）	鍋田 恒美（看護部）
助安真彦（内視鏡センター）	平田 直子（看護部）
西田 毅之（地域医療福祉連携室）	秋田 隆一郎（医事課）
野中 崇大（経営企画室）	澤 清秀（医事課）
為沢 茜（リハビリテーション科）	北原 聡（医事課）

（計16名）

10年

浅田 藍（看護部）	小島 佳奈子（看護部）
北川 佳奈（看護部）	竹村 岬（看護部）
谷 掛寿美（看護部）	中村 亜希世（看護部）
半田 玲（糖尿病・内分泌内科）	小畑 杏奈（眼科）
山野 言（糖尿病・内分泌内科）	崎山 優子（看護部）
伊藤 仁（放射線治療科）	安田 可織（血液浄化センター）
望月 都（看護部）	美多賀 鼻裕美（看護部）
横山 健輔（検査科）	小川 貴之（手術室）
北村 愛（看護部）	出井 和美（看護部）
國本 果歩（看護部）	長谷田 紘志（入退院支援室）

（計20名）

総計 39名

2 患者数の推移

■ 2024 年度月間・科別 外来延患者数

外来延患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般内科	455	437	401	454	433	408	497	468	468	418	429	402	5,270
血液内科	800	826	768	857	686	773	889	774	787	780	682	835	9,457
内分泌・糖尿病内科	1,155	1,150	1,087	1,229	1,126	1,084	1,203	1,088	1,135	1,118	1,017	1,074	13,466
脳神経内科	480	460	463	447	506	452	495	422	482	422	407	427	5,463
腎臓内科	532	571	504	576	481	537	595	506	540	566	503	551	6,462
整形外科	667	620	671	671	600	614	625	639	600	607	563	594	7,471
形成外科	363	315	304	314	345	230	310	313	237	204	183	166	3,284
眼科	1,531	1,514	1,433	1,535	1,309	1,399	1,500	1,353	1,528	1,367	1,287	1,466	17,222
膠原病・リウマチ科	655	663	630	743	618	668	666	644	620	638	582	633	7,760
小児科	579	646	535	584	538	495	568	532	567	526	474	620	6,664
泌尿器科	853	899	867	925	881	910	1,042	869	992	900	878	916	10,932
皮膚科	723	759	697	847	715	732	805	681	714	661	612	650	8,596
脳神経外科	295	268	279	276	224	279	300	280	290	247	242	285	3,265
腫瘍内科	123	125	121	152	145	155	171	149	156	140	144	143	1,724
産婦人科	765	741	722	764	616	724	862	720	752	696	692	800	8,854
消化器科	1,885	1,885	1,986	2,074	1,871	1,960	2,262	2,009	2,060	1,791	1,857	2,078	23,718
外科	900	869	853	861	825	765	823	772	732	746	714	840	9,700
乳腺科	387	346	364	401	332	377	405	375	387	361	306	370	4,411
循環器科	740	710	697	814	655	769	823	713	776	734	640	783	8,854
心臓血管外科	174	144	165	186	140	145	191	174	169	169	149	177	1,983
呼吸器外科	251	263	236	227	239	235	285	233	229	233	222	235	2,888
呼吸器内科	981	1,026	973	1,066	955	973	1,033	1,017	1,028	916	884	986	11,838
耳鼻咽喉科	647	621	587	677	579	570	611	601	577	528	560	591	7,149
精神科	1,206	1,221	1,154	1,246	1,165	1,138	1,243	1,122	1,153	1,093	1,060	1,102	13,903
放射線科	545	614	627	533	511	478	544	441	504	366	472	661	6,296
RH科	911	897	846	963	946	917	959	866	880	788	758	855	10,586
緩和ケア科	25	20	31	27	21	25	26	26	25	32	24	23	305
血液浄化センター	610	609	557	620	581	542	574	533	518	517	457	500	6,618
救急科	488	515	507	698	657	540	543	547	711	603	539	560	6,908
脊椎脊髄外科	171	215	195	257	282	261	334	296	290	305	335	323	3,264
合計	19,897	19,949	19,260	21,024	18,982	19,155	21,184	19,163	19,907	18,472	17,672	19,646	234,311

2 患者数の推移

■ 年度・科別 外来延患者数

	2022年度	2023年度	2024年度
外来延患者数	245,295	234,401	234,311
一般内科	4,563	4,963	5,270
血液内科	9,824	9,775	9,457
内分泌・糖尿病内科	15,108	13,918	13,466
脳神経内科	5,889	5,395	5,463
腎臓内科	5,928	6,265	6,462
整形外科	9,665	8,589	7,471
形成外科	5,227	4,441	3,284
眼科	19,935	18,171	17,222
膠原病・リウマチ科	7,474	7,630	7,760
小児科	6,550	6,533	6,664
泌尿器科	13,430	11,133	10,932
皮膚科	7,660	8,405	8,596
脳神経外科	3,191	3,193	3,265
腫瘍内科	1,603	1,434	1,724
産婦人科	11,721	10,389	8,854
消化器内科	22,733	22,574	23,718
外科	10,105	9,993	9,700
乳腺科	4,441	4,286	4,411
循環器科	10,508	8,827	8,854
心臓血管外科	1,431	1,648	1,983
呼吸器外科	3,103	2,893	2,888
呼吸器内科	12,096	12,479	11,838
耳鼻咽喉科	6,066	6,519	7,149
精神科	16,199	15,045	13,903
放射線科	6,924	6,280	6,296
RH科	9,587	9,556	10,586
緩和ケア科	375	317	305
血液浄化センター	7,766	7,412	6,618
救急科	6,193	6,090	6,908
脊椎脊髄外科	-	248	3,264
1日平均患者数	1,009.4	964.6	964.2
単価	22,382	23,618	23,268

■ 年度・科別 入院延患者数

	2022年度	2023年度	2024年度
新入院患者数	12,538	12,599	13,512
退院患者数	12,535	12,599	13,472
入院延患者数	164,083	162,911	163,391
一般内科	-	-	-
血液内科	13,441	15,049	12,622
内分泌・糖尿病内科	4,136	4,461	4,254
脳神経内科	7,013	6,970	7,630
腎臓内科	7,136	6,263	5,481
整形外科	9,950	7,938	6,288
形成外科	1,995	1,279	975
眼科	3,068	2,865	2,528
膠原病・リウマチ科	2,760	2,804	3,089
小児科	1,742	1,939	1,918
泌尿器科	7,793	6,037	6,198
皮膚科	846	807	1,302
脳神経外科	8,485	7,226	7,287
腫瘍内科	1,229	1,312	1,006
産婦人科	4,941	4,348	3,708
消化器内科	19,842	21,353	21,872
外科	16,053	16,099	14,779
乳腺科	724	805	1,046
循環器科	18,654	15,224	16,556
心臓血管外科	3,847	3,906	4,718
呼吸器外科	4,876	4,820	4,837
呼吸器内科	15,070	15,993	13,778
耳鼻咽喉科	1,292	1,836	1,985
緩和ケア科	5,407	5,248	5,210
救急科	3,783	8,153	9,396
脊椎脊髄外科	-	176	4,928
1日平均患者数	449.5	445.1	447.6
単価	77,663	82,590	87,272
平均在院日数	13.4	13.2	12.3
病床利用率	82.5%	81.7%	82.1%

■ 紹介・逆紹介

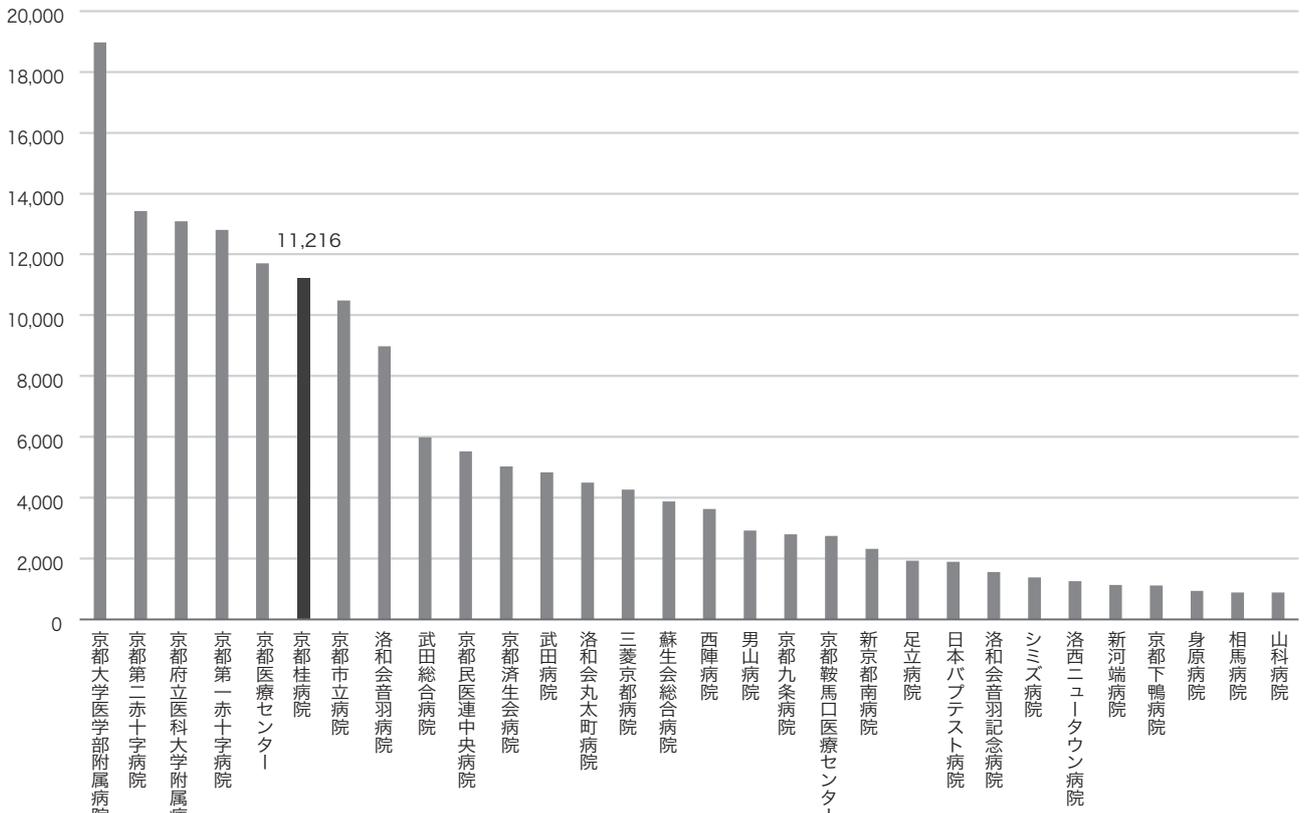
	2022年度	2023年度	2024年度
紹介率	74.9%	74.5%	76.8%
逆紹介率	187.4%	184.5%	185.7%

■ 救急

	2022年度	2023年度	2024年度
救急患者数	11,569	11,567	12,528
入院患者数	3,572	4,284	4,452
救急車受入率	67.0%	73.4%	77.9%
救急車搬入件数	5,673	5,973	6,304
西京救急	2,021	2,116	2,343
乙訓消防組合	986	1,095	1,112
中部広域救急	612	623	777
右京救急	1,127	1,259	1,272
南救急	394	400	418
中京救急	218	199	147
伏見救急	78	77	76
下京救急	39	31	20
上京救急	58	48	40
左京救急	18	10	10
東山救急	12	7	2
その他	110	108	87

■ 京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 患者数 TOP30

(2023年4月～2024年3月)

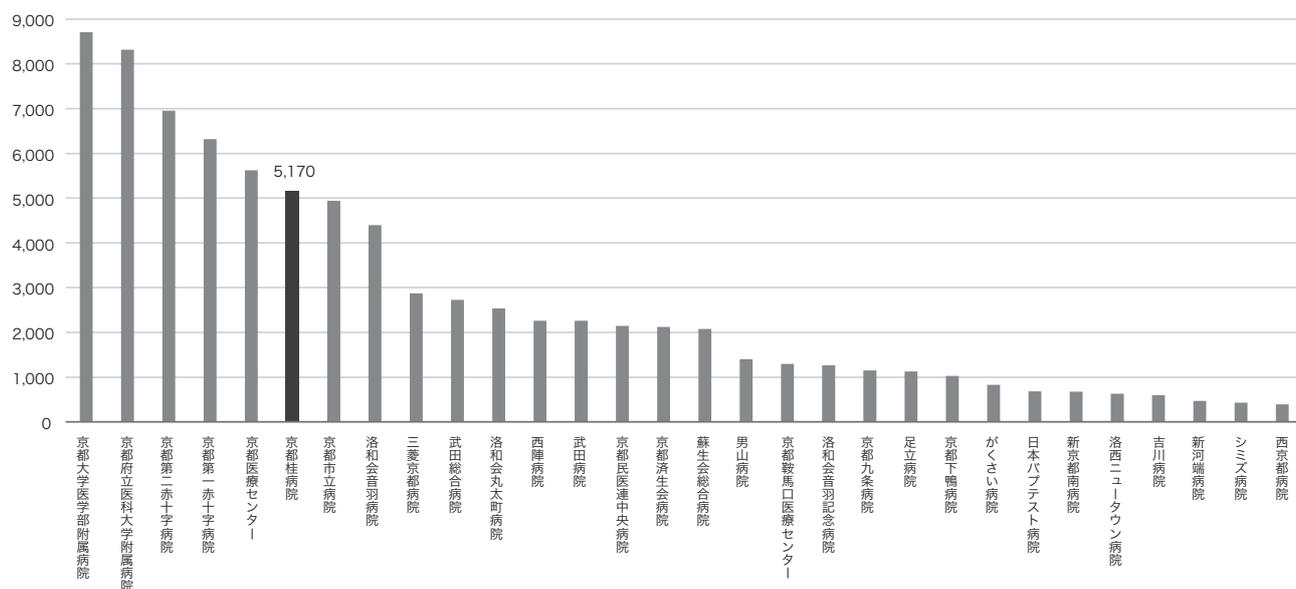


厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会

令和5年度「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について」より

■ 京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 入院中の手術件数 TOP30

(2023年4月～2024年3月)

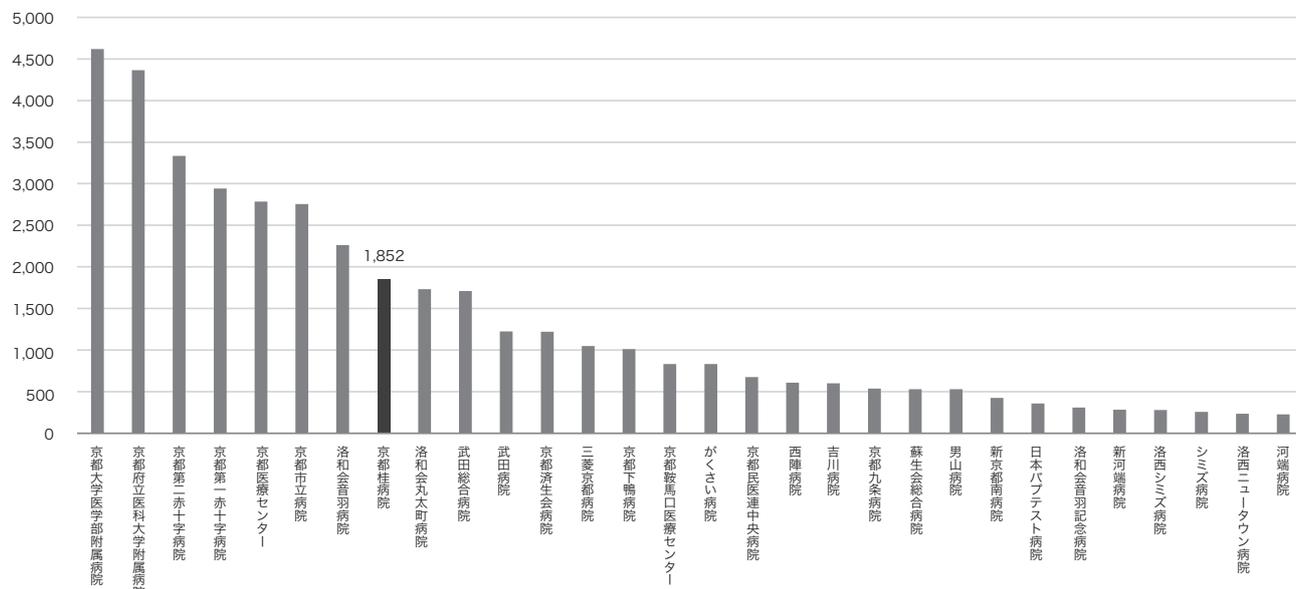


厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会

令和4年度「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について」より

■ 京都・乙訓二次医療圏 DPC 対象病院・DPC 準備病院 全身麻酔有件数 TOP30

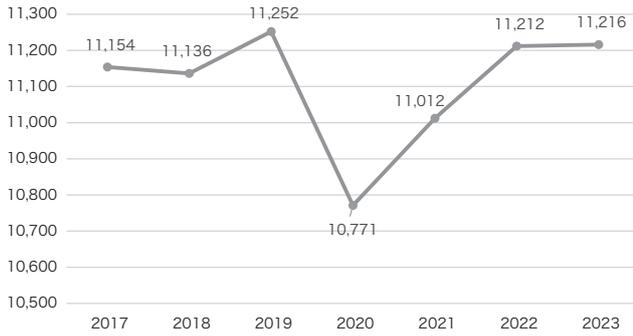
(2023年4月～2024年3月)



厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会

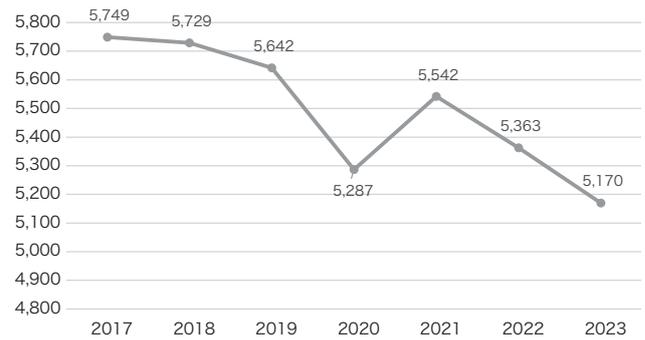
令和5年度「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について」より

■ 京都桂病院 DPC 症例数推移



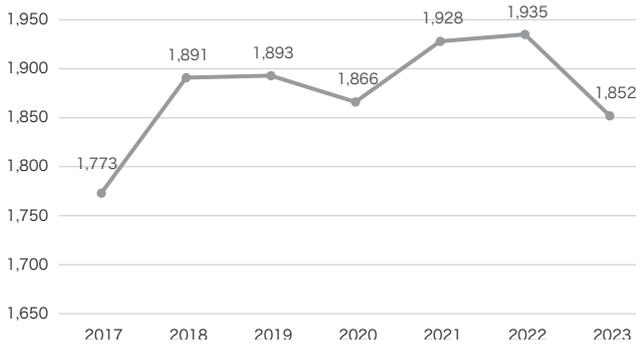
厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会
令和 5 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」
の結果報告について」より

■ 京都桂病院 入院中の手術件数推移



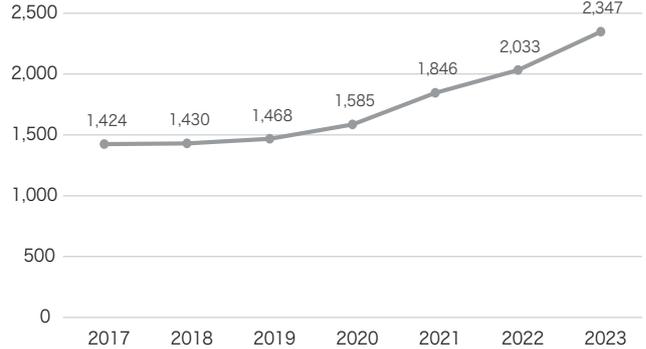
厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会
令和 5 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」
の結果報告について」より

■ 京都桂病院 全身麻酔有件数推移



厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会
令和 5 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」
の結果報告について」より

■ 京都桂病院 救急車で入院件数推移



厚生労働省 診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会
令和 5 年度「DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」
の結果報告について」より

3 当院の臨床指標

■ 2024 年度

*実数は、別に定める除外規定あり

*除外規定の相違により、同一の分母名でも、実数が異なる場合あり

No	項目	定義・計算式	京都桂病院			日本病院会QI 平均値
			2021年度	2022年度	2023年度	
1-a	患者満足度（外来患者）	【分子】 「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に満足と回答した外来患者数	2021年度	205人 /499人	41.1%	46.8%
			2022年度	179人 /403人	44.4%	46.9%
		【分母】 患者満足度調査に回答した外来患者数	2023年度	198人 /654人	30.3%	45.7%
			2024年度	183人 /633人	28.9%	-
1-b	患者満足度（外来患者）	【分子】 「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に満足またはやや満足と回答した外来患者数	2021年度	424人 /499人	85.0%	83.6%
			2022年度	348人 /403人	86.4%	83.8%
		【分母】 患者満足度調査に回答した外来患者数	2023年度	472人 /654人	72.2%	82.8%
			2024年度	451人 /633人	71.2%	-
2-a	患者満足度（入院患者）	【分子】 「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に満足と回答した入院患者数	2021年度	303人 /514人	58.9%	61.3%
			2022年度	282人 /452人	62.4%	60.5%
		【分母】 患者満足度調査に回答した入院患者数	2023年度	262人 /439人	59.7%	60.1%
			2024年度	241人 /401人	60.1%	-
2-b	患者満足度（入院患者）	【分子】 「この病院について総合的にはどう思われますか？」の設問に満足またはやや満足と回答した入院患者数	2021年度	481人 /514人	93.6%	90.1%
			2022年度	425人 /452人	94.0%	89.8%
		【分母】 患者満足度調査に回答した入院患者数	2023年度	391人 /439人	89.1%	89.5%
			2024年度	361人 /401人	90.0%	-
3-a	入院患者の転倒・転落発生率	【分子】 医療安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数	2021年度	472人 /158339人	2.98%	2.82%
			2022年度	497人 /164083人	3.03%	2.76%
		【分母】 入院延べ患者数	2023年度	405人 /162911人	2.49%	2.83%
			2024年度	356人 /163391人	2.18%	-
3-b	入院患者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル2以上）	【分子】 医療安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・転落件数	2021年度	81人 /158339人	0.51%	0.84%
			2022年度	78人 /164083人	0.48%	0.75%
		【分母】 入院延べ患者数	2023年度	71人 /162911人	0.44%	0.86%
			2024年度	86人 /163391人	0.53%	-
3-c	入院患者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル4以上）	【分子】 医療安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル4以上の転倒・転落件数	2021年度	15人 /158339人	0.09%	0.06%
			2022年度	10人 /164083人	0.06%	0.05%
		【分母】 入院延べ患者数	2023年度	9人 /162911人	0.06%	0.06%
			2024年度	10人 /163391人	0.06%	-
3-d	65歳以上の入院患者における 転倒・転落発生率	【分子】 65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数	2021年度	429人 /135726人	3.16%	3.22%
			2022年度	456人 /130150人	3.50%	3.12%
		【分母】 65歳以上の入院患者延べ数	2023年度	369人 /130111人	2.84%	3.19%
			2024年度	324人 /130658人	2.48%	-

No	項目	定義・計算式		京都桂病院			日本病院会QI 平均値
4-a	新規圧迫創傷（褥瘡）発生率	【分子】	調査期間中にd2（真皮までの損傷）以上の院内新規圧迫創傷発生患者数	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	調査期間初日（0時時点）の入院患者数＋調査期間に新たに入院した患者数	2023年度	223人 /17331人	1.3%	0.8%
				2024年度	191人 /18127人	1.1%	-
4-b	新規医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）発生率	【分子】	調査月の新規医療関連機器圧迫創傷（Medical Device Related Pressure Injury：MDRPI）発生患者数	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	調査期間初日（0時時点）の入院患者数＋調査期間に新たに入院した患者数	2023年度	39人 /17331人	0.2%	0.3%
				2024年度	39人 /18127人	0.2%	-
4-c	持ち込み圧迫創傷（褥瘡）率	【分子】	入院後24時間以内に圧迫創傷発生の記録がある患者数	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	調査期間に新たに入院した患者数	2023年度	194人 /12598人	1.5%	1.7%
				2024年度	256人 /13512人	1.9%	-
5	紹介割合	【分子】	初診患者数	2021年度			
				2022年度	11968人 /11577人	103.4%	72.4%
		【分母】	紹介患者数＋救急患者数	2023年度	12052人 /11686人	103.1%	80.4%
				2024年度	13220人 /12417人	106.5%	-
6	逆紹介割合	【分子】	逆紹介患者数	2021年度			
				2022年度	21694人 /212596人	102.0%	69.6%
		【分母】	初診＋再診患者数	2023年度	21557人 /199580人	108.0%	66.7%
				2024年度	23064人 /199101人	115.8%	-
7	症候性尿路感染症発生率	【分子】	分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数	2021年度	66回 /29012人	2.27%	3.3%
				2022年度	78回 /32686人	2.39%	2.2%
		【分母】	入院患者における尿道留置カテーテル挿入延べ日数	2023年度	69回 /32947人	2.09%	3.0%
				2024年度	104回 /33107人	3.14%	-
8	救急車・ホットラインの応需率	【分子】	救急車で来院した患者数	2021年度	4759人 /6600人	72.1%	80.3%
				2022年度	5671人 /8470人	67.0%	74.0%
		【分母】	救急車受け入れ要請件数	2023年度	5973人 /8134人	73.4%	76.8%
				2024年度	6304人 /8091人	77.9%	-
9	特定術式における手術開始1時間以内の予防的抗菌薬投与率	【分子】	手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数	2021年度	491件 /491件	100.0%	93.7%
				2022年度	455件 /455件	100.0%	93.3%
		【分母】	特定術式の手術件数（冠動脈バイパス手術、その他心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術）	2023年度	441件 /441件	100.0%	93.3%
				2024年度	454件 /455件	99.8%	-
10	特定術式における術後24時間（心臓手術は48時間）以内の予防的抗菌薬投与停止率	【分子】	術後24時間以内（冠動脈バイパス手術またはその他の心臓手術の場合48時間以内）に予防的抗菌薬投与が停止された手術件数	2021年度	218件 /279件	78.1%	53.4%
				2022年度	181件 /265件	68.3%	54.8%
		【分母】	特定術式の手術件数（冠動脈バイパス手術、その他心臓手術、大腸手術、子宮全摘除術）	2023年度	163件 /274件	59.5%	53.7%
				2024年度	165件 /294件	56.1%	-

No	項目	定義・計算式		京都桂病院			日本病院会QI 平均値
				2021年度	2022年度	2023年度	
11	特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率	【分子】	術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数	2021年度	485件 /491件	98.8%	91.0%
				2022年度	440件 /455件	96.7%	92.4%
		【分母】	特定術式の手術件数（冠動脈バイパス手術、その他心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘除術）	2023年度	433件 /441件	98.2%	92.6%
				2024年度	443件 /455件	97.4%	-
12-a	糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) < 7.0%	【分子】	HbA1c (NGSP) の最終値が 7.0%未満の外来患者数	2021年度	1836人 /5935人	30.9%	47.3%
				2022年度	2027人 /6418人	31.6%	48.2%
		【分母】	糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数（過去1年間に該当治療薬が外来で90日以上処方されている患者）	2023年度	1673人 /5604人	29.9%	50.0%
				2024年度	1610人 /5115人	31.5%	-
12-b	65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) < 8.0%	【分子】	HbA1c (NGSP) の最終値が 8.0%未満の65歳以上の外来患者数	2021年度	2534人 /3539人	71.6%	77.8%
				2022年度	2886人 /4160人	69.4%	78.5%
		【分母】	糖尿病の薬物治療を施行されている65歳以上の外来患者数（過去1年間に該当治療薬が外来で90日以上処方されている患者）	2023年度	2302人 /3748人	61.4%	79.2%
				2024年度	2137人 /3370人	63.4%	-
13	退院後4週間以内の予定外再入院割合	【分子】	分母のうち、前回退院から4週間以内に計画外で再入院した患者数	2021年度	223人 /12259人	1.8%	2.2%
				2022年度	416人 /12368人	3.4%	2.8%
		【分母】	退院患者数	2023年度	425人 /12431人	3.4%	2.9%
				2024年度	498人 /13368人	3.7%	-
14	退院後7日以内の予定外再入院割合	【分子】	分母のうち、前回退院から7日以内に計画外で再入院した患者数	2021年度	168人 /12259人	1.4%	1.1%
				2022年度	158人 /12368人	1.3%	1.0%
		【分母】	退院患者数	2023年度	147人 /12431人	1.2%	1.1%
				2024年度	148人 /13368人	1.1%	-
15	脳梗塞 (TIA 含む) 患者のうち入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合	【分子】	分母のうち、入院2日目までに抗血栓療法もしくは、一部の抗凝固療法 (オザグレリナトリウム) を受けた患者数	2021年度	99人 /124人	79.8%	70.3%
				2022年度	92人 /125人	73.6%	68.8%
		【分母】	18歳以上の脳梗塞か TIA と診断された入院患者数	2023年度	122人 /155人	78.7%	68.2%
				2024年度	75人 /107人	70.1%	-
16	脳梗塞 (TIA 含む) 患者における抗血小板薬処方割合	【分子】	分母のうち、抗血小板薬を処方された患者数	2021年度	58人 /61人	95.1%	85.9%
				2022年度	54人 /56人	96.4%	83.5%
		【分母】	18歳以上の脳梗塞か TIA と診断された入院患者数	2023年度	80人 /87人	92.0%	82.5%
				2024年度	87人 /111人	78.4%	-
17	脳梗塞患者におけるスタチン処方割合	【分子】	分母のうち、スタチンが処方された患者数	2021年度	40人 /68人	58.8%	50.1%
				2022年度	43人 /73人	58.9%	51.2%
		【分母】	脳梗塞で入院した患者数	2023年度	60人 /84人	71.4%	50.3%
				2024年度	118人 /178人	66.3%	-
18	脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリテーション治療を受けた症例の割合	【分子】	分母のうち、入院後早期 (3日以内) にリハビリテーション治療を受けた症例	2021年度	87人 /119人	73.1%	79.3%
				2022年度	90人 /125人	72.0%	78.5%
		【分母】	18歳以上の脳梗塞と診断された入院患者数	2023年度	132人 /144人	91.7%	81.9%
				2024年度	150人 /154人	97.4%	-

No	項目	定義・計算式		京都桂病院			日本病院 会QI 平均値
19	統合指標 (Composite Measures) 【手術】	【分子】	指標 No.9,10,11 の分子の合計	2021 年度	1194 件 /1261 件	94.7%	83.5%
				2022 年度	1076 件 /1175 件	91.6%	84.3%
		【分母】	指標 No.9,10,11 の分母の合計	2023 年度	1037 件 /1156 件	89.7%	84.2%
				2024 年度	1062 件 /1204 件	88.2%	-
20	統合指標 (Composite Measures) 【脳梗塞】	【分子】	指標 No.15,16,17,18 の分子の合計	2021 年度	296 人 /384 人	77.1%	71.4%
				2022 年度	296 人 /396 人	74.7%	70.6%
		【分母】	指標 No.15,16,17,18 の分母の合計	2023 年度	413 人 /490 人	84.3%	69.3%
				2024 年度	430 人 /550 人	78.2%	-
21-a	1 か月間・100 床当たりのインシデント・アクシデント報告件数	【分子】	調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告件数×100	2021 年度	231300 件 /6540 床	35.4 件	41.9 件
				2022 年度	248100 件 /6540 床	37.9 件	41.5 件
		【分母】	許可病床数×12ヶ月	2023 年度	241700 件 /6540 床	37.0 件	45.4 件
				2024 年度	223000 件 /6540 床	34.1 件	-
21-b	全報告中医師による報告の占める割合	【分子】	分母のうち、医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数	2021 年度	84 件 /2313 件	3.6%	4.1%
				2022 年度	51 件 /2481 件	2.1%	4.8%
		【分母】	調査期間中の月毎の入院患者におけるインシデント・アクシデント報告総件数	2023 年度	79 件 /2417 件	3.3%	4.5%
				2024 年度	94 件 /2230 件	4.2%	-
22	職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率	【分子】	インフルエンザワクチンを予防接種した職員数	2021 年度	964 人 /1249 人	77.2%	92.9%
				2022 年度	990 人 /1310 人	75.6%	90.7%
		【分母】	職員数	2023 年度	942 人 /1356 人	69.5%	88.8%
				2024 年度	908 人 /1438 人	63.1%	-
23	糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合	【分子】	分母のうち、特別食加算の算定回数	2021 年度	51846 回 /71354 回	72.7%	66.2%
				2022 年度	53579 回 /73520 回	72.9%	68.6%
		【分母】	18 歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的でない入院症例の食事回数	2023 年度	56198 回 /79933 回	70.3%	68.0%
				2024 年度	55087 回 /79775 回	69.1%	-
24-a	カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用時の血液培養実施率	【分子】	分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した人数	2021 年度	257 人 /592 人	43.4%	38.1%
				2022 年度	303 人 /687 人	44.1%	38.6%
		【分母】	カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、(バンコマイシン内服は除く) 投与を開始した入院症例数	2023 年度	314 人 /651 人	48.2%	38.4%
				2024 年度	267 人 /620 人	43.1%	-
24-b	カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用までの培養検査実施率	【分子】	分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した人数	2021 年度	318 人 /592 人	53.7%	81.2%
				2022 年度	630 人 /687 人	91.7%	83.5%
		【分母】	カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、抗 MRSA 薬 (バンコマイシン内服は除く) 投与を開始した入院症例数	2023 年度	600 人 /651 人	92.2%	84.3%
				2024 年度	573 人 /620 人	92.4%	-
25-a	血液培養検査において、同日に 2 セット以上の実施割合	【分子】	血液培養のオーダーが 1 日に 2 件以上ある日数 (人日)	2021 年度	2888 回 /3239 回	89.2%	71.8%
				2022 年度	3175 回 /3513 回	90.4%	75.1%
		【分母】	血液培養のオーダー日数 (人日)	2023 年度	3558 回 /3894 回	91.4%	75.7%
				2024 年度	2799 回 /3640 回	76.9%	-

No	項目	定義・計算式		京都桂病院			日本病院会QI 平均値
25-b	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合(生後28日未満)	【分子】	血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数(人日)	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	血液培養のオーダー日数(人日) (実施日が生後28日未満)	2023年度	0回 /9回	0.0%	-
				2024年度	0回 /18回	0.0%	-
25-c	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合(生後28日以上2歳未満)	【分子】	血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数(人日)	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	血液培養のオーダー日数(人日) (実施日が生後28日以上2歳未満)	2023年度	1回 /25回	4.0%	-
				2024年度	1回 /31回	3.2%	-
25-d	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合(2歳以上6歳未満)	【分子】	血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数(人日)	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	血液培養のオーダー日数(人日) (実施日が2歳以上6歳未満)	2023年度	0回 /20回	0.0%	-
				2024年度	1回 /23回	4.3%	-
25-e	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合(6歳以上)	【分子】	血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数(人日)	2021年度			
				2022年度			
		【分母】	血液培養のオーダー日数(人日) (実施日が6歳以上)	2023年度	3313回 /3569回	92.8%	-
				2024年度	2566回 /3320回	77.3%	-
26-a	脳卒中患者に対する地域連携の実施割合	【分子】	分母のうち、地域連携に関する算定のある患者数	2021年度	58人 /127人	45.7%	46.6%
				2022年度	71人 /145人	49.0%	45.4%
		【分母】	脳卒中中で入院した患者数	2023年度	184人 /244人	75.4%	61.1%
				2024年度	210人 /285人	73.7%	-
26-b	大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携の実施割合	【分子】	分母のうち、地域連携に関する算定のある患者数	2021年度	9人 /15人	60.0%	59.4%
				2022年度	11人 /23人	47.8%	60.9%
		【分母】	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数	2023年度	49人 /55人	89.1%	76.8%
				2024年度	35人 /41人	85.4%	-
27	18歳以上の身体拘束率	【分子】	分母のうち、(物理的)身体拘束を実施した患者延べ数	2021年度	21580人 /154437人	14.0%	12.1%
				2022年度	23249人 /161709人	14.4%	12.2%
		【分母】	18歳以上の入院患者延べ数	2023年度	22663人 /160484人	14.1%	11.8%
				2024年度	15500人 /157754人	9.8%	-
28-a	大腿骨頸部骨折の早期手術割合	【分子】	分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数	2021年度	32人 /43人	74.4%	28.2%
				2022年度	49人 /57人	86.0%	32.4%
		【分母】	大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数	2023年度	54人 /63人	85.7%	33.2%
				2024年度	39人 /51人	76.5%	-
28-b	大腿骨転子部骨折の早期手術割合	【分子】	分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数	2021年度	24人 /30人	80.0%	38.2%
				2022年度	28人 /31人	90.3%	41.5%
		【分母】	大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた患者数	2023年度	42人 /46人	91.3%	44.3%
				2024年度	25人 /29人	86.2%	-

No	項目	定義・計算式	京都桂病院			日本病院会QI 平均値
			2021年度	2022年度	2023年度	
29	シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤投与率	【分子】 分母のうち、実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数	2021年度	193人 /200人	96.5%	84.7%
			2022年度	172人 /195人	88.2%	79.5%
		【分母】 18歳以上の患者で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた実施日数	2023年度	141人 /159人	88.7%	84.8%
			2024年度	136人 /149人	91.3%	-
30	抗MRSA薬投与に対する薬物血中濃度測定割合	【分子】 分母のうち、薬物血中濃度を測定された患者数	2021年度	193人 /200人	96.5%	89.1%
			2022年度	257人 /260人	98.8%	89.6%
		【分母】 TDMを行うべき抗MRSA薬を投与された患者数	2023年度	178人 /179人	99.4%	89.8%
			2024年度	197人 /202人	97.5%	-
31-a	薬剤管理指導実施割合（病棟薬剤業務実施加算の有る医療機関）	【分子】 分母のうち、薬剤管理指導を受けた患者数	2021年度	11570人 /12300人	94.1%	74.3%
			2022年度	11847人 /12414人	95.4%	74.3%
		【分母】 入院患者数	2023年度	11965人 /12482人	95.9%	75.5%
			2024年度	12979人 /13398人	96.9%	-
31-b	薬剤管理指導実施割合（病棟薬剤業務実施加算の無い医療機関）	【分子】 分母のうち、薬剤管理指導を受けた患者数	2021年度			
			2022年度	-	-	44.9%
		【分母】 入院患者数	2023年度	-	-	44.5%
			2024年度	-	-	-
32	アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率	【分子】 分母のうち退院時に酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された患者数	2021年度			
			2022年度	617人 /719人	85.8%	83.5%
		【分母】 退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の患者数	2023年度	492人 /586人	84.0%	83.4%
			2024年度	516人 /617人	83.6%	-

4 各科診療の状況

消化器センター・消化器内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	203	188	186	220	204	228	230	210	201	225	187	211	2493
退院患者数	201	185	176	212	205	221	228	214	220	190	188	205	2445
延患者数 (退院含)	1936	1831	1725	1777	1804	2101	1959	1757	1802	1747	1673	1760	21872
延患者数 (退院含まず)	1735	1646	1549	1565	1599	1880	1731	1543	1582	1557	1485	1555	19427
平均在院日数	10.4	10.4	9.9	8.6	9.3	9.5	8.9	8.4	8.6	8.8	9.6	8.8	9.2

年間延外来患者数	23,718	小腸バルーン内視鏡	9
1日平均外来患者数	97.6	小腸カプセル内視鏡	16
年間延入院患者数	21,872	内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)	517
1日平均入院患者数	59.9	内視鏡的胆道ドレナージ	283
平均在院日数	9.2	超音波内視鏡 (EUS)	445
上部消化管内視鏡	8,297	超音波内視鏡下穿刺生検法 (EUS-FNA)	111
上部消化管内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	28	超音波内視鏡下ドレナージ	23
上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	133	腹部超音波検査	5,482
下部消化管内視鏡	3,611	経皮的ラジオ波焼灼療法 (RFA)	23
外来大腸コールドポリペクトミー	490	経皮的胆嚢/胆道ドレナージ (PTCD) / 肝膿瘍ドレナージ	37
下部消化管内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	434	腹部血管造影検査/肝動脈化学塞栓療法 (TACE)	52
下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	46	下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術	46

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第107回日本消化器内視鏡学会総会	2024/05/31	藤井 茂彦	臨床的寛解にある潰瘍性大腸炎の粘膜治癒評価における便中カルプロテクチンと血清 Leucine-rich glycoprotein の有用性	東京都
第107回日本消化器内視鏡学会総会	2024/05/31	中井 喜貴	当センターでの ERCP 検査時における放射線被ばく線量管理の現状と放射線技師の役割	東京都
第107回日本消化器内視鏡学会総会	2024/05/31	岡田 圭次郎	結腸憩室出血に対する内視鏡的クリッピングとその工夫	東京都
第107回日本消化器内視鏡学会総会	2024/06/01	世木 美壮	自己免疫性胃炎における胃癌合併の危険因子	東京都
第60回日本肝臓学会総会	2024/06/14	前田 智美	部分脾動脈塞栓術 (partial splenic embolization:PSE) の長期予後の検討	熊本市
第60回日本肝臓学会総会	2024/06/14	黄 宣輔	高感度 HB コア関連抗原検査の有用性に関する検討	熊本市
第112回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	2024/06/29	徳林 佑美	当院における 10mm 以下の表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡治療の現状	大阪市
第112回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	2024/06/29	松本 峻和	内視鏡的粘膜下層剥離術により診断に至った胃原発濾胞性リンパ腫の一例	大阪市
第112回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	2024/06/29	前田 智美	腸閉塞を呈しダブルバルーン内視鏡で診断した小腸濾胞性リンパ腫の1例	大阪市
第55日本膵臓学会大会	2024/07/26	中井 喜貴	膵管内乳頭粘液性腫瘍症例における高齢者の至適な経過観察に対する検討	名古屋市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	中川 理花	Klebsiella pneumoniae による侵襲性肝膿瘍症候群を発生し、眼内炎に至った一例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	八城 誠	多発リンパ節腫大を伴う肝腫瘍	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	黄 宣輔	切除不能肝細胞癌のアテゾリズマブ / ベバシズマブ併用療法において長期 CR が得られた症例の検討	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	徳林 佑美	超高齢者における胃 ESD 後の経口摂取再開時期に関する検討	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	松ヶ根 綾乃	5-FU 投与による高アンモニア血症を呈した食道癌の一例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	寺村 茉莉	臨床的寛解にある潰瘍性大腸炎におけるバイオマーカーの内視鏡的寛解及び組織学的寛解予測能の検討	京都市
日本消化器病学会近畿支部第121回例会	2024/09/28	若林 輝	5-ASA 製剤による薬剤性肺炎を発生した潰瘍性大腸炎の一例	京都市
第60回日本胆道学会学術集会	2024/10/10	中井 喜貴	膵頭十二指腸切除後の肝内胆管に魚骨様の異物により胆管炎を繰り返し発症した症例	名古屋市

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 60 回日本胆道学会学術集会	2024/10/10	中井 喜貴	膵頭十二指腸切除後の肝内胆管に魚骨様の異物により胆管炎を繰り返し発症した症例	名古屋市
第 113 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	2024/12/07	黄 宣輔	スライディングチューブを用いて内視鏡的に摘出し得た結腸異物の一例	大阪市
第 113 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	2024/12/07	世木 美壮	大腸憩室炎との鑑別が困難であった異物による大腸炎の一例	大阪市
日本消化器病学会近畿支部第 122 回例会	2025/02/15	林 良樹	アテゾリズマブとベバシズマブ併用療法が著効した赤血球増多症・高エリスロポエチン血症を合併した巨大肝細胞癌の 1 例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第 122 回例会	2025/02/15	村上 萌映	サイトメガロウイルス腸炎により穿通を来した大腸憩室症の 1 例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第 122 回例会	2025/02/15	桐山 宜生	輪状腺に合併した腺癌の 1 例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第 122 回例会	2025/02/15	八城 誠	当院での治療切除不能胆道癌における遺伝子パネル検査の現状	京都市

■ 論文・著書等

1) An Analysis of Delayed Bleeding in Cases of Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection Due to Types of Direct Oral Anticoagulants in Japan.

Yoshida N, Hayashi Y, Togo D, Oka S, Takada K, Fukunaga S, Morita Y, Hayashi T, Kozuka K, Tsuji Y, Murakami T, Yamamura T, Komeda Y, Takeuchi Y, Shinmura K, Fukuda H, Yoshii S, Ono S, Katsuki S, Kawashima K, Nemoto D, Yamamoto H, Saito Y, Tamai N, Iwao A, Itoi Y, Tsuji S, Inagaki Y, Inada Y, Soga K, Hasegawa D, Murakami T, Yoriki H, Fukumoto K, Motoyoshi T, Nakatani Y, Sano Y, Iguchi M, Fujii S, Ban H, Harada K, Okamoto K, Nishiyama H, Sasaki F, Mizukami K, Shono T, Shimoda R, Miike T, Yamaguchi N.

- Clin Gastroenterol Hepatol. 2024 Feb;22(2):271-282.e3.

2) Early detection of pancreatic cancer by comprehensive serum miRNA sequencing with automated machine learning.

Kawai M, Fukuda A, Otomo R, Obata S, Minaga K, Asada M, Umemura A, Uenoyama Y, Hieda N, Morita T, Minami R, Marui S, Yamauchi Y, Nakai Y, Takada Y, Ikuta K, Yoshioka T, Mizukoshi K, Iwane K, Yamakawa G, Namikawa M, Sono M, Nagao M, Maruno T, Nakanishi Y, Hirai M, Kanda N, Shio S, Itani T, Fujii S, Kimura T, Matsumura K, Ohana M, Yazumi S, Kawanami C, Yamashita Y, Marusawa H, Watanabe T, Ito Y, Kudo M, Seno H.

- Br J Cancer. 2024 Oct;131(7):1158-1168.

3) Technique for stretching a bent guidewire with a biopsy forceps in endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.

Nakai Y, Araki O, Nakamura T, Aoki K, Itokawa Y, Fujii S.

- Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E1122-E1123.

消化器センター・外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	88	106	80	95	104	85	94	109	106	95	104	81	1147
退院患者数	100	116	82	93	114	85	92	111	120	87	96	99	1195
延患者数 (退院含)	1271	1281	1053	1409	1223	1006	1162	1336	1339	1210	1275	1214	14779
延患者数 (退院含まず)	1171	1165	971	1316	1109	921	1070	1225	1219	1123	1179	1115	13584
平均在院日数	14.0	11.7	12.3	15.6	11.3	11.5	12.3	12.1	11.7	13.2	12.5	13.1	12.6

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	9,700	鼠経ヘルニア	112 例
新患者数	128	結腸・直腸癌	129 例
1日平均患者数	39.9	胆石・胆嚢炎	154 例
		肝・胆道癌	28 例
		膵癌	35 例
		胃がん	42 例
		食道癌	9 例

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 124 回日本外科学会定期学術集会	2024.04	間中 大	臨床病期 III 胃癌に対する術前 S-1+ オキザリプラチン併用療法 (G-SOX) の長期成績の検討	常滑市
第 124 回日本外科学会定期学術集会	2024.04	小西 小百合	胃癌に対する幽門側胃切除術におけるロボット支援下 (RDG) 及び腹腔鏡下 (LDG) 手術の安全性および術後成績の比較検討	常滑市
第 124 回日本外科学会定期学術集会	2024.04	森岡 三智奈	高齢者における StageIV 胃癌に対する conversion surgery の安全性の検討	常滑市
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会	2024.05	森岡 三智奈	ハイポラーデバイス BiSect を用いた TAPP 法の手術手技	新潟市
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会	2024.05	伏谷 仁志	当院における大腿ヘルニアの緊急手術におけるメッシュの使用率に関する検討	新潟市
第 79 回日本消化器外科学会総会	2024.07	岡村 裕輔	高齢者膵癌において年齢による適応限界の設定は困難である	下関市
第 79 回日本消化器外科学会総会	2024.07	間中 大	CY1P0 胃癌に対する Conversion Surgery の治療成績についての検討	下関市
第 79 回日本消化器外科学会総会	2024.07	小西 小百合	ロボット支援胃全摘術における circular stapler を用いた Roux-en-Y 法に関する安全性についての検討	下関市
第 79 回日本消化器外科学会総会	2024.07	伏谷 仁志	腹腔鏡下結腸切除による腸間膜欠損部が原因となった内ヘルニアの 2 例	下関市
第 60 回日本移植学会総会	2024.09	福光 剣	切除不能大腸癌肝転移に対する conversion 療法と肝移植の比較検討	長崎市
第 60 回日本胆道学会学術集会	2024.10	福光 剣	肝内胆管癌と鑑別が困難であった魚骨による炎症性腫瘍の 1 例	名古屋市
第 62 回日本癌治療学会学術集会	2024.10	間中 大	Stage IV 胃癌に対する免疫チェックポイント阻害剤を用いた conversion surgery の検討	福岡市
第 62 回日本癌治療学会学術集会	2024.10	高橋 亮	80 歳以上のハイリスク StageII 大腸癌患者に対する術後補助化学療法の実臨床を検証する	福岡市
第 62 回日本癌治療学会学術集会	2024.10	小西 小百合	cStageIII 胃癌に対する術前補助化学療法 (macG-SOX130) 第 II 相試験の 5 年 follow-up 解析	福岡市
第 62 回日本癌治療学会学術集会	2024.10	齊藤 靖裕	切除不能進行再発大腸癌に対する抗 EGFR 抗体薬リチャレンジ症例の検討	福岡市
第 86 回日本臨床外科学会学術集会	2024.11	齊藤 靖裕	膵頭十二指腸切除術後の肝内胆管癌と鑑別が困難であった、魚骨の迷入による炎症性腫瘍の一例	宇都宮市

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 37 回日本内視鏡外科学会総会	2024.12	福光 剣	肝十二指腸間膜内の神経鞘腫に対して腹腔鏡下腫瘍摘出術を施行した一例	福岡市
第 37 回日本内視鏡外科学会総会	2024.12	高橋 亮	結腸左半切除後の腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術の際、腹腔鏡下に ICG 腸管血流評価を行った 1 例	福岡市
第 37 回日本内視鏡外科学会総会	2024.12	小西 小百合	ロボット支援胃全摘術における circular stapler を用いた Roux-en-Y 法の有用性の検討と手技の工夫	福岡市
第 37 回日本内視鏡外科学会総会	2024.12	伏谷 仁志	TAPP における術後漿液腫の発生に影響するリスク因子の検討	福岡市
第 22 回日本臨床腫瘍学会学術集会	2025.03	福光 剣	Living donor liver transplantation as a part of multidisciplinary treatment for unresectable colorectal liver metastases	神戸市
第 97 回日本胃癌学会総会	2025.03	間中 大	cStage III 胃癌に対する術前 SOX 療法による類同障害に対する ICG 検査を用いた肝障害度の評価	名古屋市
第 97 回日本胃癌学会総会	2025.03	小西 小百合	幽門側胃切除術における B2 再建の術後 1 年目の上部消化管内視鏡による残胃炎の検討	名古屋市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 18 回関西ヘルニア研究会 2024	2024.11	伏谷 仁志	鼠径部切開法を学ぶ	大阪市

呼吸器センター・呼吸器内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	69	93	74	79	96	78	99	85	106	104	74	89	1,046
退院患者数	69	94	78	78	93	88	102	98	104	96	85	81	1,066
延患者数 (退院含)	1,085	1,162	947	903	1,226	1,296	1,054	1,194	1,197	1,455	1,087	1,172	13,778
延患者数 (退院含まず)	1,016	1,068	869	825	1,133	1,208	952	1,096	1,093	1,359	1,002	1,091	12,712
平均在院日数	14.8	11.4	11.6	11.6	12.7	15.3	10.0	13.5	10.8	13.8	13.2	13.3	12.6

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	11,838	肺炎	111
新患者数	282	肺癌の疑い	95
1日平均患者数	48.7	肺腺癌	68
		間質性肺炎	67
		小細胞肺癌	52
		誤嚥性肺炎	37
		睡眠時無呼吸症候群の疑い	36
		睡眠時無呼吸症候群	33
		肺癌	33
		慢性閉塞性肺疾患	31

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第64回日本呼吸器学会学術講演会	2024.04	岩田 敏之	当院の重症喘息治療における生物学的製剤による臨床的寛解に関する後方視的検討	横浜市
第64回日本呼吸器学会学術講演会	2024.04	林 康之	免疫関連有害事象により免疫チェックポイント阻害薬を中止した後も長期に渡り肺癌が縮小を維持した10症例の検討	横浜市
第64回日本呼吸器学会学術講演会	2024.04	田里 美樹	当院での進行期の非小細胞肺癌の患者における入院状況や期間の検討	横浜市
NPO 西日本呼吸器内科令和6年度夏季学術集会	2024.07	田里 美樹	当院での進行期の非小細胞肺癌の患者における入院状況や期間の検討	京都市
ERS Congress 2025	2025.09	田里 美樹	The proportional of total length of hospital stays to survival time in advanced non-small cell lung cancer	アムステルダム
第73回日本アレルギー学会学術大会	2024.10	岩田 敏之	重症喘息治療において生物学的製剤による臨床的寛解に寄与した背景因子の調査	京都市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
Frankly the Expert ~デュピクセントが切り拓く未来~	2024.04	岩田 敏之	重症喘息の喀痰・息切れ症状に対するデュピルマブの効果	京都市
社内研修会 (大鵬薬品工業株式会社)	2024.05	岩田 敏之	再発 非小細胞肺癌の治療	京都市
One Airway One Disease Seminar	2024.06	岩田 敏之	ECRS 合併例に対するデュピルマブの効果	オンライン
GSK 重症喘息セミナー	2024.10	岩田 敏之	重症喘息をどう治療するか ~ メボリズマブの使いどころ ~	京都市
中外製薬社内勉強会	2024.10	西村 尚志	75歳以上の肺癌治療について	京都市
中外製薬社内勉強会	2024.10	西村 尚志	IMpower レジメンの症例提示	京都市
中外製薬社内勉強会	2024.10	西村 尚志	Nsqにおける肺癌治療について	京都市

■ 論文・著書等

1) Extrathoracic Abscess Following Radiation Therapy for Lung Cancer With Chest Wall Invasion.

Miki Tasato, et al.

● Pract Radiat Oncol. 2024 May-Jun;14(3):173-174.

PMID: 38702113 DOI: 10.1016/j.prro.2023.11.012

2) Bronchoscopic Diagnosis of Hematogenous Recurrence of Thymoma.

Miki Tasato, et al.

● Arch Bronconeumol. 2024 May;60(5):310-311.

PMID: 38553257 DOI: 10.1016/j.arbres.2024.03.006

呼吸器センター・呼吸器外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	35	31	27	29	28	33	28	33	28	30	34	41	377
退院患者数	35	32	26	34	28	33	30	33	33	29	28	40	381
延患者数 (退院含)	337	383	366	329	449	475	322	451	396	352	413	564	4837
延患者数 (退院含まず)	302	351	340	295	421	442	292	418	363	323	385	524	4456
平均在院日数	8.7	11.3	13.7	9.3	14.0	13.5	10.1	12.7	11.9	11.2	12.4	12.9	11.8

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	2,888	肺がん	116
新患者数	57	嚢胞性疾患 (気胸等)	52
1日平均患者数	11.9	炎症性疾患 (膿胸等)	36
		転移性肺腫瘍	19
		縦隔腫瘍	15
		その他	48

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第41回日本呼吸器外科学会学術集会	2024.05	青山 晃博	市中病院におけるRFIDマーキングシステムの導入経験 有用性とコストの面からの考察	北佐久郡 軽井沢町
第41回日本呼吸器外科学会学術集会	2024.05	青山 晃博	分葉不全をまたぐ病変に対する“Fissure and 区域間”last法によるロボット支援下右上葉+S6区域切除	北佐久郡 軽井沢町
第41回日本呼吸器外科学会学術集会	2024.05	山田 義人	肺癌術後生存に対しDPP-4阻害剤の与える影響の検討	北佐久郡 軽井沢町
第41回日本呼吸器外科学会学術集会	2024.05	岡田 春太郎	当院において月経随伴性気胸と診断された症例の検討	北佐久郡 軽井沢町
第41回日本呼吸器外科学会学術集会	2024.05	石角 まひろ	すりガラス陰影に対する経過観察中に短期間で充実化、増大した肺癌の一例	北佐久郡 軽井沢町
Asian Transplantation Week 2024	2024.11	山田 義人	IL-2 Signals and Foxp3-Rich Lymphoid Structures in Allograft	韓国

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第44回日本胸腺研究会	2025.02	石角 まひろ	Thymic hyperplasia with lymphoepithelial sialadenitis-like features と診断された一例	福岡市

■ 論文・著書等

- 1) Re-evaluation and operative indications after induction therapy for thymic epithelial tumors.
Yoshito Yamada, Masatsugu Hamaji, Harutaro Okada, Akihiro Takahagi, Hitomi Ajimizu, Sho Koyasu, Yuichi Sakamori, Akihiro Aoyama
● Mediastinum. 2024 Jun 4:8:43
PMID: 39161585 PMCID: PMC11330912 DOI: 10.21037/med-23-70

心臓血管センター・心臓血管内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	100	88	105	107	87	106	125	118	139	122	99	140	1336
退院患者数	113	102	102	106	99	110	120	120	132	118	96	139	1357
延患者数 (退院含)	1460	1134	1159	1314	1123	1412	1182	1215	1544	1722	1317	1974	16556
延患者数 (退院含まず)	1347	1032	1057	1208	1024	1302	1062	1095	1412	1604	1221	1835	15199
平均在院日数	12.7	11.0	10.5	11.5	10.6	11.9	8.7	9.2	10.4	14.0	12.5	13.2	11.3

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	8,827	狭心症	177
新患者数	329	慢性心不全	88
1日平均患者数	36.3	心不全	78
		下肢閉塞性動脈硬化症	72
		急性心筋梗塞	65
		発作性心房細動	57
		心房細動	46
		不安定狭心症	40
		重症虚血肢	38
		洞不全症候群	35

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
近畿心臓血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	中村 茂	Preemptive Embolization	大阪市
近畿心臓血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	船津 篤史	マイクロ(貫通)カテーテル	大阪市
近畿心臓血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	佐藤 達志	ALIに対してForgatyによる血栓回収とBKへのEVTで治療を行った一例	大阪市
近畿心臓血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	小池 淳平	回旋枝のtandem病変に対してDCAでステントレス治療を行った一例	大阪市
JET2024	2024.06	船津 篤史	IVC filter nightmare:case report	福岡市
JET2024	2024.06	前田 英貴	ダブルガイディングで治療したSFAの亜急性血栓閉塞を合併したCLTIの1例	福岡市
KSIC 2024 Summer Conference	2024.06	船津 篤史	I Prefer Culotte Technique	韓国
第32回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	船津 篤史	Calcified lesion in coronary bifurcation Stent-free afterdebulking(動脈ステントを使用したPTS治療の成績)	札幌市
第32回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	船津 篤史	石灰化分岐部病変におけるステントレス治療	札幌市
JBC Conference 2024	2024.07	船津 篤史	Single stent + DCB で十分	オンライン
第32回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	小林 智子	Lesion preparation における Debulking device の役割 (DCA/RA/OA)	札幌市
第32回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	小林 智子	LMT 病変におけるデバルキングとIVLの役割	札幌市
第32回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	小林 智子	石灰化結節の治療 Rotablator の使いどころ	札幌市
IVUS guided CTO workshop	2024.08	中村 茂	IVUS guidance in directional coronary atherectomy	タイ
IVUS guided CTO workshop	2024.08	中村 茂	IVUS guided antegrade approach-tip detection ADR & intraplaque wiring	タイ
IVUS guided CTO workshop	2024.08	中村 茂	Techniques to improve antegrade success. Application of IVUS guidance.	タイ
第70回京滋奈良 Interventional Cardiology 研究会	2024.08	前田 英貴	高度石灰化 RCA 入口部 CTO 病変に対する治療の1例	オンライン
Asia-Pacific Heart Rhythm Society Conference 2024	2024.09	溝渕 正寛	Selective complex fractionated atrial electrogram ablation based on the number-of-fractionation for persistent atrial fibrillation refractory to pulmonary vein isolation	オーストラリア
CVIT2024 教育セミナー	2024.09	船津 篤史	PCIに必要なデバイス基本編 薬剤コーテッドバルーン (Drug-coated balloon:DCB)	オンライン
NEXT GENERATIONS ACS Conference	2024.09	小野 拳史	ACSにおけるstentless PCIの実践	京都市
10th Asia-Pacific Angiology Academic Alliance Congress	2024.09	中村 茂	The basics and latest development of EVT devices	マカオ
CCT2024	2024.10	小林 智子	Don't leave anything behind! How would I treat?	神戸市

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第43回日本心臓血管インターベンション治療学会近畿地方会	2024.10	前田 英貴	ワイヤー非貫通高度石灰化プラークに対するワイヤー指向性 CROSSER の使用	大阪市
第43回日本心臓血管インターベンション治療学会近畿地方会	2024.10	小野 拳史	デバイス通過困難な高度石灰化病変へ ELCA の使用が効果的であった NSTEMI の1例	大阪市
CCT2024	2024.10	船津 篤史	Stentless PCI case (Calcified nodule)	神戸市
CCT2024	2024.10	船津 篤史	石灰化結節における OCT の使い方	神戸市
KSIC2025	2025.01	船津 篤史	DCB after Debulking for Calcified Lesion	韓国
第56回日本心臓血管インターベンション治療学会東北地方会	2025.01	小林 智子	石の上にも30年	仙台市
J-CalC2025	2025.02	小野 拳史	ARCADIA technique for calcification nodule and efficacy of adrenaline for slow flow phenomenon.	大阪市
KCJL2025	2025.03	中村 茂	Preemptive Embolization and Complex EVAR 予防的コイル塞栓術安心した将来のための事前準備	神戸市
KCJL2025	2025.03	前田 英貴	膝関節術後の急性膝窩動脈閉塞の一例	神戸市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024	2024.10	溝渕 正寛	Unstable VT 中の心外膜側 activation vector map 所見から intramural circuit を想定し bipolar ablation にて治癒し得た NICM の1例	大阪市
最新の石灰化治療と Devices? ScoreflexTRIO の使い道とは?	2024.11	中村 茂	最新の石灰化治療と Devices	大阪市
Wolverine 倶楽部 @KANAGAWA	2024.12	小林 智子	Wolverine の 5W1H? いつ・どこで・誰が・Wolverine を・なぜ・どのように?	京都市

■ 論文・著書等

- 1) Selective complex fractionated atrial electrogram ablation based on the number-of-fractionation for persistent atrial fibrillation refractory to pulmonary vein isolation.
Mizobuchi M, Yamashita T, Sato T, Funatsu A, Kobayashi T, Nakamura S.
● J Interv Card Electrophysiol. 2025 Jan;68(1):43-54.
doi:10.1007/s10840-024-01889-6. Epub 2024 Jul 27. PMID: 39066980.
- 2) Two-Stage Endovascular Aneurysm Repair with Preemptive Embolization: A Retrospective Study.
Azuma S, Shimada R, Maeda K, Fukuhara S, Nakamura S.
● Ann Vasc Surg. 2024 May;102:229-235. doi: 10.1016/j.avsg.2023.09.100. Epub 2023 Nov 7.
PMID: 37940086.
- 3) A case of picking calcified plaque in the common femoral artery with a long needle: the "calc-pick technique".
Iwasaki Y, Hirano S, Funatsu A, Kobayashi T, Ikeda T, Nakamura S.
● CVIR Endovasc. 2021 Oct 22;4(1):75. doi:10.1186/s42155-021-00263-1.
PMID: 34677804; PMCID: PMC8536809.
- 4) Comprehensive clinical outcomes of drug-coated balloon treatment for coronary artery disease. Insights from a single-center experience.
Funatsu A, Sato T, Koike J, Mizobuchi M, Kobayashi T, Nakamura S.
● Catheter Cardiovasc Interv. 2024 Feb;103(3):404-416.
doi: 10.1002/ccd.30945. Epub 2024 Jan 12. PMID:38214114.

5) Residual aneurysmal angiosarcoma diagnosed after pulmonary multiple nodules appeared post additional embolization for Type 2 Endoleak.

Shuhei Azuma, Ryo Shimada, Kazuto Maeda, Shigeru Nakamura.

● Annals of Vascular Surgery - Brief Reports and Innovations. Volume 4, Issue 3, September 2024, 100323.

doi: 10.1016/j.av surg.2024.100323

心臓血管センター・心臓血管外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	22	19	18	24	21	12	17	22	27	22	21	22	247
退院患者数	21	15	21	26	25	18	21	20	24	30	22	19	262
延患者数 (退院含)	404	360	463	462	329	346	343	300	519	412	333	447	4718
延患者数 (退院含まず)	383	345	442	436	304	328	322	280	495	382	311	428	4456
平均在院日数	21.2	23.2	28.1	19.0	17.2	23.7	18.8	17.2	22.4	20.3	18.0	21.5	20.8

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	1,983	腹部大動脈瘤	33
新患者数	74	急性大動脈解離 StanfordA	17
1日平均患者数	8.2	右下肢静脈瘤	13
		両下肢静脈瘤	13
		胸部大動脈瘤	12
		僧帽弁閉鎖不全症兼 三尖弁閉鎖不全症	12
		左下肢静脈瘤	10
		大動脈弁狭窄症	7
		狭心症	6

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第52回日本血管外科学会学術総会	2024.05	東 修平	type2 endoleak zero を実現した preemptive embolization 先行2期的 EVAR の有効性の検討	別府市
第52回日本血管外科学会学術総会	2024.05	前田 和人	AFXに Endurant cuff を併用した EVAR 後、遅発性に typeIIIb endoleak による腹部大動脈瘤破裂を生じた一例	別府市
第77回日本胸部外科学会定期学術集会	2024.11	東 修平	急性 A 型大動脈解離に対する Frozen elephant trunk の長期予後改善効果と PETTICOAT 法併施によるさらなる成績向上の可能性	金沢市
第77回日本胸部外科学会定期学術集会	2024.11	東 修平	急性 A 型大動脈解離術後の Frozenix の経年的拡張の臨床的意義についての検討 -DSINE との関連も含め-	金沢市
第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2025.02	島田 亮	働き方改革時代における分枝塞栓先行2期 EVAR の意義	下関市
第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2025.02	東 修平	偽腔開存型 B 型大動脈解離に対する PreemptiveTEVAR の有効性の検討	下関市
第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2025.02	東 修平	腹部大動脈 破裂に対する Endurant2s を用いた single-Occlusion-Balloon Technique	下関市
第66回京滋心臓血管外科研究会	2025.02	浅田 佑樹	A 型解離術後に肺膿瘍で判明した食道穿孔を併発した一例	京都市
第38回日本血管外科学会近畿地方会	2025.03	浅田 佑樹	食道癌術後2週間目に右側大動脈弓コメレル憩室が破裂した症例	伊都郡かつらぎ町
KCJL2025	2025.03	東 修平	preemptive Embolization and complex EVAR	神戸市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
~Z-Conference in Tokyo~	2024.07	東 修平	B 型解離のペチコート法	東京都

■ 論文・著書等

1) Residual aneurysmal angiosarcoma diagnosed after pulmonary multiple nodules appeared post additional embolization for Type 2 Endoleak.

Shuhei Azuma, Ryo Shimada, Kazuto Maeda, Shigeru Nakamura

● <https://doi.org/10.1016/j.avsurg.2024.100323>

脳卒中センター・脳神経内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	20	13	20	22	22	15	17	20	19	17	19	13	217
退院患者数	30	28	26	36	30	24	30	23	35	25	27	25	339
延患者数 (退院含)	642	691	565	684	583	525	573	588	685	782	701	611	7630
延患者数 (退院含まず)	612	663	539	648	553	501	543	565	650	757	674	586	7291
平均在院日数	26.4	33.1	22.7	21.9	20.9	24.9	24.8	26.8	24.2	37.8	29.5	32.0	26.7

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	5,463	脳梗塞	81
新患者数	143	一過性脳虚血発作	8
1日平均患者数	22.5	誤嚥性肺炎	20
		ギラン・バレー症候群	7
		パーキンソン病	15
		パーキンソン症候群	7
		尿路感染症	9
		筋萎縮性側索硬化症	7

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第49回日本脳卒中学会総会 シンポジウム 16: 脳梗塞病型分類のコンセンサス	2024.04	山本 康正	線条体内包梗塞と大径BADの画像診断	横浜市
第65回日本神経学会学術大会	2024.05	戸田 真太郎	Pathological alterations of hippocampus in vascular cognitive impairment	東京都
International Conference on NEUROLOGY&NEURO DISORDERS	2024.11	山本 康正	How topographic diffusion weighted imaging patterns can predict the potential embolic source of embolism	フランス
第67回亀山正邦記念神経懇話会	2024.12	山本 康正	大径皮質下単独梗塞の鑑別— BAD型脳梗塞と線条体内包梗塞の画像上の差異—	京都市
STROKE2025	2025.03	戸田 真太郎	アルツハイマー型、血管認知症及び混合型認知症モデルマウスにおける海馬の変容	大阪市
第50回日本脳卒中学会学術集会	2025.03	山本 康正	Vertbral artery stump syndrome の病態と抗凝固療法について	大阪市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第25回京都神経内科フォーラム ~ 京都内科医会定例学術講演会 ~	2024.09	山本 康正	そのDWI高信号は脳梗塞ですか、それとも、てんかん由来ですか?~ 脳卒中とてんかん性発作の間にあるもの ~	京都市
第20回南京都脳血管障害研究会学術講演	2024.11	山本 康正	脳卒中のより良い治療のために、stroke mechanism を理解する	京都府

■ 論文・著書等

1) How Topographic Diffusion-Weighted Imaging Patterns can Predict the Potential Embolic Source.

Yamamoto Y, Nagakane Y, Tanaka E, Yamada T, Fujinami J, Ohara T.

● Clin Neuroradiol. 2024Jun;34(2):363-371. doi: 10.1007/s00062-023-01366-z

2) 脳塞栓症連続症例における成因検索と急性期梗塞病巣形成に関する考察

山本 康正, 永金 義成

● 臨床神経 2025 年 65 巻 3 号 p. 203-210

3) DWI 高信号パターン、RoPE スコア、左房径を適用し、ESUS の塞栓原性疾患を予測する

山本 康正

● メディックスポスト 2024.4.10

4) 急性期脳梗塞血圧管理の現在地点

山本 康正

● メディックスポスト 2024.6.25

5) 片頭痛と脳梗塞 わが国では migraine without aura から PCA infarcts が多い？

山本 康正

●メディックスポスト 2024.8.2

6) 塞栓子の組成と ESUS —赤血球 rich 血栓と血小板 rich 血栓—

山本 康正

●メディックスポスト 2024.11.5

1

7) 多発性散在性小梗塞：multiple scattered small infarcts (MSSI) の成因は？

山本 康正

●メディックスポスト 2025.1.21

8) Vertebral artery stump syndrome (VASS) を ATBI から区別しよう

山本 康正

●メディックスポスト 2025.3.7

脳卒中センター・脳神経外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	30	30	31	30	31	23	35	27	39	33	30	39	378
退院患者数	29	24	29	29	25	20	28	25	29	20	32	27	317
延患者数 (退院含)	588	601	582	471	537	405	592	534	584	793	790	810	7287
延患者数 (退院含まず)	559	577	553	442	512	385	564	509	555	773	758	783	6970
平均在院日数	19.7	20.6	17.7	14.7	18.9	16.6	17.4	20.5	16.2	29.4	23.9	23.8	19.9

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	3,265	慢性硬膜下血腫 穿頭血腫除去術	34 件
新患者数	273	機械的血栓回収療法	23 件
1日平均患者数	13.4	開頭脳腫瘍摘出術	11 件
		内視鏡下経鼻下垂体腫瘍摘出術	10 件
		外傷性頭蓋内出血 開頭血腫除去術	9 件

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 86 回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会	2024.09	有吉 優輝、 澤田 真寛、菊池 隆幸、丹治 正大、高田 茂樹、山本 悦子、牧野 恭秀、荒川 芳輝	比較的良好な転機をたどった Parvimonas micra による脳幹膿瘍の一例	大阪府
第 31 回日本神経内視鏡学会	2024.11	有吉 優輝、佐野 徳隆、丹治 正大、松永 麻美、北田 有史、峰晴 陽平、荒川 芳輝	内視鏡下経蝶形骨洞法による下垂体腫瘍摘出術の術中 MRI による鞍上部クモ膜下出血の検出：2 例報告	東京都

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月	発表者名	演題名	場所
オンデキサ Experience Sharing Symposium in 京都	2024.06	中久木 卓也、河原崎 知、鈴木 啓太、山本 優、三宅 英則	抗凝固薬中和剤の臨床的意義 - 使用症例から考える・プロトコール作成の意義 -	京都府
脳血管障害てんかん診療 WEB セミナー in 京都	2024.12	中久木 卓也	脳卒中関連てんかんの急性期治療 - 特に注射製剤の使用経験 -	京都府
第 2 回 Stroke Oncology 研究会	2024.12	山本 優	放射線照射後の頸動脈硬化症；担当患者・がんサバイバーに	東京都

血液内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	52	49	48	50	44	52	59	61	58	59	62	47	641
退院患者数	55	53	57	53	55	55	58	67	67	60	65	55	700
延患者数 (退院含)	1049	1036	950	914	1095	1,111	1119	1134	1157	1061	995	1001	12622
延患者数 (退院含まず)	994	983	893	861	1040	1056	1061	1067	1090	1001	930	946	11922
平均在院日数	18.6	19.1	17.0	16.8	20.6	19.6	18.3	16.7	17.3	16.1	15.0	19.0	17.8

外来実績 (人)		主な患者数 (延べ入院患者数)	
年間延外来患者数	9,457	骨髓異形成症候群	102
新患者数	138	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	97
1 日平均患者数	38.9	急性骨髄性白血病	60
		悪性リンパ腫	38
		多発性骨髄腫	31
		肺炎	23
		血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫	17
		誤嚥性肺炎	16
		中枢神経系原発びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	16
		慢性骨髄性白血病	12

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月	発表者名	演題名	場所
日本内科学会近畿支部主催 第 244 回近畿地方会	2024.06	菱澤 方勝	末梢性 T 細胞リンパ腫患者において持続的に SARS-COV-2 が感染した 2 症例	京都市
第 86 回日本血液学会学術集会	2024.10	田中 淳	当院における同種移植適応の初発 FLT3-ITD 陽性 AML に対するキザルチニブ併用化学療法の使用経験	京都市
第 86 回日本血液学会学術集会	2024.10	林 裕美	Group-based trajectory analysis with early CRP trajectories after allo-HSCT	京都市
第 121 回近畿血液学地方会	2024.11	立岡 慶祐	臍帯血移植後に播種性帯状疱疹と中枢神経麻痺を発症した ALK 陽性 ALCL の 1 例	京都市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月	発表者名	演題名	場所
京都桂病院 ヒルトップセミナー	2024.04	菱澤 方勝	悪性リンパ腫の病型分類と治療～最近の知見を中心に～	京都市
第 15 回 KSCTG 研究会	2024.08	菱澤 方勝	Ph 陽性 ALL 同種移植後の TKI による維持療法 -KSCTG グループでの実態調査～	大阪市
第 6 回京都桂病院 薬剤科 がん化学療法研修会	2024.08	菱澤 方勝	悪性リンパ腫の病型分類と治療～最近の知見を中心に～	京都市
BLINCYTO WEB Symposium from KYOTO	2025.02	菱澤 方勝	携帯型輸液ポンプによる Blinatumomab 投与時のマネジメント	京都市

■ 論文・著書等

1) Modelling and drug targeting of a myeloid neoplasm with atypical 3q26/MECOM rearrangement using patient-specific iPSCs.

Nakamura M, Chonabayashi K, Narita M, Matsumura Y, Nishikawa M, Ochi Y, Nannya Y, Hishizawa M, Inoue D, Delwel R, Ogawa S, Takaori-Kondo A, Yoshida Y

● Br J Haematol. 2024 ;205(4):1430-1443.

PMID: 39187468 DOI: 10.1111/bjh.19720

腎臓内科

2024年度は、職員数の変動に伴う業務体制の調整が大きな課題となった。年度開始時に常勤医が7名から5名へ、さらに6月末には4名体制となり、一人当たりの業務量が増加した時期もあった。しかし、在籍スタッフはいずれも専門医・指導医レベルであり、協力体制のもと大きな支障なく診療を継続することができた。

血液浄化センターにおいては、業務内容の見直しを行い、午前・午後の二部制透析から午前透析のみへと段階的に縮小した。これにより、限られた人員でも安全かつ安定した診療提供が可能となる体制を整えた。

シャント手術については、心臓血管外科の協力を得て、血液透析を選択した患者に対し、内シャント造設術や人工血管留置術を含む手術を円滑に実施した。年間を通じて大きなトラブルもなく、安全な血管アクセス管理を行うことができた。

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	32	34	21	27	20	20	24	29	21	25	26	27	306
退院患者数	36	37	26	33	29	22	29	29	39	22	23	38	363
延患者数 (退院含)	524	520	389	499	461	439	498	469	441	291	368	582	5481
延患者数 (退院含まず)	488	483	363	466	432	417	469	440	402	269	345	544	5118
平均在院日数	13.0	13.1	15.7	15.2	17.8	18.9	18.2	15.4	11.7	11.4	12.8	14.8	14.7

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	6,462	慢性腎臓病	107
新患者数	64	急性腎盂腎炎	10
1日平均患者数	26.6	ネフローゼ症候群	26
		IgA腎症	19
		脱水性	5
		うっ血性心不全	17
		慢性糸球体腎炎の疑い	5
		急性腎不全	15
		低ナトリウム血症	4

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第69回日本透析医学会学術集会・総会	2024.6	松ヶ角 透 中村 泰子 三宅 崇文 大棟 浩平 近藤 尚哉 井上 達之 宮田 仁美	糖尿病性腎症ならびに巣状分節性糸球体硬化症に対しLDLアフェレシスが著効した一例	横浜市
第69回日本透析医学会学術集会・総会	2024.6	大棟 浩平 中村 泰子 松ヶ角 透 三宅 崇文 近藤 尚哉 井上 達之 宮田 仁美	Helicobacter canisによる感染性脳動脈瘤から脳出血をきたした1例	横浜市
第18回日本腎臓病薬物療法学会	2024.9	溝手 彩 三上 有希 小林 由佳 山野 言 長嶋 一昭 宮田 仁美	当院における糖尿病透析予防指導の現状	札幌市
第60回日本移植学会総会	2024.9	宮田 仁美 松ヶ角 透 三宅 崇文 大久保 和俊	先行的腎移植術前検査にて腎サルコイドーシスと診断された一例	長崎市
第54回日本腎臓学会西部学術大会	2024.10	大辻 寛子 三宅 崇文 松ヶ角 透 大棟 浩平 近藤 尚哉 三崎 義堅	血液透析を要したAPS腎症に対し、ワーファリン・ACE阻害薬による加療が奏功した1例	姫路市
第54回日本腎臓学会西部学術大会	2024.10	高橋 知暉 近藤 尚哉 宮田 仁美	門脈圧亢進による肝性脳症をきたした多発性嚢胞腎の1例(会議録)	姫路市
第45回日本アフェレシス学会学術大会	2024.10	宮田 仁美	シンポジウム8：ネフローゼ症候群に対する薬物治療とアフェレシスの位置付け 一次性ネフローゼ症候群におけるアフェレシス治療	大阪市
ASN2024	2024.10	宮田 仁美	A rare case of non-secretory multiple myeloma ~ Pitfall of hypercalcemia	アメリカ
第30回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	2024.11	宮田 仁美 大棟 浩平	植物由来のAlternaria.spが検出されたPD腹膜炎の一例	福岡市

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 58 回日本臨床腎移植学会	2025.2	三宅 崇文 大久保 和俊 堀之内 智子 野津 寛大 宮田 仁美	RTX・血漿交換療法が著効した移植後に遅発性再発した FSGS の一例	広島市
第 58 回日本臨床腎移植学会	2025.2	宮田 仁美 松山 陽子 高倉 賢人 北悠 希 川村 俊介 小林 恭	長期に寄り添い分娩に至った生体腎移植の一例	広島市
第 58 回日本臨床腎移植学会	2025.2	小河 孝輔 田淵 祐介 山口 貴大 井口 亮 宮田 仁美 伊藤 哲之 大久保 和俊	生体腎移植術中に膀胱破裂をきたした 1 例	広島市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
日本看護協会主催 臓器移植における基礎知識と看護実践	2024.6	宮田 仁美	①免疫②感染症	オンライン
第 13 回東北女性腎臓医の会	2024.6	宮田 仁美	地域医療と腎臓病～頼られる腎臓内科医を目指して～	仙台市
第 18 回関西 PD フォーラム	2024.7	宮田 仁美	腎代替療法説明外来と SDM	
京都腎透析カンファレンス	2024.7	宮田 仁美	腎移植患者の透析再導入、どう管理すればいいですか？～貧血管理を中心に～	
京都心腎連関	2024.8	宮田 仁美	心不全を合併した末期腎不全患者に腹膜透析という選択死を考える	
"京都薬科大学生涯教育センター 2024 年度 卒後教育講座"	2024.8	宮田 仁美	CKD 診療とくすり	京都市
京都心腎カンファレンス	2024.8	宮田 仁美	Closing remarks	
第 7 回糖尿病と腎臓病 Web セミナー	2024.9	三宅 崇文	DKD・腎臓病領域における肥満	オンライン
京都医学会 2024	2024.9	大久保 和俊 田淵 祐介 山口 貴大 小河 孝輔 伊藤 英 黒川 真行 新垣 隆一郎 岡田 能幸 井口 亮 宮田 仁美 三宅 崇文 田中 友加里 伊藤 哲之	京都桂病院における生体腎移植の成績	京都市
西京区医療出前塾	2024.9	宮田 仁美	あなたの腎臓大丈夫ですか？	京都市
洛西 CKD カンファレンス 2024	2024.10	大棟 浩平	透析×感染症～透析患者の病態（CKD-MBD）との関連性～	
腎臓病療養指導士のための CKD 連携セミナー	2024.10	宮田 仁美	これから資格取得の方へのメッセージ	
関西医大 PD フォーラム	2024.10	宮田 仁美	PD における SDGs ってなんだろう？～ PD 患者さんがこの地域で暮らし続けていくために、我々がすべきこと～	
JMSPD セミナー in 長崎	2025.1	宮田 仁美	腹膜透析と腎移植の未来～患者の生活の質を向上させる選択肢～	オンライン
山科薬剤師会研修会	2025.1	宮田 仁美	CKD 診療における SDGs ～腎臓専門医が薬剤師さんと一緒にできること～	オンライン
京都腎臓医会難病 WG オンラインセミナー	2025.2	宮田 仁美	当院におけるアバコパンの使用経験	オンライン
米国内科学会日本支部 Women's committee WEB conference		宮田 仁美	What should we do next-Together?	オンライン
第 21 回福井県血液浄化談話会 - 導入期加算 3 算定施設による双方向研修 -	2025.3	宮田 仁美	高齢者への透析療法と地域連携について	福井市
第 2 回腎臓病市民公開講座 in 福知山	2025.3	宮田 仁美		福知山市

■ 論文・著書等

- 1) The effects of plasma exchange and glucocorticoids on early kidney function among patients with ANCA-associated vasculitis in the PEXIVAS trial
Odler B, Riedl R, Geetha D, Szpirt WM, Hawley C, Uchida L, Wallace ZS, Walters G, Muso E, Tesar V, Pusey CD, Little MA, Merkel PA, Walsh M, Jayne DRW, Kronbichler A; PEXIVAS Investigators.
● Kidney Int. 2025 Mar;107(3):558-567. doi: 10.1016/j.kint.2024.11.029.
Epub 2024 Dec 19. PMID: 39708998
- 2) Risk of Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis in a Randomized Controlled Trial of Plasma Exchange and Glucocorticoids.
Junek ML, Merkel PA, Vilayur E, Wald R, Khalidi N, Jayne D, Walsh M; PEXIVAS Investigators.
● Arthritis Rheumatol. 2024 Sep;76(9):1431-1438. doi: 10.1002/art.42843.
Epub 2024 Apr 8. PMID: 38485450 Clinical Trial.
- 3) Alveolar Hemorrhage in Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: Results of an International Randomized Controlled Trial (PEXIVAS).
Fussner LA, Flores-Suárez LF, Cartin-Ceba R, Specks U, Cox PG, Jayne DRW, Merkel PA, Walsh M; PEXIVAS Investigators.
● Am J Respir Crit Care Med. 2024 May 1;209(9):1141-1151.
doi: 10.1164/rccm.202308-1426OC. PMID: 38346237. Clinical Trial.
- 4) Effectiveness and safety of rituximab in severely relapsed antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: a retrospective analysis of a Japanese multicentre cohort from the J-CANVAS.
Kidoguchi G, Yoshida Y, Watanabe H, Sugimoto T, Mokuda S, Kida T, Yajima N, Omura S, Nakagomi D, Abe Y, Kadoya M, Takizawa N, Nomura A, Kukida Y, Kondo N, Yamano Y, Yanagida T, Endo K, Matsui K, Takeuchi T, Ichinose K, Kato M, Yanai R, Matsuo Y, Shimojima Y, Nishioka R, Okazaki R, Takata T, Ito T, Moriyama M, Takatani A, Miyawaki Y, Ito-Ihara T, Kawaguchi T, Kawahito Y, Hirata S; Japan Collaborative Registry of ANCA-Associated Vasculitis (J-CANVAS).
● Clin Rheumatol. 2024 Oct;43(10):3195-3204. doi: 10.1007/s10067-024-07096-y.
Epub 2024 Aug 12. PMID: 39134873
- 5) ホルマリン固定パラフィン包埋標本を用いた C3d 酵素抗体法が有用であった分節性膜性腎炎の 1 例
坪佐 朱莉 吉岡 はづき, 萩原 葉子, 吉野 龍一, 王 麗揚, 桑原 隆, 宮田 仁美, 平塚 拓也
● 医学検査 (0915-8669)73 巻 3 号 Page573-576(2024.07)
- 6) 第 7 章 CKD 患者 (透析患者を含む) への薬剤投与: こんな薬剤で悩みませんか?
分担著者: 宮田仁美
● 知りたいことがわかる腎疾患テキスト P.65-70 (日本医事新報社 編集: 赤井泰弘)
- 7) 外来検査の見方
分担著者: 宮田仁美
● 保存版 腎移植 あなたの疑問にすべて答えます (バリュープロモーション 編集: 二村雄太、岡田学、平光高久)

糖尿病・内分泌・生活習慣病センター・糖尿病・内分泌内科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	26	16	20	29	30	13	13	19	14	20	24	20	244
退院患者数	37	20	22	36	34	26	18	20	18	31	28	24	314
延患者数 (退院含)	496	333	311	428	485	336	263	242	243	433	390	294	4254
延患者数 (退院含まず)	459	313	289	392	451	310	245	222	225	402	362	270	3940
平均在院日数	14.4	17.5	14.4	12.0	13.3	15.9	16.4	10.7	14.1	14.7	13.4	12.3	13.9

年度	入院患者延数 (人)	新入院患者数 (人)	平均在院日数 (日)	外来患者延数 (人)
2019年度	3,853	234	15.8	15,188
2020年度	4,342	297	13.8	14,559
2021年度	4,779	306	14.0	14,907
2022年度	4,136	255	14.8	15,108
2023年度	4,461	229	17.4	13,918
2024年度	4,254	244	13.9	13,466

主な入院患者件数			
2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	109	COVID-19	7
2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	18	高血糖高浸透圧症候群	6
尿路感染症	14	低血糖	6
誤嚥性肺炎	13	肺炎	6
低ナトリウム血症	8	原発性アルドステロン症の疑い	5

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第67回日本糖尿病学会年次学術集会	2024.05	近藤 亜樹 池田 香織 金子 至寿佳 原島 伸一 古川 啓三 長嶋 一昭 小倉 雅仁 藤田 義人 上羽 瑤子 本橋 和也 草嶋 幸子 岡村 絵美 原田 範雄 稲垣 暢也	1型糖尿病患者におけるインスリン投与量は心臓自律神経機能の交感神経優位性と相関する	東京都
第28回日本病態栄養学会年次学術集会	2025.01	長嶋 一昭	GLIM基準を念頭においた栄養スクリーニングとアセスメント「臨床検査(血液、尿)を用いた栄養アセスメント」	京都市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
西京医師会生活習慣病区民公開講座	2024.04	長嶋 一昭	糖尿病を知る	京都市
第 18 回 RING 講演会	2024.05	村上優吾 内藤 玲 服部武志 山野 言 朴 貴典 長嶋 一昭	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）内服中に C ペプチド高値を認めた 2 症例	京都市
CRM Network Meeting	2024.07	長嶋 一昭	心・腎・代謝連関を意識した糖尿病治療薬の適正使用	京都市
心・腎・代謝連関を意識した糖尿病薬選択	2024.08	長嶋 一昭	心腎DM連関セミナー	京都市
糖尿病治療学術講演会	2024.09	長嶋 一昭	GLP-1 受容体作動薬～経口薬と注射薬製剤をどう使い分けるか～	京都市
にしきょう糖尿病発症予防プログラム	2024.09	長嶋 一昭	健やかに生きる～糖尿病を恐れない・侮らない～	京都市
京大講義 C 3	2024.09	長嶋 一昭	糖尿病の治療～食事療法～	京都市
第 52 回西京医師会症例報告会	2024.10	溝田 紘史 山野 言 服部 武志 内藤 玲 朴 貴典 長嶋 一昭	Covid19 感染後に甲状腺クリーゼを発症した 1 症例	京都市
第 18 回糖尿病臨床フォーラム	2025.02	村本 瑛 朴 貴典 服部 武志 山野 言 内藤 玲 長嶋 一昭	75gOGTT でインスリン分泌異常を認めた小胞体 Ca ²⁺ センサー STIM1 遺伝子異常の一例	大阪府

■ 論文・著書等

1) 重症低血糖を繰り返すインスリン自己免疫症候群にチーム医療介入が奏功した 1 例

内藤 玲, 荻田真実, 仲原隆史, 服部武志, 山野 言, 朴 貴典, 安達 唯, 池田芙美, 川手由香, 錦織花織, 小林由佳, 長嶋一昭

● 京都医学会雑誌 . 71(2)61-64,2024

腫瘍内科

4

各科診療の状況
— 腫瘍内科

■ 診療科の特色

2019年6月、臓器横断的ながん化学療法およびがんゲノム医療を担う診療科として、がん化学療法部を改めて腫瘍内科が発足した。消化器癌を中心とした化学療法および希少癌や原発不明癌の診療、遺伝子パネル検査の施行とその結果に基づく保険外診療を含めた標的遺伝子への治療や各種治験・臨床試験への紹介を行っている。

2018年4月に当院は「がんゲノム医療連携病院」に指定され、京都大学医学部附属病院を中核病院としてがんゲノム医療に従事している。2018年10月より先進医療Bのもとに遺伝子パネル検査を開始し、現在 Foundation One CDx、GenMineTOP、NCC オンコパネルの3種の腫瘍組織を用いた検査を、また2021年8月以降は腫瘍組織が使用できない患者さんのための検査として血液検体を用いたりキッドバイオプシーとして、血中循環腫瘍DNAを検出する FoundationOne Liquid CDx と GUARDANT360 が検査可能となっている。

遺伝子パネル検査の結果は、従来京大病院とその連携病院が参加するエキスパートパネルというWeb開催のカンファレンスで討議される必要があったが、所定の要件を満たすことで独自にエキスパートパネルを開催することが可能となり、2024年6月より開始となったエキスパートパネル自立化の最初の13施設のひとつとして当院が選定され、以降自施設で自立化したエキスパートパネルを開催している。エキスパートパネルの自立化するメリットとして、病院収益の増加と検査結果説明までの期間が短縮できたことが挙げられる。また二次的所見とされるがん遺伝子検査において解析対象にはなっているものの、治療目的以外の特に生殖細胞系列に病的と確定できる遺伝子変異に対しては、遺伝性疾患の原因遺伝子として患者本人および血縁者への対応が必要となる。当科では2019年4月より常勤の認定遺伝カウンセラーを配置し、遺伝カウンセリングや遺伝性腫瘍確定のための遺伝学的検査を行っている。

またがん治療の5本目の柱として登場し、臓器横断的に使用され有効性が示されている免疫チェックポイント阻害薬は、免疫系を活性化させることによって生じる免疫関連有害事象(irAE)が問題となることが多く、適応拡大に伴ってその頻度も増加している。治療担当診療科のみならず普段はがん診療を行わない診療科や多職種連携で早期発見や治療に携わる必要があり、2017年10月より診療科・多職種連携による Katsura Immunotherapy Team(KIT) を結成し、腫瘍内科は irAE に関する相談、治療方針決定、委員会での報告などにおいてその中心的な役割を担っている。

これらのがんゲノム医療をはじめとした取り組みを経て、最適ながん化学療法を地域のがん患者にいち早く届けられるように更なる努力を行ってゆく。

■ 診療内容

【外来診察】

- ・月曜日～金曜日の午前、水・木曜日の午後に行っている。
- ・火曜日と木曜日の午後に遺伝カウンセリング外来を行っている。

【検査】

がん組織を用いた遺伝子パネル検査である Foundation One CDx、GenMineTOP、NCC オンコパネルおよび採血のみでがん遺伝子パネル検査が可能なりキッドバイオプシー、FoundationOne Liquid CDx および GUARDANT360 を保険診療および私費診療にて行っている。

【化学療法】

患者さんのニーズに合わせ、外来通院での日帰り化学療法と1泊～数日間入院での化学療法の双方に対応している。

■ 診療実績（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	6	3	6	9	7	7	12	4	9	9	8	6	86
退院患者数	6	3	5	12	7	6	13	4	9	7	6	8	86
延患者数 (退院含)	91	53	120	112	47	76	77	79	96	116	71	68	1006
延患者数 (退院含まず)	85	50	115	100	40	70	64	75	87	109	65	60	920
平均在院日数	14.2	16.7	20.9	9.5	5.7	10.8	5.1	18.8	9.7	13.6	9.3	8.6	10.7

外来化学療法件数	809件	入院化学療法件数	52件	腫瘍関連遺伝カウンセリング	52件
遺伝子パネル検査件数	100件（他院からの紹介：43件） 検査内訳：(F1CDx：76件、GenMineTOP：16件、F1Liquid：4件、Guardant360：4件)				

■ スタッフ

医師名	役職	専門分野	専門医認定 / 資格など
山口 大介	部長	腫瘍内科 消化器内科	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、 日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
スタッフ名	資格など		
三木 詩織	認定遺伝カウンセラー		

■ 参加臨床試験

【MONSTAR SCREEN 研究】

広範な固形がんを対象に、がんの遺伝子変化を調べる産学連携プロジェクトで、患者さんへの負担が少ない血液を用いた遺伝子解析技術（リキッドバイオプシー）を導入、さらにがんの発生や薬剤の有効性との関係が示唆されている腸内細菌叢の（経時的）解析も行う。

【GOZILA 試験】

進行消化器がんの患者さんの血液をリキッドバイオプシー（Guardant360®）で解析するスクリーニングプロジェクト。

【CIRCULATE-JAPAN 研究】

外科治療が行われる大腸がん患者さんに対し、リキッドバイオプシーによるがん個別化医療の実現を目指すプロジェクトで、患者毎にがん由来の遺伝子異常を同定して、患者さん個々のオリジナル遺伝子パネルを作製し、定期的にその遺伝子異常が存在するか調べる。リキッドバイオプシーによる再発リスク評価の臨床的有用性を証明することで、術後補助化学療法の省略または減弱、再発の早期発見等、より最適な医療の提供を目指して行われる試験。

【PRABITAS 試験】

切除不能大腸癌に対するトリフルリジン・チピラシル+ベバシズマブの従来法と隔週法の実用的ランダム化第Ⅲ相試験。

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第22回日本臨床腫瘍学会学術集会	2025.03	山口 大介	がんゲノム医療連携病院におけるエキスパートパネル自立化の利点	神戸市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
オブジーボ胃癌 Web セミナー	2024.04	山口 大介	胃癌一次治療における最適な選択は何か？	オンライン
京滋 GI Cancer Seminar 2024~ 春 ~	2024.04	山口 大介	CQ から食道癌治療を紐解く	オンライン
胆道癌の薬物療法を考える講演会	2024.09	山口 大介	ICI 時代における胆道癌薬物治療とがんゲノムプロファイリング検査の展望	オンライン
京都腫瘍内科フォーラム	2024.10	山口 大介	胆道癌薬物治療～ KEYNOTE 966 の登場で変わること～	オンライン
乳癌個別化治療セミナー in 京滋	2024.10	山口 大介	当院における遺伝子パネル検査実施体制	オンライン
京滋 GI Cancer Seminar 2024	2024.10	山口 大介	胃癌の最新治療 Update	オンライン
静岡済生会総合病院「免疫関連有害事象 (irAE) 研修会」	2024.10	山口 大介	今日から使える irAE 対策	静岡市
京滋 GI Cancer Seminar 2025	2025.03	山口 大介	胃癌の最新治療 Update	オンライン
がんゲノム医療のエキスパートパネル向上委員会	2025.03	山口 大介	突撃！隣のエキスパートパネル	西宮市

膠原病・リウマチ科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	9	14	14	11	9	8	8	8	12	10	15	11	129
退院患者数	13	12	11	19	12	11	11	12	16	11	13	13	154
延患者数 (退院含)	246	272	285	376	268	247	222	213	226	196	285	253	3089
延患者数 (退院含まず)	233	260	274	357	256	236	211	201	210	185	272	240	2935
平均在院日数	21.2	20.0	22.6	25.8	24.4	24.8	22.2	20.1	15.0	17.6	19.4	20.0	21.0

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	7,760	関節リウマチ	10
新患者数	98	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10
1日平均患者数	31.9	皮膚筋炎	7
		リウマトイド血管炎	5
		間質性肺炎	5
		ニューモシスチス肺炎	4
		尿路感染症	4
		全身性エリテマトーデス	3
		多発性筋炎	3
		蜂窩織炎	3

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 68 回日本リウマチ学会学術集会	2024.04.18	久保研一郎 山川範之 三崎義堅	JAK 阻害薬で治療中に Lemierre 症候群の病態を呈した関節リウマチの一例	神戸市
第 69 回日本リウマチ学会学術集会	2025.04.25	久保研一郎 山川範之 三崎義堅	メボリズマブ投与後に意識障害を呈した公算級性多発血管炎性肉芽腫の一例	神戸市
第 250 回内科学会近畿地方会	2025.12.06	坂田頼子 山川範之 久保研一郎 三崎義堅	全身性エリテマトーデスに赤芽球癆を併発・再燃を繰り返したがリツキシマブによる加療が有効であった一例	大阪市

脊椎脊髄外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	21	23	19	28	29	27	19	15	20	25	18	26	270
退院患者数	18	22	21	27	28	27	17	19	25	16	23	24	267
延患者数 (退院含)	319	391	264	440	452	528	434	347	418	423	467	445	4,928
延患者数 (退院含まず)	301	369	243	413	424	501	417	328	393	407	444	421	4,661
平均在院日数	15.4	16.2	12.5	15.0	14.9	18.6	22.3	19.8	15.9	18.5	21.7	16.0	17.0

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	3,264	頸椎椎弓形成術	105
新患者数	234	脊椎内視鏡手術	70
1日平均患者数	57.3	脊椎固定術	68
		腰椎椎弓切除術	54
		圧迫骨折手術	39
		脊髄腫瘍摘出術	7
		腰椎椎間板切除術	5
		頸椎前方固定術	4
		その他	18
		計	370

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第39回日本脊髄外科学会	2024.06	五百藏 義彦	圧迫骨折に伴う神経根症に対し骨強化と全内視鏡下に除圧を行った1例	大阪市
第39回日本脊髄外科学会	2024.06	五百藏 義彦	全内視鏡下頸椎椎間孔拡大術における術前の手術計画	大阪市
第39回日本脊髄外科学会	2024.06	川崎 敏生	脊髄損傷後の感覚運動皮質における安静時脳機能ネットワークの再編成	大阪市
第59回日本脊髄障害医学会	2024.11	高山 柄哲	ICG撮影にて術中局在診断できた脊髄神経鞘腫の一例	名護市
第59回日本脊髄障害医学会	2024.11	五百藏 義彦	圧迫骨折に伴う神経根症に対する治療戦略 - 症例報告 -	名護市
第59回日本脊髄障害医学会	2024.11	五百藏 義彦	頸髄高度圧迫病変合併患者に対する腰椎手術時に、局所麻酔下の腹臥位が有用であった1例	名護市
第59回日本脊髄障害医学会	2024.11	川崎 敏生	脊髄損傷後の両側感覚運動野における安静時脳機能ネットワークの再編成	名護市
第59回日本脊髄障害医学会	2024.11	橋本 隼	終糸脂肪腫によって成人で発症した脊髄係留症候群の一例	名護市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2024 in Himeji	2024.08	小林 環	テンプレートガイド下頸椎椎弓根スクリューの使用経験について	姫路市

整形外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	40	38	35	34	33	32	31	38	35	45	28	38	427
退院患者数	35	47	39	30	28	33	33	37	38	36	38	35	429
延患者数 (退院含)	528	618	409	370	472	515	511	499	476	675	622	593	6,288
延患者数 (退院含まず)	493	571	370	340	444	482	478	462	438	639	584	558	5,859
平均在院日数	13.9	13.6	10.3	12.1	14.6	15.1	14.7	13.0	11.9	16.1	18.0	15.2	14.0

外来実績 (人)		主な手術件数	
年間延外来患者数	7,471	人工股関節置換術	42
新患者数	185	人工膝関節置換術	33
1日平均患者数	30.7	下肢骨折手術	94
		上肢骨折手術	122
		計	513

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会	2024.06	新井 隆三 西谷 江平	ところ変われば品変わる：肩腱板断裂術後成績に医療施設の リハビリテーション技量が及ぼす影響	東京都
第 39 回日本整形外科学会基礎学術集会	2024.10	新井隆三 奥谷祐希 片岡正尚 池崎友美 谷陽弘	肩甲下筋腱断裂とその解剖	東京都
第 51 回日本股関節学会学術集会	2024.10	奥谷 祐希	腰椎骨盤矢状面アライメントと大腿骨近位部骨折の骨折形 の検討	岡山市
第 55 回日本人工関節学会	2025.02	奥谷 祐希	人工膝関節全置換術における術前の深部静脈血栓症のリス ク因子の検討	名古屋市
第 117 回京都整形外科懇話会	2025.02	奥谷 祐希	大菱形骨骨折に対してスクリュー固定を施行した一例	京都市

■ その他（研究会発表・講演など）

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 4 回 運動器臨床解剖学講座	2024.04.18	新井隆三	J 腱板前上方断裂に関する解剖学的構造 (肩甲下筋と腱板疎部を中心に)	オンライン

■ 論文・著書等

- Thin-slice 2D MR imaging of the shoulder joint using denoising deep learning reconstruction provides higher image quality than 3D MR imaging
Kakigi T, Sakamoto R, Arai R, Yamamoto A, Kuriyama S, Sano Y, Imai R, Numamoto H, Miyake Kawai K, Saga T, Matsuda S, Nakamoto Y.
● Magn Reson Med Sci. 2024; 24:2023-0115.
PMCID: PMC12406157 DOI: 10.2463/mrms.mp.2023-0115
- 腱板前上方断裂に関する解剖.
新井隆三
● 運動器臨床解剖学 —チーム秋田の「メゾ解剖学」基本講座—改訂第 2 版 全日本病院出版会. 2024; 40-51.
- 腱板断裂の解剖学的知見.
新井隆三
● 整形・災害外科. 金原出版 2024; 67(9): 1001-6.
- 上腕二頭筋長頭腱断裂
新井隆三
● 整形外科の外傷処置—捻挫・打撲・脱臼・骨折—ニュースタンダード整形外科の臨床 2
中山書店. 2025; 42-44.

形成外科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	11	5	12	13	14	2	4	9	7	6	9	1	93
退院患者数	15	4	10	12	17	4	1	8	11	3	6	6	97
延患者数 (退院含)	171	65	107	106	153	31	23	68	77	30	76	68	975
延患者数 (退院含まず)	156	61	97	94	136	27	22	60	66	27	70	62	878
平均在院日数	15.1	14.0	9.8	8.6	8.8	9.0	8.8	7.1	8.0	7.6	12.0	17.7	10.1

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	3,284	鼻骨骨折	14
新患者数	143	眼瞼下垂症	20
1日平均患者数	13.5	顔面皮膚・皮下腫瘍	20
		その他皮膚・皮下腫瘍	13
		下腿皮膚潰瘍	6

耳鼻咽喉科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	30	33	25	28	27	18	19	17	18	21	18	25	279
退院患者数	35	31	27	26	29	15	20	16	22	14	20	22	277
延患者数 (退院含)	237	192	177	208	230	124	168	127	146	96	129	151	1,985
延患者数 (退院含まず)	202	161	150	182	201	109	148	111	124	82	109	129	1,708
平均在院日数	6.3	4.8	5.8	6.7	7.2	6.9	7.8	6.7	6.2	4.7	5.7	5.5	6.2

手術名	件数	手術名	件数
耳科手術	96	鼻下手術	83
鼓室形成術	8	内視鏡下副鼻腔手術	34
鼓膜チューブ留置術	38	鼻中隔・鼻腔手術	25
その他の耳科手術	50	その他の鼻科手術	24
		その他の鼻科手術	

手術名	件数	手術名	件数
口腔咽喉頭手術	85	頭頸部手術	79
口蓋扁桃・アデノイド手術	54	頸部郭清術（単独施行）	4
口腔咽喉頭腫瘍摘出術	5	唾液腺手術	9
喉頭微細手術	6	甲状腺手術	34
音声・嚥下手術	3	リンパ節生検	29
その他口腔咽喉頭	17	その他の頭頸部手術	3

合計	343
----	-----

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第146回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 京滋合同地方部会	2024.06	水越 彬文 鈴木 良 村井 紀彦	筋肉内膿瘍を呈した胸鎖乳突筋の原発性化膿性筋炎例	京都市

皮膚科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	7	11	7	14	8	12	6	5	5	12	3	9	99
退院患者数	6	8	12	13	8	13	9	4	6	7	9	7	102
延患者数 (退院含)	82	126	175	129	149	148	64	69	37	99	106	118	1302
延患者数 (退院含まず)	76	118	163	116	141	135	55	65	31	92	97	111	1200
平均在院日数	8.2	12.4	17.6	6.5	14.9	10.8	7.3	14.4	5.6	9.7	17.8	15.1	11.4

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	8,596	下腿蜂窩織炎	12
新患者数	145	帯状疱疹	7
1日平均患者数	35.4	水疱性類天疱瘡	3
		下腿皮膚潰瘍	3

泌尿器科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	44	47	48	57	51	54	63	59	71	65	50	54	663
退院患者数	41	42	57	53	52	58	57	66	76	50	51	61	664
延患者数 (退院含)	364	455	529	502	546	458	506	530	596	565	596	551	6198
延患者数 (退院含まず)	323	413	472	449	494	400	449	464	520	515	545	490	5534
平均在院日数	8.9	10.5	10.9	9.1	10.6	8.4	8.6	8.8	8.3	10.5	12.2	9.7	9.6

外来実績 (人)		主な手術件数			
年間延外来患者数	10,932	腹腔鏡下手術	69	体外衝撃波結石破砕 (ESWL)	48
新患者数	147	(うちロボット支援)	50	前立腺生検	109
1日平均患者数	45.0	膀胱癌経尿道の手術	95	生体腎移植	3
		経尿道的前立腺手術(レーザー核出術を含む)	11	総手術件数 (ESWL、前立腺生検を除く)	349
		経尿道的尿管結石破砕術(TUL)	59		

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第111回日本泌尿器科学会総会	2024.04	井口 亮	Robotic surgery for rectal malignancy with combined resection of the prostate and seminal vesicles: a report of three cases	横浜市
第62回日本癌治療学会学術集会	2024.10	小河 孝輔	進行性尿路上皮癌のアベルマブ維持療法中に多発脳転移をきたした2例	福岡市
第74回日本泌尿器科学会中部総会	2024.11	山口 貴大	当院での経尿道的前立腺吊り上げ術(Urolift)の初期経験	金沢市
第58回日本臨床腎移植学会	2025.02	小河 孝輔	生体腎移植術中に膀胱破裂をきたした1例	広島市

■ 論文・著書等

1) ペムプロリズマブ・アキシチニブ併用療法中に irAE 胃炎と重度の血小板減少を発症した 1 例

小河 孝輔, 高橋 大介, 宮川 拓朗, 新垣 隆一郎, 渋谷 信介, 大久保 和俊

● 泌尿器科紀要 .70(7): 213-218, 2024

2) 排尿ケアチームによる排出障害介入と膀胱留置カテーテル再挿入リスク因子の検討

黒川 真行, 岡田 夫美子, 小河 孝輔, 岡田 能幸, 伊藤 貢江, 清水 真奈美, 野中 崇大, 大久保 和俊

● 泌尿器科紀要 .70(10): 323-330, 2024

3) The urinary tract reconstruction in a robot-assisted surgery for rectal malignancy with combined prostate and seminal vesicle resection.

Iguchi R, Yokota M, Kawada K, et al.

● Asian J Endosc Surg. 2024; 17: e13375.

doi:10.1111/ases.13375

4) Distal preservation and retrograde resection of the anterior vaginal wall in female robot-assisted radical cystectomy.

Iguchi R, Inoue K.

● Asian J Endosc Surg. 2025; 18: e13399.

doi: 10.1111/ases.13399

産婦人科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	55	47	52	41	40	36	46	56	47	51	40	52	563
退院患者数	59	48	54	41	38	32	49	57	51	46	37	55	567
延患者数 (退院含)	374	346	312	353	277	253	300	307	319	309	208	350	3708
延患者数 (退院含まず)	315	298	258	312	239	221	251	250	268	263	171	295	3141
平均在院日数	5.7	6.9	5.8	8.8	6.9	7.5	6.1	5.4	5.9	6.3	5.5	6.3	6.4

外来実績 (人)		婦人科 症例数 (2024年)			婦人科 症例数 (2024年)		
年間延外来患者数	8,854		腹式	腹腔鏡	ロボット	円錐切除術	26
新患者数	205	広汎子宮全摘術	1	0	0	良性疾患 ロボット手術	36
1日平均患者数	41.1	子宮頸癌手術	1	1	0	その他の腹腔鏡下手術	91
		子宮体癌手術	3	5	10	経膈手術 (子宮脱根治術)	4
		卵巣癌手術	13	3	0	子宮鏡検査、子宮鏡下手術など	72
				腹腔鏡下	ロボット支援下	総手術件数	272
		腹腔鏡下、あるいはロボット支援下仙骨腫固定術		0	5		
						産科 症例数 (2024年)	
						総分娩数 (妊娠 22 週以降)	121
						うち帝王切開	36
						うち硬膜外無痛分娩	14

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
AMED/ASPIRE and JSPS/ILR joint kickoff symposium	2024.06	中北 麦	Dynamic Transcriptional Landscape of In Vivo and In Vitro Folliculogenesis Among Mice, Monkeys, and Humans	阿蘇市
第 23 回日本婦人科がん分子標的研究会	2024.10	芦原 隆仁	卵巣類内膜癌における癌関連遺伝子変異の腫瘍内分布とクローナリティ	横浜市

小児科

2024年度は前年度と比べ入院患者数がわずかに増加し、その2/3を感染症が占める形となりました。呼吸器感染症の中でRSウイルス感染症の入院が多いのはコロナ期を除いて通常のことですが、今年はマイコプラズマ感染症の流行があり年長児の入院が目立ちました。しかしまれに新生児の遅発型B群溶連菌敗血症や乳児の肝膿瘍といった低年齢の重症細菌感染症にも遭遇します。こうした患者さんを見逃すことなく迅速に対応できるよう、体制を整えスタッフ間で協力し丁寧な診療を心がけています。当科で対応できない小児がんなどの疾患については京大病院をはじめとする高次医療機関にご紹介しています。

一方で数字には表れませんが、先天性疾患や慢性の病態をもつ子どもたちの在宅医療や移行期医療にも力を入れています。幼少期から関わってきた患者さんがこの先も安心して過ごせるように、成人診療科や地域の関係機関との連携を模索しているところです。近年は小児科でも訪問看護を依頼するケースが増えており、診療の形の変化を感じますが、関わってくださる医師やスタッフが不安なく患者さんとよい関係が築けるよう、きめ細かい情報交換を心がけています。要支援家庭や特定妊(産)婦に関わる際にも、関係機関との細やかな情報交換は欠かせず、新たな技術によりこうしたコミュニケーションが円滑化することを願います。

少子化やワクチンの進歩普及によりこれからも小児科医の役割は変化していきますが、子どもたちが困った時の拠りどころとなるような病院小児科を目指し、努力を続けたいと考えています。

1. 医師

小児科常勤医師数 5名(うち専攻医1名)

医師名	役職	
澤田 眞智子	部長	
田村 宏美	副部長	
上野 浩生	副部長	2024年7月まで
阿久澤 大智	医長	2024年9月から
篠 裕輝	専攻医	
若園 吉裕	院長	

2. 学会および施設認定

- 学会等:日本小児科学会専門医4名、認定小児科指導医2名、日本血液学会専門医・指導医1名、日本小児血液・がん学会評議員1名、京都大学臨床教授1名
- 施設認定:日本小児科学会認定専門施設、日本血液学会認定施設、日本小児がん研究グループ(JCCG)認定施設(B)、日本小児白血病研究会(JACLS)認定施設、小児がん連携病院・類型3(長期フォローアップ)

3. 入院

- 新規入院患者 新規入院患者 345名(一般小児 310名、新生児 35名)

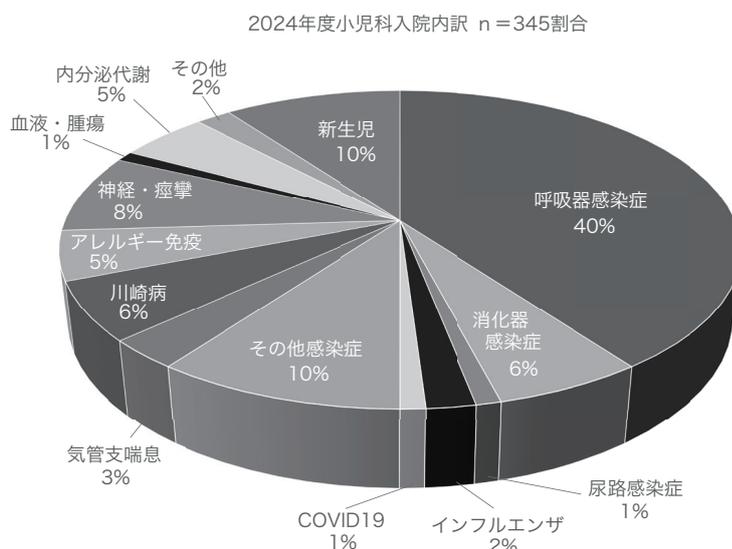
【入院疾患内訳】

<一般小児>

呼吸器感染症 139名(うちRSウイルス感染35名、マイコプラズマ感染26名)、消化管感染症21名、尿路感染症5名、COVID-19 4名、インフルエンザ6名、B群溶連菌敗血症1名、肝膿瘍1名、胆管炎1名、化膿性股関節炎1名、蜂窩織炎3名、無菌性髄膜炎2名、気管支喘息11名、川崎病19名、IgA血管炎2名、アナフィラキシー3名、食物アレルギー(負荷試験)9名、神経・痙攣性疾患26名(うち脱髄疾患1名)、急性リンパ性白血病1名、自己免疫性溶血性貧血1名、脳血管腫1名、1型糖尿病2名、溶連菌感染後急性糸球体腎炎1名、など

<新生児>

早産・低出生体重児7名、新生児呼吸障害9名、新生児感染症3名、新生児低血糖3名、高ビリルビン血症8名、唇顎口蓋裂2名、など



4. 外来

- ・年間外来延べ患者数 6,664 名
- ・新患者数 561 名

5. 救急（夜間休日診療）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数	20	32	22	24	17	27	24	32	30	38	29	27	322
救急車	5	3	2	3	1	3	2	9	8	2	1	4	43
(救急車総数)	8	7	12	14	3	8	7	12	18	8	8	14	119
小児入院	4	10	7	3	6	5	5	13	9	7	4	9	82
新生児入院	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1		2	8
入院合計	4	11	8	4	7	6	5	13	9	8	4	11	90

6. 小児科臨床研修

- ・初期研修医 2年目9名、1名につき1か月間研修（必修）
- ・開業医訪問研修協力医療機関：よしおかこどもクリニック、かみや小児科医院、青木小児科医院

7. その他

- 地域救急：京都市2次病院群輪番：当直28回、乙訓応急診療所後送当番：日直16回
- 健診：二条保育園、葉室幼稚園／こぼと園、西嶺保育園、洛西愛育園、ひだまり保育園、つばさ園／ももの木学園
- 事務局・世話人：京都小児科医会感染症研究会、京都大学小児血液腫瘍研究会、京都西南部小児科地域連携の会

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第34回京都市小児科医会感染症研究会	2024.06	篠 裕輝、 上野 浩生、 田村 宏美、 澤田 真智子、 若園 吉裕	肺炎気管支炎症状が診断契機となった2例	京都市
第30回京都西南部小児科地域連携の会	2024.09	澤田 真智子、 篠 裕輝、 阿久澤 大智、 田村 宏美、 若園 吉裕	肝膿瘍の一乳児例	京都市

眼科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
手術件数	125	112	108	128	119	119	129	106	104	135	110	106	1,401

外来実績 (人)	
年間延外来患者数	17,222
新患者数	248
1日平均患者数	70.9
入院実績 (人)	
新入院患者数	739
退院患者数	737
延患者数 (退院含)	2528
延患者数 (退院含まず)	1791
平均在院日数	5.0

主な手術件数			
白内障	1,322	硝子体	115
眼内レンズ強膜内固定	27	黄斑円孔	17
緑内障 (トラベクトミー眼内法)	44	黄斑前膜	27
緑内障 (トラベクレクトミー)	17	網膜剥離	31
		糖尿病網膜症	10

※ 2025年度から緑内障手術の新しい術式である
「プリザープロ® マイクロシャント手術」を多数実施しています。

4

各科診療の状況
— 眼科

乳腺科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	5	10	9	9	9	13	10	7	8	13	9	7	109
退院患者数	3	8	11	10	7	14	6	7	10	9	9	8	102
延患者数 (退院含)	36	64	116	51	100	146	79	62	71	119	140	62	1046
延患者数 (退院含まず)	33	56	105	41	93	132	73	55	61	110	131	54	944
平均在院日数	8.3	6.6	10.5	4.5	12.1	9.8	9.0	7.9	6.8	10.0	15.1	7.7	9.1

入院実績 (人)		手術件数	
年間延外来患者数	4,411	乳癌	71
新患者数	39	良性腫瘍	4
1日平均患者数	18.2	その他	2

精神科

■ 診療実績

外来実績（人）	
年間延外来患者数	13,903
新患者数	143
1日平均患者数	57.2

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 57 回日本てんかん学会学術集会	2024.09	澤木 悠人	Perioral Myoclonia with Absences(POMA) の 6 症例と文献的考察	福岡市
日本集団精神療法学会第 42 回学術大会プレコングレス	2025.03	宮城 崇史	治療継続を支えるグループ～依存症治療から考える～	高崎市
日本動機づけ面接学会 第 13 回年次大会とミニワークショップ	2025.03	挟間 雅章	経験学習モデルの MI トレーニングへの適用	神戸市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
令和 6 年度（前期）京都府こころの健康セミナー	2024.06	宮城 崇史	薬物依存症の理解と回復支援	オンライン
西京区医療出前講座	2024.09	三嶋 亮	認知症の気づきと対応	京都市
西京区医療出前講座	2025.01	三嶋 亮	認知症の気づきと対応	京都市
これまでとこれまでの精神医学を創る会	2025.02	三嶋 亮	診察室で統合失調症をどう語るかー患者と家族に伝わる言葉	
西京区認知症地域ケア協議会研修会	2024.07	挟間 雅章	認知症診療の「これまで」と「これから」ー新薬に対する期待と不安ー	京都市
京都市支援力・対応力強化研修会	2024.08	宮城 崇史	青少年のオーバードーズ（OD）～どのように理解し、支援するか～	京都市
令和 6 年度河内会第一回心理士（直接処遇職員合同）研修会	2024.09	宮城 崇史	多様な子どもと出会う～ともに学び、成長するために～	東大阪市
全国児童養護問題研究会	2024.06	宮城 崇史	子どもの精神科	

■ 論文・著書等

1) 幻覚・妄想状態の兆しにおける見立てと治療戦略

三嶋亮

- 臨床精神薬理 第 27 巻 11 号 1135-1141 ページ 2024 年

2) 精神科研修ノート 改訂第 3 版「知覚」

三嶋亮

- 診断と治療社

3) 薬を処方する時は値札を見ましょうーオーダーリングシステムに薬価と薬剤費を表示させる提案ー

挟間雅章

- 精神科治療学 39 号 5 巻 562 - 563 ページ 2024 年

4) 支持的精神療法を学ぶ手段としての動機づけ面接ー大学病院と総合病院におけるトレーニングの実践ー

挟間雅章・安藝森央・村井俊哉

- 総合病院精神医学 36 号 3 巻 211 - 220 ページ 2024 年

緩和ケア科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	8	6	7	6	11	7	13	9	6	10	4	8	95
退院患者数	22	17	21	22	25	20	25	27	22	19	33	28	281
延患者数 (退院含)	399	486	462	449	407	368	376	379	414	505	453	512	5210
延患者数 (退院含まず)	377	469	441	427	382	348	351	352	392	486	420	484	4929
平均在院日数	25.9	40.9	31.5	30.6	21.2	25.8	18.5	19.6	28.0	33.5	22.7	26.9	26.3

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	305	肺癌	68
新患者数	34	膀胱癌	33
1日平均患者数	1.3	大腸癌	27
		胃・十二指腸癌	26
		肝・胆道癌	23
		腎・尿路上皮癌	15
		乳癌	15
		食道癌	12
		骨軟部腫瘍	10
		血液癌	9

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	村上 寛子	緩和ケア病棟における末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入の安全性と有効性に関する後方視的検討	神戸市
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	大棟 有紀	緩和ケア病棟入院中の患者における緩和的放射線治療の安全性と有効性に関する後方視的検討	神戸市
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	安藤 詩織	臨死期に死亡前徴候として眼球彷徨を認めた3例	神戸市
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	植田 知代子	疼痛緩和に難渋した白血病終末期の2症例	神戸市
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	清水 正樹	基本的ながん疼痛緩和法の有効性に関する多施設前向き観察研究	神戸市
第29回日本緩和医療学会学術大会	2024.06	清水 正樹	がん疼痛に対するオピオイド増量を予測する機械学習モデルの探索	神戸市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
生命のがん教育推進プロジェクト事業	2024.09	橋本 教正	生命のがん教育	京都市

■ 論文・著書等

- 1) The safety and effectiveness of naldemedine for opioid-induced constipation in patients with advanced cancer in real-world palliative care settings: a multicenter prospective observational study.
Shimizu M, Maeda I, Kessoku T, Ishiki H, Matsuura T, Hiratsuka Y, Matsuda Y, Hasegawa T, Imai K, Oyamada S, Satomi E; Phase-R OIC Study Group.
● Support Care Cancer. 2024 Jul 10;32(8):504.
PMID: 38985364 DOI: 10.1007/s00520-024-08716-8
- 2) Cancer Pain Management in Patients Receiving Inpatient Specialized Palliative Care Services.
Tagami K, Chiu SW, Kosugi K, Ishiki H, Hiratsuka Y, Shimizu M, Mori M, Kubo E, Ikari T, Arakawa S, Eto T, Shimoda M, Hirayama H, Nishijima K, Ouchi K, Shimoi T, Shigeno T, Yamaguchi T, Miyashita M, Morita T, Inoue A, Satomi E.
● J Pain Symptom Manage. 2024 Jan;67(1):27-38.e1.
PMID: 37730073 DOI: 10.1016/j.jpainsymman.2023.09.015
- 3) Prevalence of opioid-induced adverse events across opioids commonly used for analgesic treatment in Japan: a multicenter prospective longitudinal study.
Hiratsuka Y, Tagami K, Inoue A, Sato M, Matsuda Y, Kosugi K, Kubo E, Natsume M, Ishiki H, Arakawa S, Shimizu M, Yokomichi N, Chiu SW, Shimoda M, Hirayama H, Nishijima K, Ouchi K, Shimoi T, Shigeno T, Yamaguchi T, Miyashita M, Morita T, Satomi E.
● Support Care Cancer. 2023 Oct 16;31(12):632.
PMID: 37843639 PMCID: PMC10579154 DOI: 10.1007/s00520-023-08099-2
- 4) 【語られてこなかった間欠的鎮静のいま】 痛みに対する間欠的鎮静
清水 正樹
● 緩和ケア (1349-7138)35 巻 1 号 Page022-027(2025.01)

救急科

■ 診療実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数	79	69	91	134	128	100	88	75	126	98	98	97	1,183
退院患者数	34	44	48	52	73	54	46	52	54	60	46	68	631
延患者数 (退院含)	549	532	515	742	982	921	745	631	685	1,181	996	917	9,396
延患者数 (退院含まず)	515	488	467	690	909	867	699	579	631	1,121	950	849	8,765
平均在院日数	9.5	8.8	6.9	7.5	9.0	11.0	10.5	9.2	6.8	14.8	13.4	10.7	9.8

外来実績 (人)		主な患者数	
年間延外来患者数	6,908	誤嚥性肺炎	88
新患者数	1,831	肺炎	21
1日平均患者数	18.9	急性薬物中毒	16
		敗血症性ショック	15
		COVID-19	14
		尿路感染症	14
		熱中症	14
		蘇生に成功した心停止	13
		アナフィラキシー	12
		敗血症	12

ICU 入院件数	2023 年度	2024 年度	(内 入院患者数)	
新入室患者数	227 人	181 人	救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	6,304 人 (3,155 人)
転入患者数	710 人	738 人	上記以外の救急患者の数	6,224 人 (1,297 人)
患者延数 (実数)	1,764 人	1,916 人	合計	12,528 人 (4,452 人)

■ 来院時心肺停止件数 (2024 年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	2	2	2	1	3	0	1	3	1	5	2	1	23
外来	14	9	10	9	8	6	18	9	20	33	12	20	168
合計	16	11	12	10	11	6	19	12	21	38	14	21	191

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 53 回日本 IVR 学会総会	2024.05	安尾 俊祐	橈骨動脈穿刺に伴う疼痛に対する局所麻酔の有効性の比較:SR と NMA	和歌山市
第 53 回日本 IVR 学会総会	2024.05	安尾 俊祐	The Efficacy of Local Anesthesia for Radial Artery Puncture Pain: A Systematic Review and Network Meta-Analysis	和歌山市
第 46 回日本呼吸療法医学会学術集会	2024.06	野浪 豪	当院の SAT/SBT 実施に関わるタスクシフト・シェアの現状と課題	天童市
第 77 回京都府プレホスピタル検討会	2024.06	任 稔理	自転車走行中に転倒負傷し搬送後に脳梗塞が判明した症例	京都市
第 52 回日本救急医学会学術集会	2024.10	安尾 俊祐	橈骨動脈穿刺に関連する疼痛に対する局所麻酔の有効性:系統的レビューとネットワークメタ解析	仙台市
第 35 回京滋 NST 研究会	2024.10	寺坂 勇亮	ICU/HCU の栄養管理について	京都市
第 124 回京都府院内臓器移植コーディネータ研修会	2024.10	寺坂 勇亮	当院で初めての脳死下臓器提供を経験して	京都市
第 52 回日本集中治療医学会学術集会	2025.03	野浪 豪	遠隔集中治療の導入における課題と対応 支援体制の確立を目指して	福岡市
第 52 回日本集中治療医学会学術集会	2025.03	坂 正明	大量血胸に対して andexanet alfa 投与後に広範な脳梗塞をきたした一例	福岡県

■ 論文・著書等

- 1) Efficacy of Local Anesthesia for Radial Artery Puncture Pain: A Systematic Review and Network Meta-Analysis.
Yasuo S, Hayashi M, Suda C, Kataoka Y, Taito S, Imai E, et al.
● Cureus. 2024 July;16(7):e64682
- 2) 日本救急医学会 熱中症診療ガイドライン 2024
<https://www.mhlw.go.jp/content/001314082.pdf> (安尾共著)
- 3) The Japanese Clinical Practice Guidelines for management of sepsis and Septic Shock 2024.
Shime N, Nakada T-A, Yatabe T, Yamakawa K, Aoki Y, Inoue S, et al. (野浪・安尾共著)
● Acute Med Surg. 2025 Jan;12(1):e70037.
- 4) Efficacy of antithrombin administration for patients with sepsis: A systematic review, meta-analysis, and meta-regression.
Tsuchida T, Makino Y, Wada T, Ushio N, Totoki T, Fujie N, et al. (安尾共著)
● Acute Med Surg. 2024 Jan;11(1):e950.
- 5) Evaluating Methodological validity in the Analysis of Tai Chi and cognitive behavioral therapy for inflammation Reduction in Insomnia: A Letter to the Editor.
Eto-Kimura A, Yasuo S, Kataoka Y.
● Brain Behav Immun. 2025 Jan;123:863-4.
- 6) Comparison of the efficacy of continuous saline infusion to prevent catheter occlusion: A systematic review and meta-analysis.
Kondo S, Hirao Y, Yasuo S, Tsujimoto Y.
● Cureus [Internet]. 2025 Sept 18; Available from: <http://dx.doi.org/10.7759/cureus.92631>
- 7) The Japanese Critical Care Nutrition Guideline 2024.
Nakamura K, Yamamoto R, Higashibeppu N, et al. (寺坂共著)
● J Intensive Care. 2025 Mar 21; 13:18.

麻酔科

■ 診療実績

麻酔管理症例数			
全身麻酔（吸入）	1,759 件	脊髄くも膜下麻酔	8 件
全身麻酔（TIVA）	302 件	その他	7 件
全身麻酔（吸入）＋硬麻・脊麻・伝麻	212 件		
全身麻酔（TIVA）＋硬麻・脊麻・伝麻	17 件		
脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CSEA）	1 件		
		合計	2,306 件

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
日本麻酔科学会第 70 回関西支部学術集会	2024.09	森脇 扶美	慢性呼吸不全患者の腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術において下肢末梢神経ブロックを用いた一例	大阪市

病理診断科

■ 診療実績

	件数
組織診断	6,720 件 (術中迅速診断 149 件含む)
細胞診断	6,736 件 (術中迅速診断 35 件含む)
病理解剖	8 件
CPC	6 回

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 65 回日本臨床細胞学会総会 シンポジウム 4「誤診しやすい尿細胞診」	2024.06	渋谷 信介	尿路上皮癌の組織重型は推定可能か	大阪市

放射線診断科

■ 診療実績

	件数
透視・一般撮影検査	68,689
MR検査	8,700
Vascular IVR	37件
BAE	22件
他止血	12件
門脈系	3件

	件数
C T検査	27,012
R I検査	877
Non-Vascular IVR	17件
ドレナージ	15件
生検	2件

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
JSAWI2024	2024.10	山岡 利成	妊娠に伴う血流変化が疑われた多血性 adenomyomatous polyp の一例	淡路市

放射線治療科

■ 診療実績

放射線外部照射	433 件	RI 内用療法	4 件
IMRT	66 件	⁸⁹ Sr	0 件
脳 SRT	6 件	⁹⁰ Y	0 件
体幹部 SRT	57 件	²²³ Ra	4 件
追尾	0 件	¹³¹ I	0 件

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 65 回日本肺癌学会学術集会	2024.10	伊藤 仁	デュルバルマブ発売前の肺癌根治的 CRT 後の長期生存者の成績	横浜市
日本放射線腫瘍学会第 37 回学術大会	2024.11	坂本 隆史	症例相談窓口運用に向けて (少数常勤放射線治療医サポート小委員会)	横浜市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
CRPC 治療戦略 — 放射線科医と泌尿科医の立場から —	2024.11	伊藤 仁	Ra223 再考 いつ使う? どう使う?	京都市
京都市・明治安田生命共催市民公開講座	2024.11	坂本 隆史	肺癌に対する放射線治療	京都市
第 24 回京都桂病院がん市民講演会	2025.03	坂本 隆史	大腸癌の放射線治療	京都市

リハビリテーションセンター

■ 診療実績

本年度も多様な診療科から多数のリハビリテーション依頼を頂き、急性期のリハビリテーション医療を実践することができました。当科のリハビリテーション医療が主診療科に信頼頂いていることに感謝し、誠実なりハビリテーション医療を提供してくれた療法士に感謝いたします。

《 1 》 地域連携逆紹介

当院からの逆紹介にて、病病連携・病診連携で次の医療機関や介護施設に移られる方においては、ほとんどの方が、リハビリテーション医療の継続が必要な方です。したがって、地域医療連携の一助として、当科でリハビリテーションを実施した方には、全員に当科のリハビリテーションに関する情報提供書やサマリーを作成しています。

逆紹介には、(A) 京都府地域連携パス転院と、(B) それ以外の転院や外来移行があります。2024 年度の逆紹介の状況を報告します。

(A) は、療法士 (PT・OT・ST) サマリーで情報提供し、

(B) では、リハビリテーション科医師の診療情報提供書と療法士 (PT・OT・ST) サマリーにて情報提供しています。

(A) 京都府地域連携パスを使用した逆紹介 (件数)

- ① 大腿骨近位部骨折術後の連携パス
- ② 脳卒中の連携パス

2024 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
①	9	9	7	4	10	6	6	9	10	13	10	6	99
②	42	31	37	32	33	28	37	34	38	26	36	34	408
合計 (①+②)	51	40	44	36	43	34	43	43	48	39	46	40	507

(B) 京都府地域連携パスを使用しない逆紹介 (件数)

2024 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	55	76	52	55	60	89	91	61	58	58	54	65	774

2024 年度は、(A) + (B) = 507 件 + 774 件 = 1,281 件の逆紹介を行いました。

《 2 》 依頼数・処方数

総依頼件数

診断科	件数	診断科	件数	診断科	件数
循環器科	699	脊椎脊髄外科	292	耳鼻咽喉科	96
救急科	690	脳神経内科	280	皮膚科	53
呼吸器内科	678	心臓血管外科	233	産婦人科	48
外科	617	腎臓内科	230	腫瘍内科	21
整形外科	588	泌尿器科	216	小児科	12
消化器内科	442	緩和ケア科	207	形成外科	6
呼吸器外科	369	糖尿病・内分泌内科	195	放射線治療科	2
血液内科	363	膠原病リウマチ科	107	一般内科	2
脳神経外科	361	乳腺科	97	眼科	1
				総依頼数 27 診療科	6,905

総処万件数

診断科	件数
救急科	1101
呼吸器内科	1056
脳血管外科	1028
整形外科	992
循環器科	917
脳神経内科	723
外科	715
消化器内科	552
脊椎脊髄外科	461

診断科	件数
呼吸器外科	457
血液内科	447
緩和ケア科	418
心臓血管外科	282
腎臓内科	279
泌尿器科	262
糖尿病・内分泌内科	240
膠原病リウマチ科	157
耳鼻科	119

診断科	件数
乳腺外科	106
皮膚科	63
産婦人科	53
腫瘍内科	30
小児科	13
形成外科	9
眼科	2
放射線治療科	2
総依頼数 26 診療科	10,484

PT 処万件数

診断科	件数
呼吸器内科	672
循環器科	660
救急科	618
外科	591
整形外科	587
消化器内科	415
呼吸器外科	375
脳神経外科	358
血液内科	354

診断科	件数
脊椎外科	311
脳神経内科	283
腎臓内科	219
心臓血管外科	215
泌尿器科	206
緩和ケア科	202
糖尿病・内分泌内科	184
膠原病リウマチ科	107
耳鼻科	77

診断科	件数
皮膚科	54
産婦人科	44
腫瘍内科	21
乳腺外科	20
小児科	7
形成外科	6
眼科	1
総依頼数 25 診療科	6,587

OT 処万件数

診断科	件数
整形外科	387
脳血管外科	337
呼吸器内科	249
脳神経内科	222
緩和ケア科	178
救急科	166
循環器科	165
脊椎脊髄外科	139
乳腺外科	86

診断科	件数
消化器内科	49
呼吸器外科	39
心臓血管外科	38
外科	33
血液内科	30
腎臓内科	26
膠原病リウマチ科	24
糖尿病・内分泌内科	21
泌尿器科	15

診断科	件数
皮膚科	7
産婦人科	5
耳鼻科	3
腫瘍内科	3
形成外科	3
放射線治療科	2
総依頼数 24 診療科	2,227

ST 処万件数

診断科	件数
脳血管外科	333
救急	317
脳神経内科	218
呼吸器内科	135
循環器科	92
外科	91
消化器内科	88
血液内科	63
呼吸器外科	43

診断科	件数
泌尿器科	41
耳鼻科	39
緩和ケア科	38
糖尿病・内分泌内科	35
腎臓内科	34
心臓外科	29
膠原病リウマチ科	26
整形外科	18
脊椎脊髄外科	11

診断科	件数
腫瘍内科	6
小児科	6
産婦人科	4
皮膚科	2
眼科	1
総依頼数 23 診療科	1,670

学会発表

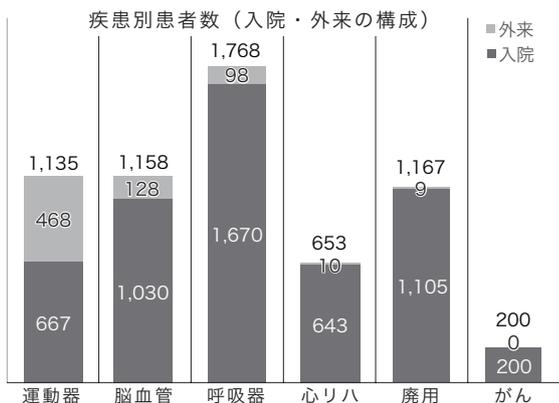
学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 61 回日本リハビリテーション医学会 学術集会	2024.06	宮崎 博子	改めて ACP の視点で考える慢性進行性呼吸器疾患のリハビリテーション～16 年フォローした COPD の 1 症例～	東京都

学会講演

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 44 回日本臨床運動療法学会学術集会 教育講演Ⅵ 呼吸器疾患 Up to Date	2024.09	宮崎 博子	COPD の呼吸リハビリテーション～機能予後・生命予後を支えるもの～	京都市

2024年度 疾患別リハビリテーション料算定状況

2024年度のリハビリテーション実施実績を疾患別リハごとにまとめ、患者数（入院・外来）および療法別（PT・OT・ST）の実施単位数を比較・可視化。

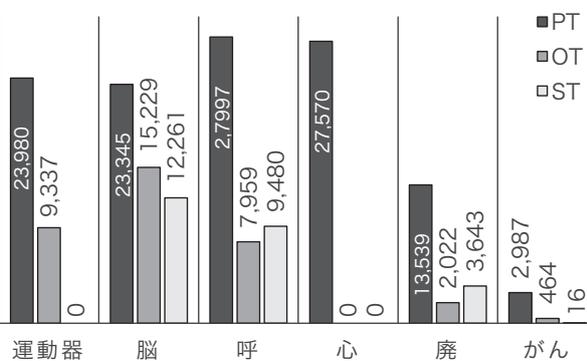
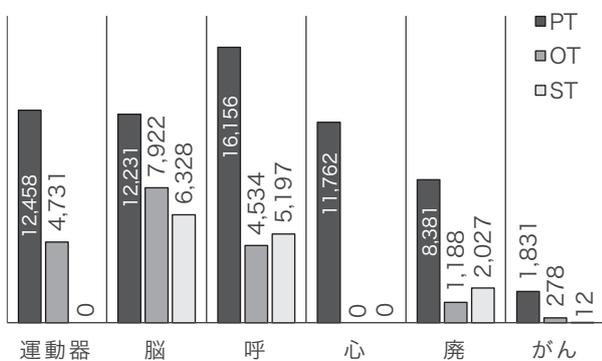


<概要>
入院を中心とした患者配分となっている。運動器疾患は外来比率が約41%と極めて高く、他疾患別リハとは異なり、地域連携・維持期フォローの役割を有している。

疾患別リハビリテーション件数・単位数

療法別疾患別リハビリテーション件数

療法別疾患別リハビリテーション単位数

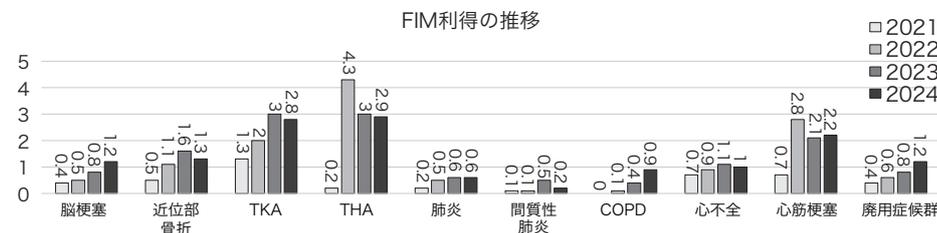


	2020	2021	2022	2023	2024
件数	78,728	77,863	84,212	83,565	95,036
単位	145,610	144,452	150,151	153,981	179,829
1件当たりの単位	1.85	1.86	1.78	1.84	1.89

<概要>
2023年度に比べ、件数で13.7%、単位数で16.8%の上昇を認める。
1件あたりの取得単位もわずかに向上した。

2024年度 リハビリテーション質の評価

2024年度のFIM利得を疾患別にまとめ、リハビリテーションの質評価を可視化した。



<概要>
2023年度に比べ、脳梗塞、COPD、廃用症候群でFIM利得の向上を認める

スタッフ数推移

職種	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医師	2	3	2	2
理学療法士	28	31	34	38
作業療法士	9	9	11	11
言語聴覚士	6	7	6	7
サポーター	7	9	10	10

5 各部門の状況

看護部

5

各部門の状況

看護部

1. 看護部目標と評価

1) 組織の絆の強化（看護部署間の絆の強化 / 他部門との絆の強化）

<目標> DPC II 超率 35%未満

<成果> 病床稼働率 81.6% → 82.1%

新入院患者数平均 1050 人 → 1126 人 / 月

DPC II 超過率を意識した病床運営に取組み 38% → 36% に減少

2) 人材育成（中途採用者・異動者および卒後 2・3 年目の育成 / 心理的安全性を高める職場づくり / 医療安全文化の醸成）

<目標> インシデント報告ゼロレベルの報告の増加

<成果> R5 年度 60 件 → R6 年度 65 件に増加

3) 業務改善（Google ワークスの活用 / 医療機器データ通信サポートシステムの活用 / 超過勤務の削減）

<目標> 平均超過勤務時間 10 時間以下

<成果> 看護師ひとりの平均超過勤務時間 9.3 時間 / 月 → 7.8 時間 / 月

2. 委員会活動

◇ 基本看護手順委員会（委員長：須摩谷あいこ）

<目標> ① 2020 年以降未更新の手順を見直し、更新する

② Excel データを Word に変換し、PDF 化電子カルテへの掲載の準備を整える

◇ 感染管理委員会（委員長：泉本侑加）

<目標> ① 標準予防策の周知徹底を図り、リンクナースの活動により、アルコール消毒の使用量を増加することが出来る

② 適切なタイミングで手袋の着脱を行い、手指衛生をすることができる

③ 適切なカテーテル管理を学び、実践することで CA-UTI 発生率を低減させることが出来る

④ ナースステーションや病棟周辺の環境整備を行うことで、衛生的な環境作りができる

◇ スキンケア委員会（委員長：豊田知子）

<目標> ① 褥瘡、スキントラブルの発生を軽減させる。

② 排尿ケアの実施を見直すことが出来る。

◇ 医療安全委員会（委員長：杉浦憲子）

<目標> ① 患者の転倒・転落リスクの要因を予測し、個々の具体案の実施を確実に行う

② 患者誤認研修の減少させる

③ 誤薬のインシデントが減少する

◇ 新人教育委員会（委員長：深田祐介）

<目標> ① 新人教育委員会として、部署間の繋がりを強化し、協働体制を促進する

② 新人教育委員会メンバーとしてスキル向上を図る

③ ICT を積極的に活用し、新人教育委員会の業務効率化と質の向上を目指す

◇ 看護記録委員会（委員長：北村愛）

<目標> ① 全病棟スタッフが手引書を用いた看護記録形式監査が実施できる。

② 変更した看護記録形式監査結果をもとに自部署の記録に関する強み、弱みを知り看護記録の充実を図る。

③ 委員会内での勉強会を開催することで、正しい記録の書き方を認識することができる。

◇ 必要度委員会（委員長：田邊三千代）

<目標> ① 院内のスタッフが重症度、医療・看護必要度を理解して、正しい評価と記録記載を行い、必要な看護必要度の基準割合を維持できる

◇ がん看護委員会（委員長：芳賀明子）

<目標> ① がん治療（手術・化学療法・放射線治療・緩和ケア）に関連する副作用について知識を深め、各部署において相談役・教育的リソースとしての役割を強化する

- ②医療用麻薬への管理に対する意識向上を図り、麻薬事故の報告数を減少させる
- ◇ 現任教育委員会（委員長：中村喜美子）
 - <目標>① KATSURA ラダーに基づき、現任教育委員会が担当する研修の企画・実施を行う
 - ②臨床倫理に関する検討会を継続して開催する
- ◇ 看護研究実行委員会（委員長：田淵陽子）
 - <目標>①各部署で実施される看護研究が計画的に進むように支援する
 - ②看護研究に関する知識向上に努め、研究支援に必要なスキルアップの向上を図る
- ◇ はじめての看護研究支援委員会（委員長：村上洋人）
 - <目標>①研究者が看護研究の意義・目的を理解し各自が積極的に参加できるように支援する。
- ◇ ACLS 委員会（委員長：芝田稚枝子）
 - <目標>①院内包括指示の認知度と対応力の向上
- ◇ 退院支援委員会（委員長：尾越幸）
 - <目標>①退院支援における他部署との連携を図る
 - ②地域へつなぐ看護として、患者の思いなど必要な情報提供に努める。
 - ③院内の退院支援・退院調整の実践力が向上する。
- ◇ NST 委員会（委員長：伊藤貢江）
 - <目標>① NST 専任看護師の育成
 - ② NST に関する知識の向上
- ◇ せん妄・認知症委員会（委員長：山本文香）
 - <目標>①認知症ケア加算 1 算定対象を月 40 件以上維持できる。
 - ②急性混乱リスク状態の看護計画を改定出来る
 - ③認知症ケア対応力の向上

3. 専門看護師・認定看護師の活動

1) 緩和ケア認定看護師（福島文子）

【実践】

緩和ケアチーム介入件数：224 件 カンファレンス、回診 1 回/週
意思決定支援（IC、PCU 面談同席）、生活のしやすさに関する質問票の管理

【教育・指導】

院内：新入看護職員研修（医療用麻薬の取り扱い）、
キャリアアップ研修（緩和ケアコース、意思決定支援）
院外：ELNEC-J の講師/ファシリテーター、つながりネット講師

2) 皮膚排泄ケア認定看護師（伊藤貢江）

【創傷ケア】1 回/週の褥瘡回診、褥瘡ハイリスクケア加算（920 件）、特定行為実践（267 件）

【ストーマケア】ストーマサイトマーキングを 65 名、ストーマ外来延べ 439 件

【失禁ケア】排尿ケアチーム回診 1 回/週、排尿自立支援加算 119 件

【その他】院内講師：キャリアアップ研修（スキンケアコース）・看護補助者研修

院外講師：看護師や介護職員を対象に褥瘡ケアやスキンケアに関する研修

3) 感染管理認定看護師（中村考志）

【サーベイランス・感染対策】

- ・耐性菌（MRSA・ESBL・MDRP・CRE）、抗酸菌陽性患者、CD 陽性患者、針刺し切創と粘膜曝露、手指消毒剤使用量、デバイスサーベイランス（CA-UTI・CLA-BSI・VAE・SSI）新型コロナウイルス感染症の検出件数、検体陽性率の算出。
- ・新型コロナウイルスの院内発生における対応、職員及び職員家族への濃厚接触者対応。

【教育】

- ・院内研修（新入職者・中途採用者）2 回/年
- ・京都中央看護保健大学校看護学科：「感染症と看護」計 8 回講義。
- ・京都看護大学 感染管理認定看護師教育課程 専門教科講師担当
- ・高齢者施設への感染対策研修会 2 回開催。

- ・外部講師 「感染対策の基本・食中毒対策」講演

【その他】

- ・職員ワクチン接種
インフルエンザワクチン、HB ワクチン、麻疹・風疹・ムンプス・水痘ワクチン
- ・感染防止対策地域連携施設ラウンド（済生会京都府病院、三菱京都病院）
- ・感染防止対策地域連携カンファレンス 3 回 / 年、新興感染症訓練 1 回 / 年開催。
（西京都病院、千春会病院、洛西シミズ病院、京都市保健所、乙訓保健所）
- ・指導強化加算訪問ラウンド：4 回 / 年（西京都病院、千春会病院、洛西シミズ病院、タケダ内科医院）
- ・感染防止対策地域連携カンファレンス（診療所） 1 回 / 年、新興感染症訓練 1 回 / 年開催。
連携施設：14 診療所（西京区・右京区・亀岡）
- ・高齢者施設感染対策連携：厚生園・ライフイン京都・桂川園 1 回 / 2 か月
- ・高齢者施設訪問ラウンド：桂川園 3 回、ライフイン 2 回 ラウンド実施

5

各部門の状況

看護部

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
日本看護学会学術集会	2024.09	谷口 文代	病院施設における感染対策に関する人材育成の課題と展望	熊本市
第 47 回日本死の臨床研究会年次大会	2024.1	福島 文子	QOL とは何かを問い続けた患者との関わり	札幌市
第 46 回日本手術医学会総会	2024.12	八橋 詩恩	患者視点の benefit スパインの環境調整での苦勞	大阪市
第 27 回京都府看護学会	2025.01	河村 茉莉佳	A 病院のせん妄患者に影響を与える看護の実態調査	京都市
第 27 回京都府看護学会	2025.01	西田 光	A 病院における中堅看護師の学習意欲の実態	京都市
第 27 回京都府看護学会	2025.01	大手 一輝	看護師の多忙感に関する要因に関する実態調査	京都市
第 15 回腎臓リハビリテーション学会学術集会	2025.03	安田 可織	当部署の腎臓リハビリテーションの取り組み	横浜市

薬剤科

1. 処方箋・注射箋枚数

(2024年4月～2025年3月)

●入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服・外用	11,675	11,328	10,545	11,738	11,189	11,127	11,607	10,836	12,099	11,786	11,035	12,028	136,993
注射	18,604	19,078	18,146	18,577	18,356	17,723	18,605	17,671	19,618	21,374	18,899	19,074	225,725
小計	30,279	30,406	28,691	30,315	29,545	28,850	30,212	28,507	31,717	33,160	29,934	31,102	362,718

●入院内訳（麻薬）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服・外用	284	306	256	186	213	220	265	227	322	221	165	290	2,955
注射	816	1,006	840	848	797	765	868	824	783	858	702	692	9,799
小計	1,100	1,312	1,096	1,034	1,010	985	1,133	1,051	1,105	1,079	867	982	12,754

●入院内訳（17：30以降、日直は除く）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服・外用	943	890	838	939	998	980	941	863	906	790	783	812	10,683
注射	1,227	1,057	1,149	1,303	1,280	1,146	1,044	1,028	1,223	1,235	1,064	1,148	13,904
小計	2,170	1,947	1,987	2,242	2,278	2,126	1,985	1,891	2,129	2,025	1,847	1,960	24,587

●外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服・外用 院外	9,486	9,780	9,003	9,970	8,931	9,164	9,858	8,946	9,655	8,943	8,383	9,276	111,395
内服・外用 院内	615	655	580	661	579	570	624	597	707	658	590	643	7,479
注射	3,095	3,262	3,096	3,530	3,273	3,027	3,434	3,344	3,581	3,233	3,183	3,196	39,254
小計	13,196	13,697	12,679	14,161	12,783	12,761	13,916	12,887	13,943	12,834	12,156	13,115	158,128

総合計 520,846

2. 無菌調製数

●抗がん薬

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
件数/人数	件数	人数	件数	人数																							
外来	1,259	519	1,324	543	1,272	492	1,346	554	1,315	533	1,247	505	1,479	601	1,280	526	1,219	494	1,175	486	1,156	459	1,229	495	1,530	6,207	
A3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
A4	6	2	12	4	8	4	6	2	17	5	19	6	25	7	20	7	10	4	17	7	3	2	0	0	143	50	
A5	60	18	96	30	36	13	31	13	66	21	59	18	60	20	51	18	58	18	72	21	42	17	54	16	685	223	
A6	14	4	22	6	19	5	6	2	1	1	1	1	0	0	0	0	5	2	0	0	3	1	12	4	83	26	
CCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
H/SCU	0	0	0	0	5	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4
G3	3	1	4	2	1	1	1	1	3	1	0	0	3	1	0	0	5	5	0	0	5	4	6	4	31	20	
G4	41	17	40	21	50	19	44	18	58	24	58	24	86	32	88	34	64	27	83	37	82	30	106	41	800	324	
G5	145	51	218	69	113	47	153	65	158	65	206	74	179	61	166	58	147	53	155	57	126	51	158	57	1,924	708	
G6	233	128	226	127	216	128	183	101	253	151	256	153	379	182	289	136	315	134	212	128	239	143	273	164	3,074	1,675	
H3	49	12	47	17	58	16	41	9	25	6	36	11	38	11	27	8	31	9	24	6	12	4	19	9	407	118	
H4	10	2	8	4	11	4	9	5	5	1	1	1	1	1	8	5	5	1	4	1	7	4	4	1	73	30	
H5	29	11	15	6	12	4	28	9	20	7	43	18	57	16	16	9	12	7	17	5	21	9	19	11	289	112	
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,849	765	2,015	830	1,801	734	1,850	781	1,922	816	1,926	811	2,307	932	1,947	802	1,871	754	1,759	748	1,696	724	1,880	802	22,823	9,499	

●高カロリー (IVH)

(2024年4月～2025年3月)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	件数	人数	件数	人数																						
A3	33	33	12	12	32	32	71	71	31	31	20	20	11	11	7	7	6	6	16	16	62	62	39	39	340	340
A4	21	21	40	40	36	36	13	13	6	6	7	7	14	14	10	10	0	0	12	12	27	27	3	3	189	189
A5	32	32	11	11	14	14	39	39	38	38	13	13	22	22	29	29	19	19	22	22	48	48	3	3	290	290
A6	0	0	0	0	1	1	16	16	1	1	0	0	11	11	4	4	2	2	1	1	1	1	0	0	37	37
CCU	29	29	45	45	22	22	11	11	14	14	58	58	5	5	20	20	40	40	30	30	23	23	9	9	306	306
ICU	19	19	16	16	20	20	5	5	12	12	12	12	13	13	17	17	6	6	9	9	10	10	1	1	140	140
H/SCU	45	45	33	33	36	36	14	14	39	39	26	26	22	21	4	4	10	10	32	32	26	26	7	7	294	293
G3	2	2	4	4	34	34	1	1	5	5	28	28	31	31	1	1	0	0	12	12	20	20	14	14	152	152
G4	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	22	22	7	7	47	47
G5	0	0	0	0	0	0	2	2	21	21	5	5	0	0	5	5	8	8	0	0	21	21	35	35	97	97
G6	34	34	43	43	21	21	25	25	27	27	21	21	13	13	25	25	14	14	41	41	20	19	9	9	293	292
H3	0	0	32	32	23	23	18	18	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	109
H4	0	0	0	0	5	5	27	27	20	20	9	9	27	27	0	0	0	0	20	20	11	11	2	2	121	121
H5	13	13	13	13	1	1	0	0	3	3	11	11	16	16	1	1	24	24	0	0	0	0	0	0	82	82
H6	0	0	19	19	27	27	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	3	3	0	0	85	85
合計	229	229	268	268	272	272	273	273	253	253	210	210	185	184	123	123	129	129	217	217	294	293	129	129	2582	2580

●生物製剤・免疫抑制剤など

(2023年4月～2024年3月)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数											
外来	32	22	26	19	23	18	36	28	39	27	34	28	39	28	42	30	32	23	38	28	28	23	23	19	392	293	
A3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4	4	
A6	6	6	1	1	3	3	3	3	6	6	2	2	3	3	2	2	1	1	3	3	1	1	6	5	37	36	
CCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H/SCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
G3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	4	4	
G4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
G5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
G6	34	33	62	62	58	58	9	8	28	28	25	25	7	7	7	5	4	6	2	2	2	2	7	7	245	243	
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H4	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	3	
H5	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	8	8	
H6	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
合計	74	63	90	83	87	82	50	41	73	61	64	58	50	39	52	38	37	30	44	34	39	34	37	32	697	595	

3. 医薬品情報管理 (DI) 業務

(2024年4月～2025年3月)

- 採用医薬品集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2024年4月発行
- DIweekly・・ 第1736～1786号(51回発行)

● 薬剤安全性情報についての注意喚起

時 期	医薬品名（メーカー）	内 容	対 応
2024年5月	ベンゾジアゼピン系	ベンゾジアゼピン系の依存性について	D Weeklyへ掲載
2024年6月	アモキシシリン含有製剤	薬剤により誘発される胃腸炎症候群について	D Weeklyへ掲載
2024年8月	イベニティ皮下注 105mg シリンジ	虚血性心疾患又は脳血管障害について	D Weeklyへ掲載
2024年8月	ペン型自己注射製剤	ペン型自己注射製剤の空打ちについて	D Weeklyへ掲載
2024年10月	院外処方における先発品の選定療養の制度開始	先発品の選定療養に係る「後発品変更不可」入力方法の変更	D Weeklyへ掲載
2024年10月	コロナワクチン	コロナワクチンの接種間隔について	D Weeklyへ掲載
2024年12月	NSAIDs	妊娠中期の胎児への影響	D Weeklyへ掲載
2024年12月	NSAIDs	心筋梗塞・脳血管障害の注意	D Weeklyへ掲載
2025年1月	ラゲブリオ錠・ゾコーバ錠	妊娠する可能性のある女性への投与について	D Weeklyへ掲載
2025年1月	ランマーク・イベニティ・ビスホスホネート	骨粗鬆症治療薬による非定型骨折の注意	D Weeklyへ掲載
2025年2月	SGLT2 阻害薬	中止後の尿中グルコース排泄およびケトアシドーシスの遷延について	D Weeklyへ掲載

● MD view への掲載

<新規>

- 1 本で複数回投与できる自己注射製剤
- 処方医の e-learning や登録が必要な薬剤
- 向精神薬（当院採用薬）妊婦授乳婦評価リスト
- 向精神薬 薬剤評価の参考資料と判定基準（妊婦授乳婦）

<改訂>

- 小児薬用量

● 厚生労働省への副作用報告

報告時期	被 疑 薬	発現した副作用
2024年10月	ロラタジン OD 錠 10mg 「サワイ」	異常行動
2024年10月	乾燥まむしウマ抗毒素注射用 6000 単位 「KMB」	アナフィラキシー
2024年11月	ジーラスタ皮下注 3.6mg	骨痛
2024年11月	ボシュリフ錠 100mg	肝機能障害
2024年11月	ボシュリフ錠 100mg	膵炎・肝機能障害

● 医薬品情報に関する Q&A 件数

（2024年4月～2025年3月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（件）
6	9	7	12	10	12	7	8	6	2	12	5	96

4. 病棟薬剤業務

全病棟で薬剤師常駐を実施

●薬剤管理指導（服薬指導、指導料1+2）

（2024年4月～2025年3月）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病棟	件数												
A 3	158	177	152	172	166	166	183	183	167	169	160	174	2,027
A 4	181	176	147	206	180	194	186	173	184	161	154	189	2,131
A 5	175	194	172	194	212	187	210	213	196	202	196	231	2,382
A 6	192	183	184	197	158	168	178	159	185	198	180	185	2,167
CCU	54	33	41	46	36	35	53	43	52	51	49	66	559
ICU	13	9	12	7	12	10	10	12	14	17	15	11	142
H/SCU	57	59	58	60	61	59	80	64	65	67	78	77	785
G 3	125	138	128	150	134	120	138	130	146	140	112	133	1,594
G 4	120	145	119	144	145	161	173	142	164	148	139	156	1,756
G 5	128	136	105	154	160	138	145	135	142	155	143	165	1,706
G 6	156	155	138	160	152	167	166	161	145	162	173	157	1,892
H 3	165	149	159	156	146	147	153	151	155	156	139	175	1,851
H 4	149	153	134	151	152	126	149	133	135	123	122	122	1,649
H 5	181	157	165	208	177	180	203	185	188	203	188	201	2,236
H 6	6	3	5	4	13	10	12	9	12	6	9	11	100
合計	1,860	1,867	1,719	2,009	1,904	1,868	2,039	1,893	1,950	1,958	1,857	2,053	22,977

●麻薬加算（件数）

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A 3	1	4	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	10
A 4	3	3	5	4	6	2	1	3	5	1	0	1	34
A 5	1	5	5	3	2	2	4	2	3	2	1	3	33
A 6	1	2	4	0	0	1	0	0	3	3	0	0	14
CCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H/SCU	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
G 3	2	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	0	8
G 4	8	2	8	3	4	7	6	0	8	2	0	0	48
G 5	6	11	6	7	7	10	6	3	6	7	4	7	80
G 6	3	6	0	4	5	5	3	2	1	3	3	4	39
H 3	10	6	5	0	7	6	6	6	2	2	1	3	54
H 4	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	2	8
H 5	7	3	3	4	6	6	9	2	3	5	8	9	65
H 6	5	2	3	3	4	2	0	1	2	0	0	7	29
合計	48	45	42	31	42	41	35	22	36	26	19	36	91

●退院時指導（件数）

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A 3	75	73	64	86	63	73	80	74	68	77	66	77	876
A 4	65	70	48	84	72	70	69	61	70	45	66	74	794
A 5	46	58	46	56	75	61	75	76	69	58	57	75	752
A 6	102	95	101	97	87	76	94	93	104	87	93	88	1,117
CCU	0	1	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	8
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H/SCU	0	1	2	4	0	2	2	0	1	0	2	1	15
G 3	54	53	55	58	60	41	47	62	68	59	46	50	653
G 4	37	63	54	60	55	58	56	56	58	50	56	60	663
G 5	40	29	23	40	48	38	36	42	47	36	51	45	475
G 6	19	20	33	32	34	25	31	22	27	26	36	29	334
H 3	65	67	61	56	63	57	69	68	80	65	56	86	793
H 4	56	45	43	60	59	51	51	53	61	49	49	43	620
H 5	68	57	70	71	82	71	75	89	101	76	88	102	950
H 6	0	1	2	1	2	2	3	1	4	2	3	6	27
合計	627	633	602	705	700	625	689	698	761	631	669	737	8,077

●退院時連携加算（件数）

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A 3	0	1	0	3	0	5	1	2	0	0	2	0	14
A 4	8	14	8	13	16	18	11	8	12	14	12	14	148
A 5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
A 6	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	4	0	11
CCU	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H/SCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G 3	7	8	5	9	12	12	7	15	11	8	5	8	107
G 4	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	7
G 5	1	1	0	0	0	2	1	4	1	0	4	1	15
G 6	8	7	10	12	12	10	13	5	12	4	9	9	111
H 3	1	1	2	2	1	1	1	0	2	1	0	1	13
H 4	8	10	9	16	7	10	15	11	17	10	7	7	127
H 5	0	1	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	7
H 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34	45	37	58	50	59	51	48	58	40	43	43	566

●①調整加算 ②調整加算+減薬（件数）

（2024年4月～2025年3月）

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
A 3	4	4	3	3	2	2	6	6	0	0	3	3	2	2	4	4	0	0	5	5	7	7	2	2	38	38
A 4	5	5	6	4	7	6	8	7	5	4	7	6	7	4	3	2	4	3	4	4	6	4	6	5	68	54
A 5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
A 6	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4
CCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H/SCU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G 3	2	2	3	3	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	3	3	0	0	2	2	2	1	17	16
G 4	0	0	1	0	2	2	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	9	7
G 5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	7	6
G 6	11	8	5	2	8	5	10	8	5	1	13	8	16	8	8	2	7	5	7	4	6	3	6	2	102	56
H 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H 4	9	7	9	1	9	5	14	6	6	3	8	3	12	6	5	2	14	5	6	3	10	6	6	2	108	49
H 5	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5
H 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	27	29	15	32	23	44	32	17	9	33	22	38	21	24	14	30	18	22	16	34	25	24	14	360	236

●代行処方件数 ①中止処方 ②その他の処方

（2024年4月1日～2025年3月31日）

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
A 3	227	425	385	249	300	315	217	382	220	384	279	348	263	172	166	132	301	574	258	206	197	137	352	376	3,165	3,700
A 4	321	555	287	515	277	553	415	632	325	570	306	557	326	635	289	663	403	710	272	975	265	683	245	704	3,731	7,752
A 5	201	30	288	78	208	77	250	47	273	81	223	36	235	107	165	104	185	123	155	68	184	15	73	18	2,440	784
A 6	146	176	169	218	55	142	101	194	157	206	91	176	78	147	111	162	123	182	163	182	67	270	134	223	1,395	2,278
CCU	4	92	29	53	62	50	35	115	150	82	57	42	70	36	35	42	16	62	52	77	46	42	45	93	601	786
ICU	8	2	5	9	10	1	0	1	5	4	40	2	14	0	5	9	31	13	4	7	0	4	21	10	143	62
H/SCU	61	57	114	71	49	60	128	114	100	87	50	97	27	82	107	67	66	138	55	101	63	84	88	91	908	1,049
G 3	115	50	176	78	82	36	175	87	122	62	84	62	161	56	168	30	196	75	115	55	98	41	66	38	1,558	670
G 4	147	268	175	354	92	209	214	179	131	275	164	319	133	310	328	379	175	294	252	285	158	312	193	328	2,162	3,512
G 5	220	124	348	94	289	42	262	84	201	117	207	112	273	88	107	48	213	94	236	74	153	95	162	70	2,671	1,042
G 6	221	301	144	276	167	275	159	291	267	349	256	292	286	401	226	340	275	243	257	183	190	188	296	204	2,744	3,343
H 3	42	17	42	10	25	2	53	15	31	15	14	12	20	17	75	15	5	20	45	10	12	11	24	24	388	168
H 4	176	63	219	67	198	89	238	85	119	35	93	65	134	76	105	83	205	102	240	63	186	70	175	69	2,088	867
H 5	47	52	147	64	111	51	74	53	119	65	115	72	124	49	62	123	88	67	178	91	110	75	125	56	1,300	818
H 6	74	17	17	5	26	9	52	18	47	27	35	7	40	5	17	5	13	4	79	49	43	7	50	11	493	164
合計	2,010	2,229	2,545	2,141	1,951	1,911	2,373	2,297	2,267	2,359	2,014	2,199	2,184	2,181	1,966	2,202	2,295	2,701	2,361	2,426	1,772	2,034	2,049	2,315	25,787	26,995

非算定日服薬指導実施数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		73	77	79	70	62	64	88	56	50	81	42	41
薬剤師記録	6,356	6,864	6,080	6,992	6,631	6,445	7,092	6,346	6,841	6,754	6,180	6,544	79,125
病棟業務加算1	2,173	2,068	1,828	2,127	2,018	2,042	2,024	1,921	2,104	2,314	2,103	2,203	24,925
病棟業務加算2	745	755	762	790	787	775	796	852	894	889	838	913	9,796
合計	2,918	2,823	2,590	2,917	2,805	2,817	2,820	2,773	2,998	3,203	2,941	3,116	34,721

- ・ 薬剤管理指導実施件数 合計 22,977 件
- ・ 病棟薬剤業務実施加算1 合計 24,925 件 (薬剤師が週 20 時間以上、病棟の薬剤管理等に関わっている場合に算定できる)
- ・ 病棟薬剤業務実施加算2 合計 9,796 件 (薬剤師が週 20 時間以上、病棟の薬剤管理等に関わっている場合に算定できる)
- ・ 麻薬加算件数 合計 91 件
- ・ 退院時指導患者数 合計 8,077 件

●持参薬鑑別

(2024年4月1日～2025年3月31日)

病棟	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	剤数	件数	剤数	件数	剤数	件数	剤数	件数	剤数	件数	剤数																
A3	1,121	139	1,161	149	1,317	153	1,334	161	1,357	165	1,238	161	1,633	187	1,495	170	1,273	155	1,154	146	1,020	125	1,237	134	15,340	1,845	
A4	811	109	547	87	694	91	863	117	722	93	850	117	656	95	613	87	705	107	629	90	702	84	642	94	8,434	1,171	
A5	851	130	924	145	815	126	785	124	876	137	951	124	1,140	162	867	148	1,028	166	1,249	178	1,022	169	1,158	196	11,666	1,805	
A6	1,131	159	1,092	144	965	141	977	146	776	121	893	146	844	144	946	156	892	144	1,178	166	858	140	868	144	11,420	1,751	
CCU	245	33	261	24	144	17	269	28	154	20	154	28	185	31	241	29	342	45	314	38	259	33	406	47	2,974	373	
ICU	125	14	53	8	92	11	38	7	161	16	62	7	45	6	44	9	12	4	91	10	78	13	71	10	872	115	
H/SCU	315	48	261	44	319	36	373	47	347	46	417	47	392	53	455	65	634	65	474	66	442	59	481	57	4,910	633	
G3	563	65	472	58	451	56	376	50	428	47	431	50	493	56	643	68	522	66	654	81	450	52	421	54	5,904	703	
G4	667	95	895	115	716	102	832	109	794	110	555	109	828	119	777	101	955	129	751	104	633	86	726	103	9,129	1,282	
G5	734	89	704	81	504	63	732	96	785	98	648	96	734	90	660	91	860	111	885	108	452	74	721	93	8,419	1,090	
G6	395	54	273	49	374	50	496	62	397	47	519	62	467	60	429	57	394	52	666	76	678	79	571	63	5,659	711	
H3	296	48	223	40	294	59	457	77	321	63	290	77	369	74	329	77	323	65	335	73	294	77	353	69	3,884	799	
H4	537	68	319	42	458	56	469	56	545	64	379	56	401	54	573	68	402	56	410	52	439	63	435	55	5,367	690	
H5	682	102	650	95	604	102	808	124	729	113	706	124	1,167	189	1,331	194	988	168	1,173	192	1,006	150	1,078	169	10,922	1,722	
H6	64	6	15	1	58	8	57	6	73	9	46	6	92	16	68	7	78	9	49	7	30	3	33	4	663	82	
合計	8,537	1,159	7,850	1,082	7,805	1,071	8,866	1,210	8,465	1,149	8,139	1,210	9,446	1,336	9,471	1,327	9,408	1,342	10,012	1,387	8,363	1,207	9,201	1,292	105,563	14,772	

5. TDM 業務

● TDM 実施率と実施件数 (抗 MRSA を中心とした抗菌薬)

(2024年4月～2025年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
算定点数	35,950	39,235	38,405	38,405	25,745	27,895	33,760	29,905	28,900	33,415	22,135	30,880	384,630
実施件数	41	51	44	44	37	42	53	43	48	54	36	41	534

※抗 MRSA 薬・ポリコゾール・アミノグリコシド系薬剤以外に、プログラフ、メソトレキセート、ネオーラル、デバケンシロップバルプロ酸ナトリウム、イーケブラ、ジゴキシン、ハーブジゴキシン

※対象患者数は対象抗菌薬を 3 日以上投与された患者数

※実施率は、抗 MRSA 薬・ポリコゾール・アミノグリコシド系薬について算出

6. 外来業務

●外来化学療法センター

(2024年4月～2025年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
化学療法予定人数	618	594	537	635	591	609	609	585	568	543	523	568	6,980
化学療法実施人数	545	503	492	558	504	528	528	519	497	489	433	498	6,094
中止人数	73	77	72	73	60	78	78	65	71	54	90	70	861
一部変更	45	27	34	33	44	25	25	24	28	35	26	35	381
アレルギー等で中止	0	2	0	1	0	0	0	2	1	0	1	0	7
患者面談数	521	515	492	484	527	503	503	519	497	490	459	498	6,008
初回面談数	35	23	23	58	28	25	25	23	26	40	25	59	390
疑義照会件数	63	30	39	45	34	38	38	33	38	22	32	34	446
処方・検査提案	48	49	49	47	63	56	56	67	60	58	44	48	645
レジメン操作	36	25	16	17	15	15	15	20	20	21	18	11	229
薬学的介入件数	114	83	89	98	105	95	103	102	98	83	77	85	1,132
(うち、医師応諾件数)	110	83	87	95	105	92	103	95	96	77	77	83	1,103
受諾率	96.5%	100.0%	97.8%	96.9%	100.0%	96.8%	100.0%	93.1%	98.0%	92.8%	100.0%	97.8%	97.5%

●外来経口抗がん薬指導

(2023年4月～2024年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
化学療法予定件数	1	5	2	1	3	3	3	1	5	2	4	3	33
実施件数	1	4	2	0	2	3	3	1	3	3	4	3	29
中止件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
変更件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者面談数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
初回面談数	1	5	2	0	3	3	3	1	5	3	4	3	33
疑義照会件数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	1	6
処方・検査提案	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
問い合わせ	0	1	1	5	2	1	1	1	0	3	0	0	15
がん患者指導料3算定件数	4	2	15	16	14	20	15	12	20	14	0	0	132
連携充実加算算定件数	280	275	256	264	261	250	268	249	254	251	234	238	3,080

●院外処方箋疑義照会件数

(2023年4月～2024年3月)

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	450	460	466	525	429	429	429	458	430	411	422	424	5,333

●外来患者指導

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液サラサラ外来	2	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	8
レバーサ外来	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
リウマチ患者指導	7	5	3	7	3	3	4	4	2	4	2	4	48
糖尿病透析予防指導	9	4	8	11	5	2	2	5	3	2	3	7	61
妊婦自己注射指導	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	6
ヘパリン自己注射指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7. 集団指導

●糖尿病教育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
7	6	9	7	6	5	8	5	3	2	11	6	75

8. 機器関係

< 購入 >

2024.8.26 なんこう練太郎 (マルチアダプター 1 個付き) NRE-120A

9. 薬事委員会報告

①審査件数及び採用・削除品目

(2024年4月～2025年3月)

委員会開催日	4月15日	5月20日	6月19日	7月17日	8月21日	9月18日	10月16日	11月20日	12月18日	1月15日	2月19日	3月19日	合計
審査件数 (①+②+③+④)	62	55	35	46	44	42	36	68	36	30	35	32	521
①新規採用の検討	1	2	6	10	6	7	6	1	2	2	1	2	46
②患者限定	59	52	29	31	37	33	28	67	33	21	34	29	453
③後発品への切り替え	0	0	0	2	0	1	0	0	0	4	0	0	7
④採用6か月後の再検討	2	1	0	3	1	1	2	0	1	3	0	1	15
採用品目について (常備・用時部署限定など)	新規採用	0	1	5	0	1	1	6	0	0	1	1	17
	院外のみ→ 院内採用	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
	削除	1	1	2	3	1	1	8	1	0	1	0	19
院外のみ 採用について	新規採用	0	1	0	8	5	1	0	0	2	0	0	18
	院内採用→ 院外のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	院外のみ 採用の削除	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	7
剤型変更、名称変更、後発品切替え等	5	2	7	4	0	3	7	0	3	1	0	4	36
院内製剤	新規採用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	用途追加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	削除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宣伝許可未承認薬の院内勉強会(報告)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1規格=1品目として計上

②薬事委員会で、検討・対応・決定した事項

(2024年4月～2025年3月)

時 期	事 項
2024年4月	Google Workspaceの活用について→今後開催のお知らせもGoogle Chatでお知らせを行い、委員会当日は議題リストのみを配布する 新薬の宣伝許可について→今後廃止
2024年5月	心不全・CKDに適応のあるSGLT2阻害薬のオーダー入力方法について→元々DM薬として、3文字検索できないように設定されている。医療安全からの観点でのオーダー方法(3文字検索できない)となっており、変更はなし
2024年8月	薬事委員会承認事項に「別名柄・別規格への変更」を追加。医師へ疑義なしで返答可能となる
2024年12月	薬事委員会承認事項の追加検討 「EPA・DHA製剤、膵消化酵素補充剤の用法」→食後処方すると院外薬局から食直後へ確認の疑義がくる。現在循環器科、消化器内科が疑義不要となっており、全診療科へ拡大可能か。→可能となる 吸入薬を処方したときの「吸入指導指示」→院外薬局で吸入薬を処方された患者へ指導を行った際に加算が取れる。吸入指導の指示を求める疑義があるが、全診療科へ拡大可能か→可能となる
2025年2月	採用医薬品集の紙媒体の廃止について→今後は①紙媒体として各部署に配布はしない。②作成はして薬剤科にPDF、紙媒体で数冊を保存しておく。③災害時必要な場合は、それを配布する。紙媒体はなくなるが、電子カルテ初画面の薬事委員会のところに掲載する。

10. がん化学療法委員会

委員会開催日	4月19日	5月17日	6月21日	7月19日	8月16日	9月20日	10月18日	11月15日	12月20日	1月17日	2月21日	3月	合計
新規レジメン登録件数	4	1	7	4	3	0	4	4	12	2	4	1	46

○検討・対応・決定した事項
なし

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
日本集中治療医学会第8回関西支部学術集会	2024.07	奥川 寛	集中治療における薬剤師のこだわり	豊中市
第18回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	2024.09	溝手 彩	当院における糖尿病透析予防指導の現状	札幌市
第3回京都腎臓病療養指導士会勉強会2024	2024.09	堀内 望	薬剤師の立場より	京都市
CINV in GI Cancer~薬剤師の視点~	2024.11	古田 祐美子	外来化学療法センターにおけるCINVへの関わり	オンライン
第34回日本医療薬学会年会	2024.11	古田 祐美子	外来化学療法センター常駐薬剤師の薬学的介入事例からみる、診察後面談の有用性	千葉市
第34回日本医療薬学会年会	2024.11	三上 有希	妊娠・授乳期の向精神薬評価リスト作成に向けた当院の取り組み~処方選択から安心できるシームレスな薬物療法を目指して~	千葉市
第34回日本医療薬学会年会	2024.11	富士原 あゆみ	ブリナツモマブ投与後の上気道狭窄に対して治療継続を試み、造血幹細胞移植への橋渡し治療を完遂できた一例	千葉市
第34回日本医療薬学会年会	2024.11	漣 航平	免疫チェックポイント阻害薬投与に起因する肝障害に対するミコフェノール酸モフェチルの血中濃度を評価した一例	千葉市
第94回日本感染症学会西日本地方学術集会・第72回日本化学療法学会西日本支部総会	2024.11	漣 航平	感染症専門医が常駐していない市中病院におけるNAP2023を踏まえた薬剤師によるAST活動	神戸市
第129回 近畿救急医学研究会	2025.03	段林 正明	救急医療薬剤師として目指す薬剤師業務の柱とは~臨床・研究・教育の実践について~	米原市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
びわこ薬剤師会例会・研修会	2024.04	漣 航平	薬剤師ができる感染治療の"はじめの一步"	草津市
摂南大学薬学部 薬学臨床実習事後演習講演会	2024.04	古田 祐美子	がん薬物療法の副作用対応に求められる薬剤師の臨床力	枚方市
近畿ブロック Oncology Pharmacist Conference	2024.06	富士原 あゆみ	抗VEGF療法中の蛋白尿マネジメントについて	大阪市
第14回 JSEPTIC 薬剤師部会セミナー	2024.06	奥川 寛	敗血症性ショックの循環管理	オンライン
第3回病院就活準備応援 Web セミナー	2025.03	藤井 貴之	急性期病院で働く新人薬剤師	オンライン
感染制御薬剤師エキスパートミーティング 第31回研究会	2025.03	堀内 望	腸内細菌叢と薬剤	京都市

■ 論文・著書等

1) デュロキセチン投与後に抗利尿ホルモン不適合分泌症候群をきたした慢性腰痛症の1例

小林 佳代

● 医療薬学 50 (4) 153-159 (2024)

臨床工学科

5

各部門の状況

臨床工学科

1. 血管カテーテル

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全カテーテル(介助)	81	68	69	79	77	85	86	80	84	80	74	91	954
・冠動脈治療(PCI)	39	36	29	34	40	41	49	41	45	35	38	49	476
・末梢四肢血管治療(PPI)	27	20	21	27	24	27	25	16	21	23	16	25	272
・不整脈電気生理学検査(EPS)	2	0	0	1	0	2	0	0	0	2	3	2	12
・不整脈心筋アブレーション(ABL)	13	12	19	17	13	15	12	23	18	20	17	15	194
定量的血流量比解析(QFR解析)	0	0	0	9	13	7	8	10	12	15	9	12	95

2. 補助循環

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
IABP	3	5	3	5	3	2	2	5	6	2	2	2	40
PCPS	1	1	1	0	5	1	0	3	1	4	2	1	20
脳低体温療法	0	0	0	0	7	2	1	4	5	2	3	2	26
	2	1	4	2	3	2	3	3	2	4	6	3	35

3. 心臓デバイス業務

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー/CRTP/ICD/CRTD(介助)	12	8	8	13	7	8	10	9	6	7	8	8	104
デバイスチェック(外来)	76	77	85	90	78	92	95	81	95	89	69	89	1,016
デバイスチェック(出張)	42	32	38	46	31	22	39	29	35	38	26	34	412
デバイスチェック(遠隔モニタリング)	107	106	101	104	103	105	109	113	118	118	112	116	1,312

4. 手術室業務

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心外開心術(人工心肺操作)	6	7	8	7	6	9	6	7	10	5	6	7	84
胸腹部ステントグラフト術(介助)	3	6	1	4	4	7	5	4	3	4	3	4	48
ダヴィンチ介入	20	20	15	22	18	19	20	22	18	20	17	22	233
眼科手術介入	128	119	119	129	106	104	135	110	106	125	111	107	1,399
脊椎脊髄外科手術科介入	19	21	15	27	22	19	16	7	14	16	14	18	208
外科スコープ介入	2	3	0	3	0	0	6	1	1	6	8	1	31

5. 冠動脈CT

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
冠動脈CT解析	37	31	45	39	26	32	32	33	26	39	30	27	397
+FFR-CT解析	0	0	7	9	5	11	10	10	7	8	8	6	81

6. 病棟血液浄化

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CHDF	6	31	8	3	3	11	5	4	5	29	3	10	118
病棟HD/ECUM/HDF	30	27	11	52	46	27	12	18	11	18	16	23	291
エンドトキシン吸着/レオカーナ	0	0	0	4*	11*	0	0	2*	2*	0	0	0	0

7. 血液浄化センター

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD/ECUM	341	374	318	410	385	302	359	356	273	264	241	273	3,828
On line HDF	295	381	358	381	377	355	381	356	362	374	318	359	4,297
白血球除去療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
血漿交換療法	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
血漿吸着(DHP)	0	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
二重濾過血漿交換療法(DFPP)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
レオカーナ	4	4	3	1	2	8	1	0	0	0	7	6	36
PD	23	29	19	20	20	23	21	25	23	22	21	21	2
腹水濾過濃縮再静注法(CART)	3	6	8	4	2	5	4	3	5	6	3	4	53
LDL アフェレーシス	0	5	1	0	7	5	8	3	9	0	4	17	59
皮膚灌流圧検査(SPP)	1	5	1	4	5	0	2	4	1	1	1	2	27

8. ME 管理機器：1360 台

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療機器定期点検	58	66	72	75	75	70	115	36	10	43	60	72	752
ME機器対応件数(日常点検・修理等)	181	196	168	207	193	181	236	162	136	191	178	199	2,228

9. ASV・CPAP

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
導入数	21	25	26	28	26	24	28	28	29	29	20	19	303
解析数	1	4	0	3	3	1	3	1	2	3	0	1	22

10. 人工呼吸器導入件数

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
導入数	17	20	30	24	24	29	27	25	28	29	24	26	303

11. 末梢血幹細胞採取

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治療件数	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3

学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
近畿心血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	館 智子	心カテに役立つ基礎調査 1「CAG ってなに!?- 冠解剖から心カテ室への道標 -」	大阪市
近畿心血管治療ジョイントライブ 2024(KCJL2024)	2024.04	渡邊 佳代子	OCT(基礎・臨床での使用方法)	大阪市
第 34 回日本臨床工学会	2024.05	館 智子	集中治療室開設に伴う臨床工学技士業務の立ち上げ	福井市
第 34 回日本臨床工学会	2024.05	館 智子	心臓カテーテル業務におけるタスクシフト	福井市
ADATARA LIVE DEMONSTRATION 2024	2024.06	館 智子	PCI デバイス 私の取り組み	郡山市
第 32 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	林 早絵伽	手作り石灰化モデルにおける Rota wire の bias 検討	札幌市
第 32 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	岡 海斗	RMI において LAD に留置したステントが抜去された 1 例	札幌市
第 32 回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	2024.07	館 智子	低侵襲 EVT うちの施設はこうしています～基礎や Tips を学ぼう～	札幌市
J-SUMMITS Site Visits & 全国集会 in 札幌	2024.09	岡田 忠久	RFID を用いたカテーテル物品在庫管理の取り組み	札幌市
CCT2024	2024.10	井口 希	留置後 12 年経過した IVCfilter を難渋して抜去した 1 例? おおきなかぶ風?	神戸市
CCT2024	2024.10	大原 怜	RCA CTO にて wire 断裂し、遺残した wire を Rotablator で切断して回収した 1 例	神戸市
第 43 回日本心臓血管インターベンション治療学会近畿地方会	2024.10	福井 直暉	CCTA の中等度狭窄におけるハートフロー FFRCT の可能性	大阪市
CCT2024	2024.10	館 智子	Boston IVUS learning Center Basic Course	神戸市
CCT2024	2024.10	館 智子	高速回転アテレクトミーって何?	神戸市
CCT2024	2024.10	渡邊 佳代子	タスクシフト・タスクシェア	神戸市
第 6 回次世代医療システム産業化フォーラム 2024	2024.11	柏原 謙	ロボット手術に欠かせないケーブル保護・脊椎低侵襲手術に必要なデバイスについて	大阪市
第 46 回日本手術医学会総会	2024.12	柏原 謙	ニューロスパインからみた benefit に与える環境整備とアウトプット	大阪市
第 30 回近畿臨床工学会	2024.12	柏原 謙	女性活躍社会現実～アンコンシャスバイアス	和歌山市
第 55 回日本心臓血管外科学会学術総会	2025.02	大澤 健太	preemptive embolization 先行 2 期的 EVAR の経験	下関市
第 55 回日本心臓血管外科学会学術総会	2025.02	淵上 裕巳	急性 A 型大動脈解離における Frozen Elephant Trunk に PruitttoAorticOcclusionCatheter を併用した順行性下半身送血 (PruittOS 法) の有用性	下関市
KCJL2025	2025.03	館 智子	知っているようで知らない CAG「CAG にはこんな危険が潜んでいる」	神戸市
KCJL2025	2025.03	渡邊 佳代子	私はイメージングで PCI に参加する!「IVUS ってこんなもの。基本的なこと教えて!(IVUS の基本。基本的画像まで)」	神戸市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第24回日本心臓植込みデバイスフォローアップ研究会	2024.05	井野 裕也	不応期およびPMT関連の設定はこう考える	オンライン
経済産業省 BRIDGE 事業 人工呼吸器操作研修会	2024.11	柏原 謙	アコマ ART-300	京都市
京都府臨床工学技士会主催講習会	2024.12	柏原 謙	京都市葛野老人デイサービスセンター AED 講習会	京都市
第22回人工呼吸器安全管理セミナー	2025.01	柏原 謙	呼吸管理における患者さんの安全について考える	オンライン

放射線科

【1】放射線科各部門の検査件数・治療件数・記録媒体の使用数

(2024年4月1日～2025年3月31日)

合計	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●撮影・透視	69,663	5,469	5,494	6,613	6,129	5,700	5,517	6,048	5,829	6,054	5,723	5,247	5,840
●CT検査	28,971	2,338	2,394	2,352	2,563	2,368	2,276	2,570	2,299	2,528	2,495	2,380	2,408
●MR検査	9,313	781	757	744	859	824	714	856	763	777	740	728	770
●RI検査	889	72	78	66	92	73	67	87	77	74	70	61	72
●放射線治療	6,860	563	596	717	636	567	512	582	458	569	391	542	727
●記録媒体の使用数	6,775	533	556	528	585	529	502	660	594	536	564	592	596
(救急科CT・MR件数)	8,076	557	609	635	735	700	654	666	603	804	744	708	661

5

各部門の状況

放射線科

1. 撮影・透視件数 (月別、検査項目別)

(2024年4月1日～2024年3月31日)

検査項目		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
単純撮影	一般撮影	42,851	29,803	2,496	2,484	2,521	2,689	2,387	2,396	2,793	2,500	2,532	2,320	2,277	2,408		
	(胸部)		18,521	1,570	1,582	1,550	1,687	1,486	1,492	1,645	1,556	1,611	1,437	1,395	1,510		
	(腹部)		2,414	207	197	178	205	208	195	242	177	217	198	185	205		
	(骨)		7,159	569	579	647	635	567	568	749	621	531	566	585	542		
	(乳房)		1,361	122	88	117	131	95	116	123	118	141	101	90	119		
	(泌尿器系撮影)		228	16	24	20	23	22	18	18	19	22	15	13	18		
	(特殊撮影(骨盤計測))		3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
	骨塩定量		837	66	73	79	66	61	75	87	55	66	70	66	73		
	ドック		7,137	232	338	1,540	606	619	525	687	765	511	429	434	451		
	(胸部)		5,801	193	268	1,429	470	479	407	509	621	389	348	337	351		
	(乳房)		1,128	31	54	98	119	116	107	147	124	103	65	84	80		
	(骨塩定量)		197	7	12	13	17	24	10	28	20	19	16	13	18		
	ポータブル		5,074	362	357	407	454	477	398	374	362	543	471	422	447		
	(胸部)		4,468	316	315	358	417	424	348	333	312	476	409	368	392		
	(腹部)		76	9	10	5	5	6	7	2	6	11	7	2	6		
	(骨)		529	37	32	44	32	47	43	39	44	56	55	51	49		
	断層		トモシンセシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			(胸部)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			(骨)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来		X線TV	705	490	14	45	54	63	50	27	44	40	55	29	38	31
(胃透視(一般))		13	1		1	0	3	0	2	1	0	0	0	2	3		
(胃透視(術後))		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(胃透視(ドック))		418	10		35	45	55	46	23	40	34	52	20	34	24		
(注腸造影)		9	1		0	2	0	0	0	0	2	1	3	0	0		
(肝・胆・膵(経皮的))		2	0		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(気管支鏡)		3	0		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(泌尿器系)		2	0		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
(整形系)		23	1		2	4	3	2	0	0	4	1	3	1	2		
(整形系(ミエ口))		1	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
(嚥下)		6	0		2	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0		
(子宮・卵管)		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
内視鏡X線TV		44	5		1	6	5	3	0	3	5	3	7	4	2		
(肝・胆・膵)		9	0		0	1	0	0	0	1	1	2	2	1	1		
(腸管)		35	5		1	5	5	3	0	2	4	1	5	3	1		
血管造影		1	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(脳)		3	1		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
(腹部)		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(IVR-CT)		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(IVR-CT(生検))		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ESWL	41	5	3	3	2	6	3	3	5	4	1	4	2				
Cアーム	129	10	7	11	9	12	17	8	12	4	14	13	12				
(大動脈ステント)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
入院	一般撮影	23,984	10,450	928	862	789	931	808	883	820	910	870	880	780	989		
	(胸部)		7,594	688	627	594	665	565	629	567	652	631	666	574	736		
	(腹部)		1,454	142	106	104	119	119	104	136	161	138	97	99	129		
	(骨)		1,303	95	122	81	130	114	141	107	88	94	114	102	115		
	(乳房)		10	0	2	1	0	2	0	2	1	1	1	0	0		
	(泌尿器系撮影)		58	2	3	8	9	6	5	6	3	5	2	4	5		
	(特殊撮影(骨盤計測))		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	骨塩定量		149	13	14	15	15	8	16	12	7	12	14	12	11		
	ポータブル		13,385	1,145	1,109	993	1,095	1,096	1,016	1,021	1,007	1,288	1,327	1,041	1,247		
	(胸部)		10,731	890	879	790	865	863	828	811	808	1,042	1,080	845	1,030		
	(腹部)		2,181	207	178	167	191	194	150	170	159	209	210	169	177		
	(骨)		456	48	51	35	37	37	38	38	38	35	36	24	39		
	断層		トモシンセシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(胸部)		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(骨)		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

検査項目		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入院	X線 TV	2,123	540	43	53	48	55	43	41	57	49	37	39	35	40	
	(胃透視(一般))		2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	(胃透視(術後))		38	5	4	5	1	2	3	2	4	3	3	3	0	6
	(注腸造影)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(肝・胆・膵(経皮的))		51	5	4	8	4	2	4	5	7	3	4	4	4	1
	(気管支鏡)		151	1	19	14	14	16	15	24	15	8	9	8	8	8
	(泌尿器系)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(整形系)		31	2	5	1	2	3	0	6	2	2	2	2	0	6
	(整形系(ミエ口))		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(嚥下)		5	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	(子宮・卵管)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内視鏡 X線 TV		704	73	60	78	57	42	48	69	49	56	57	57	57	58
	(肝・胆・膵)		533	47	50	60	47	33	33	50	42	44	43	43	45	39
	(腸管)		171	26	10	18	10	9	15	19	7	12	14	12	19	19
	血管造影		139	18	18	21	19	25	6	7	3	5	9	4	4	4
	(脳)		83	6	7	4	5	8	6	12	6	10	7	6	6	6
	(腹部)		139	8	8	11	6	8	9	15	13	15	19	12	15	15
	(IVR-CT)		89	3	4	6	4	5	6	11	10	10	12	8	10	10
	(IVR-CT(生検))		29	2	1	4	3	3	5	3	0	1	4	1	2	2
	ESWL		36	2	3	0	0	2	1	8	1	7	1	6	5	5
Cアーム	704	56	67	48	63	61	65	55	59	61	55	54	60	60		
(大動脈ステント)	46	3	6	1	4	4	7	4	3	3	4	3	4	4		
計	外来	43,556	3,191	3,308	4,621	3,894	3,615	3,441	3,999	3,744	3,718	3,341	3,258	3,426	3,426	
	入院	26,107	2,278	2,186	1,992	2,235	2,085	2,076	2,049	2,085	2,336	2,382	1,989	2,414	2,414	
	合計	69,663	5,469	5,494	6,613	6,129	5,700	5,517	6,048	5,829	6,054	5,723	5,247	5,840	5,840	

※ 6月の胸部撮影件数には、職員健康診断受診者件数(件)が加算されています。
 ※ 11月の胸部撮影件数には、職員健康診断受診者件数(件)が加算されています。
 (2024年4月1日～2025年3月31日)

2.CT 検査件数(月別、部位別)

検査部位		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単純	頭部	17,986	3,817	279	302	328	349	321	293	328	305	361	330	319	302
	頸部		199	18	21	13	24	14	15	11	13	19	17	17	17
	胸部		4,058	338	312	338	368	342	302	327	369	358	344	303	357
	心臓		45	5	2	7	4	1	5	4	3	4	2	5	3
	腹部		2,625	194	180	212	225	239	235	243	217	229	208	215	228
	胸腹部		6,005	514	487	486	537	480	458	508	435	544	520	521	515
	脊椎		799	42	61	50	63	66	59	83	76	66	81	86	66
	四肢		416	30	34	34	39	36	37	37	46	26	31	32	34
	頭胸腹部		22	0	0	1	2	0	1	5	2	4	0	5	2
	合計		17,986	1,420	1,399	1,469	1,611	1,499	1,405	1,546	1,466	1,611	1,533	1,503	1,524
造影	頭部	5,325	130	12	10	18	8	10	6	15	12	9	11	11	8
	頸部		198	18	19	17	16	16	19	16	11	16	20	15	15
	胸部		2,664	243	257	227	218	232	199	236	204	213	221	199	215
	心臓		335	30	28	33	32	25	31	25	29	21	31	27	23
	腹部		1,160	92	91	85	82	71	99	127	100	118	91	126	78
	胸腹部		3,122	279	296	245	270	262	223	273	258	253	264	236	263
	脊椎		7	0	1	0	0	1	2	1	0	0	2	0	0
	四肢		30	0	5	1	1	3	2	5	1	4	2	2	4
	頭胸腹部		13	1	1	0	2	0	3	1	1	0	0	2	2
	合計		5,325	459	483	436	434	412	410	498	432	452	449	443	417
単純	頭部	4,451	1,697	128	159	133	146	126	129	162	124	142	155	147	146
	頸部		23	1	4	0	0	0	2	2	5	3	2	1	3
	胸部		508	38	35	40	40	53	44	37	38	45	49	45	44
	心臓		6	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	腹部		630	52	65	59	58	40	45	51	47	55	57	54	47
	胸腹部		1,236	108	115	111	116	105	96	106	92	95	109	83	100
	脊椎		295	30	25	17	33	28	28	20	13	25	28	23	25
	四肢		54	3	7	2	2	4	9	7	5	4	4	5	2
	頭胸腹部		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	合計		4,451	361	410	364	395	356	353	386	324	369	405	359	369
造影	頭部	1,209	98	6	11	8	7	10	2	11	10	9	8	9	7
	頸部		25	1	0	0	5	5	4	2	3	1	2	2	0
	胸部		52	1	6	6	5	3	7	9	4	1	6	3	1
	心臓		50	5	3	7	5	1	0	8	3	5	8	3	2
	腹部		369	32	26	31	42	26	34	39	19	32	31	24	33
	胸腹部		614	53	57	33	59	52	58	71	38	48	53	35	57
	脊椎		2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	四肢		10	1	1	0	1	2	2	2	0	0	1	0	0
	頭胸腹部		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	合計		1,209	98	102	83	123	101	108	140	77	96	108	75	98
計	外来	23,311	1,879	1,882	1,905	2,045	1,911	1,815	2,044	1,898	2,063	1,982	1,946	1,941	
	入院	5,660	459	512	447	518	457	461	526	401	465	513	434	467	
	合計	28,971	2,338	2,394	2,352	2,563	2,368	2,276	2,570	2,299	2,528	2,495	2,380	2,408	

3.MR 検査件数 (月別、検査項目別)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

検査部位		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単純	頭部	6,173	2,375	199	197	193	218	199	179	214	200	177	192	191	216	
	頸部		49	5	3	3	3	1	7	3	8	4	6	2	4	
	胸部		28	3	3	2	4	2	2	2	2	2	3	1	2	
	心臓		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	腹部		2,252	191	189	198	189	181	183	212	204	191	157	180	177	
	脊椎		920	61	68	74	80	99	70	90	71	80	70	80	77	
	四肢		279	23	26	22	22	31	26	20	31	19	26	13	20	
	その他		3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳ドック		266	16	17	22	37	34	22	29	22	20	16	17	14	
	合計			6,173	499	505	514	553	547	489	570	538	493	471	484	510
造影	頭部	1,414	521	53	39	39	52	42	38	49	30	50	45	41	43	
	頸部		32	6	0	3	3	5	3	1	2	0	3	3	3	
	胸部		122	14	15	15	13	9	5	10	5	10	11	5	10	
	心臓		7	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	
	腹部		707	62	56	40	68	57	54	74	49	61	58	57	71	
	脊椎		21	3	2	2	2	2	0	1	2	0	1	3	3	
	四肢		4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計			1,414	139	112	99	141	116	101	136	88	121	118	111	132
	単純		頭部	1,516	740	61	65	60	67	68	46	70	73	62	61	48
頸部		13	2		2	0	0	1	2	2	1	1	1	1	0	
胸部		17	1		1	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	
心臓		1	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腹部		236	18		15	19	18	25	23	20	11	27	22	18	20	
脊椎		450	37		36	28	46	36	39	33	32	42	45	42	34	
四肢		56	9		10	1	7	6	4	2	3	3	0	8	3	
その他		3	1		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
合計			1,516		129	129	110	141	139	115	128	121	136	131	120	117
造影		頭部	210		118	10	6	12	12	11	5	13	10	17	10	5
	頸部	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	胸部	1		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心臓	6		0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	
	腹部	51		3	4	8	6	5	0	6	2	3	8	3	3	
	脊椎	32		1	1	1	3	4	4	2	3	7	2	3	1	
	四肢	1		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計			210	14	11	21	24	22	9	22	16	27	20	13	11
	計	外来		7,587		638	617	613	694	663	590	706	626	614	589	595
入院		1,726		143	140	131	165	161	124	150	137	163	151	133	128	
合計	9,313		781	757	744	859	824	714	856	763	777	740	728	770		

4.RI 検査件数 (月別、検査項目別)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

検査項目		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単純	脳	780	378	29	39	30	32	35	28	38	29	30	29	28	31	
	脳槽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甲状腺		32	2	6	0	4	0	2	7	1	2	2	1	5	
	肺血流		5	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	1	
	肺換気		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	肝		2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	肝胆道		3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	腎		4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
	レノグラム		10	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	0	2	
	骨		235	23	21	15	28	16	10	16	23	23	25	18	17	
	腫瘍		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	RI アンギオ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	心筋		110	6	9	8	12	10	14	9	10	11	6	9	6	
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	造影		脳	109	61	8	2	6	4	4	3	8	6	6	5	4
脳槽		3	0		0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
甲状腺		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肺血流		5	0		0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
肺換気		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肝		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肝胆道		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腎		1	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
レノグラム		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
骨		4	0		0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	
腫瘍		4	1		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
RI アンギオ		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
心筋		22	0		0	1	5	5	2	2	6	0	0	0	1	
その他		9	0		0	0	3	0	2	4	0	0	0	0	0	
計		外来	780			63	76	57	78	63	56	72	65	67	63	57
	入院	109		9	2	9	14	10	11	15	12	7	7	4	9	
合計	889		72	78	66	92	73	67	87	77	74	70	61	72		

5. リニアック治療件数（月別、検査項目別）・治療計画件数

(2024年4月1日～2025年3月31日)

治療部位		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	頭頸部	4,906	756	60	35	80	78	66	68	53	37	77	32	74	96
	肺縦隔		653	28	73	59	41	91	47	78	39	71	43	42	41
	食道		112	0	0	31	32	7	6	0	0	0	3	28	5
	腹部		1,808	177	198	221	133	107	108	193	124	146	64	114	223
	骨部		342	45	40	12	10	33	44	51	25	22	22	8	30
	乳房		982	89	87	71	109	96	87	34	75	108	61	73	92
	その他		253	13	38	22	12	20	4	41	17	10	10	26	40
	全身照射		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		4,906		412	471	496	415	420	364	450	317	434	235	365
入院	1,954		151	125	221	221	147	148	132	141	135	156	177	200	
合計	6,860		563	596	717	636	567	512	582	458	569	391	542	727	

治療計画数	500		33	43	45	44	42	31	41	41	41	41	42	43	54
-------	-----	--	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

※上表中より高精度照射件数のみ抜粋

治療部位		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	頭頸部	102	9	1	0	4	2	0	0	0	0	1	1	0	0
	肺縦隔		32	0	3	1	2	2	4	4	3	2	3	4	4
	腹部		61	6	8	6	5	5	4	4	3	3	4	9	4
	(上記のうち追尾治療)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		102		41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
入院	頭頸部	33	9	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2
	肺縦隔		12	0	1	0	1	3	1	1	1	0	1	1	2
	腹部		12	2	0	2	1	0	2	0	0	0	0	1	4
	(上記のうち追尾治療)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	135		11	13	14	11	11	11	9	7	7	9	16	16	

※上表中より高精度照射件数のみ抜粋

治療部位		合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	前立腺	1,003		153	115	151	91	63	41	65	75	60	28	37	124
入院		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1,003		153	115	151	91	63	41	65	75	60	28	37	124

6. 記録媒体使用数（月別、種類別）

(2024年4月1日～2025年3月31日)

記録媒体の種類	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
画像記録用（B4）フィルム	163	11	11	14	25	11	5	16	13	16	5	13	23
画像記録用（半切）フィルム	112	3	9	14	14	5	12	11	6	8	11	12	7
画像データ CD	4,268	355	382	342	368	346	307	429	361	314	365	362	337
画像データ DVD	2,232	164	154	158	178	167	178	204	214	198	183	205	229
合計	6,775	533	556	528	585	529	502	660	594	536	564	592	596

7. 救急科 CT 検査件数（月別）

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間内		2,821	189	215	207	284	247	213	218	205	314	238	272	219
時間外・休日		4,668	324	355	385	394	398	402	390	358	438	460	373	391
合計		7,489	513	570	592	678	645	615	608	563	752	698	645	610

8. 救急科 MR 検査件数（月別）

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	合計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間内	587	314	11	22	21	29	30	19	31	25	32	26	41	27
時間外・休日		273	33	17	22	28	25	20	27	15	20	20	22	24
合計		587	44	39	43	57	55	39	58	40	52	46	63	51

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 65 回全日本病院学会 in 京都	2024 年 9 月	大沼 稜	肝特異性造影剤を用いた造影 MR 検査における肝細胞相至適撮像時間の決定法に関する検討	京都
第 65 回全日本病院学会 in 京都	2024 年 9 月	樋口 大規	Clarity を用いた前立腺照合における Inter-fractional error の検討	京都
第 65 回全日本病院学会 in 京都	2024 年 9 月	長谷川 亮介	前立腺 T2 強調画像における DeepLearning 画像再構成を用いたギャップレス撮像の検討	京都

■ その他（研究会発表・講演など）

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
2024 年度保健医療管理者養成講座	2024 年 7 月	森 吉修	医療管理各論 - 診療放射線部門	京都
2024 年度准看護師研修	2024 年 8 月	森 吉修	放射線の基礎とその業務について～画像をまじえて～	京都
MRI 認定試験直前講習会	2024 年 9 月	池 和秀	造影剤・造影検査に関する問題解説	京都
第 5 回関西島津ユーザー友の会	2024 年 10 月	谷 和幸	消化器内視鏡手技における使用経験及び臨床上の有用性	大阪
第 1 回日本放射線医療技術学会大会	2024 年 11 月	池 和秀	MRI（臨床報告）	沖縄
第 72 回関西 MAGNETOM 研究会	2024 年 11 月	長谷川 亮介	当院における乳房 MRI の工夫～ ultra-fastDCE を中心に～	大阪
第 5 回京滋医用画像情報システム研究会	2024 年 11 月	泉本 涼介	放射線部門の医療安全対策 - システムと私たちでできること -	京都
令和 6 年度近畿地域診療放射線技師会学会大会	2025 年 2 月	池 和秀	Siemens MRI 装置が可能な最新技術の革新	大阪
第 72 回関西 MAGNETOM 研究会	2025 年 3 月	長谷川 亮介	婦人科画像診断と手術	大阪

検査科

1. 検査件数集計

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(輸血関連検査は入院・外来を区別せず表示)

検査項目	4月			5月			6月		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
院内 一般検査	3,590	12,533	16,123	3,076	13,317	16,393	2,615	13,034	15,649
院内 血液検査	10,591	17,273	27,864	10,303	17,917	28,220	9,432	17,201	26,633
院内 生化学検査	55,126	112,312	167,438	53,844	115,192	169,036	50,795	113,051	163,846
院内 免疫血清検査	5,089	17,966	23,055	4,779	19,298	24,077	4,621	18,152	22,773
院内 輸血関連検査		1,891	1,891		1,862	1,862		1,750	1,750
院内 微生物検査	1,472	1,945	3,417	2,056	2,257	4,313	1,616	1,984	3,600
院内 病理検査	395	646	1,041	452	641	1,093	387	727	1,114
院内 生理検査	754	3,507	4,261	701	3,533	4,234	720	4,663	5,383
院内 小計	78,908	166,182	245,090	77,073	172,155	249,228	71,936	168,812	240,748
委託検査	917	3,462	4,379	678	3,602	4,280	866	3,454	4,320
合計	79,825	169,644	249,469	77,751	175,757	253,508	72,802	172,266	245,068

検査項目	7月			8月			9月		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
院内 一般検査	2,783	14,836	17,619	2,529	13,255	15,784	2,498	13,606	16,104
院内 血液検査	10,212	18,863	29,075	10,363	17,228	27,591	10,473	17,281	27,754
院内 生化学検査	55,440	124,997	180,437	53,725	113,277	167,002	53,441	114,743	168,184
院内 免疫血清検査	5,133	19,544	24,677	5,009	17,547	22,556	4,870	18,053	22,923
院内 輸血関連検査		1,936	1,936		1,965	1,965		1,913	1,913
院内 微生物検査	1,512	1,959	3,471	1,338	1,465	2,803	1,390	1,422	2,812
院内 病理検査	433	776	1,209	402	659	1,061	372	737	1,109
院内 生理検査	756	4,549	5,305	731	4,201	4,932	633	4,183	4,816
院内 小計	78,205	185,524	263,729	76,062	167,632	243,694	75,590	170,025	245,615
委託検査	790	3,872	4,662	846	3,402	4,248	813	3,503	4,316
合計	78,995	189,396	268,391	76,908	171,034	247,942	76,403	173,528	249,931

検査項目	10月			11月			12月		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
院内 一般検査	2,694	14,722	17,416	2,785	13,040	15,825	2,763	13,734	16,497
院内 血液検査	10,239	19,428	29,667	10,546	17,223	27,769	11,344	18,213	29,557
院内 生化学検査	53,206	126,298	179,504	53,251	112,371	165,622	58,701	117,185	175,886
院内 免疫血清検査	4,962	21,122	26,084	4,822	18,470	23,292	5,323	18,580	23,903
院内 輸血関連検査		2,114	2,114		1,826	1,826		2,150	2,150
院内 微生物検査	1,615	1,603	3,218	1,567	1,678	3,245	1,784	2,538	4,322
院内 病理検査	432	863	1,295	454	768	1,222	403	740	1,143
院内 生理検査	801	4,855	5,656	727	4,303	5,030	753	4,229	4,982
院内 小計	76,063	188,891	264,954	75,978	167,853	243,831	83,221	175,219	258,440
委託検査	740	3,993	4,733	705	3,587	4,292	575	3,442	4,017
合計	76,803	192,884	269,687	76,683	171,440	248,123	83,796	178,661	262,457

検査項目	1月			2月			3月		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
院内 一般検査	2,508	13,491	15,999	2,263	12,503	14,766	3,017	13,290	16,307
院内 血液検査	11,871	18,023	29,894	10,542	16,672	27,214	10,983	18,186	29,169
院内 生化学検査	60,609	114,298	174,907	53,408	105,763	159,171	58,514	115,477	173,991
院内 免疫血清検査	5,531	18,856	24,387	4,960	16,843	21,803	5,599	18,454	24,053
院内 輸血関連検査		2,134	2,134		1,725	1,725		1,977	1,977
院内 微生物検査	1,778	2,212	3,990	1,411	2,031	3,442	1,553	2,284	3,837
院内 病理検査	403	624	1,027	403	638	1,041	403	721	1,124
院内 生理検査	815	3,889	4,704	679	3,688	4,367	782	4,090	4,872
院内 小計	85,649	171,393	257,042	75,391	158,138	233,529	82,828	172,502	255,330
委託検査	786	3,494	4,280	703	3,142	3,845	837	3,516	4,353
合計	86,435	174,887	261,322	76,094	161,280	237,374	83,665	176,018	259,683

検査項目	年間合計			
	入院件数	外来件数	合計件数	月平均
院内 一般検査	33,121	161,361	194,482	16,206.8
院内 血液検査	126,899	213,508	340,407	28,367.3
院内 生化学検査	660,060	1,384,964	2,045,024	170,418.7
院内 免疫血清検査	60,698	222,885	283,583	23,631.9
院内 輸血関連検査		23,243	23,243	1,936.9
院内 微生物検査	19,092	23,378	42,470	3,539.2
院内 病理検査	4,939	8,540	13,479	1,123.3
院内 生理検査	8,852	49,690	58,542	4,878.5
院内 小計	936,904	2,064,326	3,001,230	250,102.5
委託検査	9,256	42,469	51,725	4,310.4
合計	946,160	2,106,795	3,052,955	254,412.9

2. 血液および血液成分製剤取り扱い単位数

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新鮮凍結血漿	118	128	92	244	684	160	82	196	142	234	92	106	2,278
赤血球LR	722	662	566	616	732	742	718	690	740	864	682	626	8,360
濃厚血小板	1,140	1,350	875	900	1,505	965	860	890	1,130	1,120	930	1,075	12,740
合計	1,980	2,140	1,533	1,760	2,921	1,867	1,660	1,776	2,012	2,218	1,704	1,807	23,378
自己血(200mL換算)	2	2	1	3	0	0	2	0	0	3	2	5	20

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第37回日本臨床内科医学会	2024.9.15	横山 健輔	臨床検査技師が伝えます！外来診療で生かす超音波検査	京都市
令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)	2024.11.03 ～2024.11.04	横山 健輔	当院における救急検査技師の活動報告	大阪市
令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)	2024.11.03 ～2024.11.04	芦田 恭佳	心電図検査にて指摘できなかった肺血栓塞栓症の一例	大阪市
第5回京都医学検査学会	2025.2.23	小西 智也	若手ミーティングの再生計画～つながりと活気を取り戻すための挑戦～	京都市
第5回京都医学検査学会	2025.2.23	吉川 穂乃花	血液像至急対応により血液疾患の早期診断に至った2症例	京都市

■ その他(研究会発表・講演など)

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第19回京都臨床薬剤師循環器セミナー	2024.6.29	横山 健輔	ルールを覚えて心電図を読み解こう！	京都市
細胞診教育セミナー実習	2024.7.1	二宮 慶太	呼吸器顕微鏡実習	京都市
心電図検査研修会(中級編)	2024.8.22	深田 萌花	～ディスカッションでレベルアップ みんなはどう読む part II～	京都市
チーム医療研究班 研修会	2024.9.26	横山 健輔	当院における救急参入の活動報告	京都市
チーム医療研究班 2024年度 第4回研修会	2024.10.26	安田 萌乃	日当直で知っておくと役立つ知識(一般検査)	京都市
チーム医療研究班 2024年度 第4回研修会	2024.10.26	竹村 早織	日当直で知っておくと役立つ知識(生化学)	京都市

栄養科

1. 食種別給食提供数 (単位：食)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

月	食糧	一般食			特別食		計
		常食	軟食	流動食	加算	非加算	
4月		9,641	1,177	29	11,656	9,388	31,891
5月		9,792	1,218	29	9,781	10,020	30,840
6月		7,808	816	79	10,049	8,957	27,709
7月		8,606	1,065	47	11,450	8,533	29,701
8月		8,869	1,401	55	10,282	9,849	30,456
9月		9,503	1,085	74	10,327	9,471	30,460
10月		9,135	1,160	106	9,154	9,513	29,068
11月		9,360	796	98	9,811	9,144	29,209
12月		9,564	997	104	11,448	9,190	31,303
1月		9,285	1,548	74	12,708	10,131	33,746
2月		8,661	1,525	103	11,118	9,375	30,782
3月		9,251	1,186	128	13,060	10,312	33,937
合計		109,475	13,974	926	130,844	113,883	369,102
一月平均		9,123	1,165	77	10,904	9,490	30,759
一日平均		300	38	3	358	312	1,011

2. 栄養指導

(2024年4月1日～2025年3月31日)

月	疾患名	糖尿病				肝臓病				腎臓病				糖尿病腎症重症化予防指導	腎臓病重症化予防指導	潰瘍		
		入院		外来		入院		外来		入院		外来				透析	入院	外来
		個人	集団	個人	集団	個人	集団	個人	集団	個人	集団	個人	集団					
4月		100	7	84	0	35	0	3	0	35	3	148	0	0	2	33	0	
5月		103	5	93	0	30	0	5	0	33	0	118	0	6	20	17	0	
6月		84	4	88	0	35	0	2	0	37	0	134	0	3	23	14	0	
7月		109	8	93	0	50	0	2	0	43	2	113	0	4	17	22	1	
8月		106	4	92	0	40	0	2	0	26	0	94	0	4	24	25	3	
9月		76	0	82	0	18	0	1	0	32	0	113	0	5	24	19	0	
10月		61	0	97	0	33	0	3	0	48	2	133	0	1	24	31	0	
11月		61	3	75	0	38	0	4	0	33	2	115	0	6	22	25	0	
12月		78	0	91	0	35	0	1	0	37	0	111	0	3	34	33	1	
1月		53	2	79	0	32	0	3	0	32	0	114	0	5	30	38	0	
2月		59	4	77	0	36	0	0	0	25	0	119	7	7	26	29	0	
3月		71	5	55	0	34	0	0	0	34	2	126	0	3	22	30	0	
合計		961	42	1,006	0	416	0	26	0	415	11	1,438	7	47	268	252	5	

月	疾患名	心血管		脂質異常		肥満		脾臓		乳児アレルギー		妊娠高血圧症候群		炎症性腸疾患		癌	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
4月		46	0	4	2	1	1	2	0	3	0	0	0	2	0	144	1
5月		43	1	0	4	2	2	4	0	1	0	0	0	1	0	149	1
6月		85	0	1	1	1	1	6	0	2	0	0	0	1	0	177	4
7月		61	2	1	2	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	166	4
8月		62	1	1	3	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	163	2
9月		52	1	1	0	1	2	7	1	1	0	0	0	0	0	144	6
10月		88	1	1	4	1	8	0	0	1	0	0	0	0	0	131	3
11月		77	0	3	4	0	3	6	0	3	0	0	0	2	0	132	6
12月		72	2	1	6	2	3	8	0	3	1	0	0	0	0	135	3
1月		74	6	0	3	0	6	6	0	3	0	0	0	1	0	90	5
2月		48	0	1	3	0	5	8	0	1	0	0	0	0	0	88	5
3月		63	2	2	1	3	8	8	1	1	0	0	0	0	0	119	4
合計		771	16	16	33	12	40	64	2	20	1	0	0	7	0	1,638	44

月	疾患名	低栄養		摂食嚥下		NST	食事アレルギー	健康管理センター		ケモ室	その他		小計		合計
		入院	外来	入院	外来	入院	入院	入院	外来	外来	入院	外来	入院	外来	
4月		24	2	0	0	1	2	0	3	0	57	0	499	246	745
5月		38	4	1	0	0	0	0	0	0	56	0	483	254	737
6月		12	0	0	0	2	5	0	0	0	70	3	536	259	795
7月		43	3	0	0	0	3	0	1	0	68	2	585	267	852
8月		20	1	2	0	2	0	0	2	0	75	0	529	253	782
9月		44	2	0	0	4	3	0	1	0	73	4	481	261	742
10月		82	2	0	0	2	2	0	1	1	85	5	553	314	867
11月		47	2	1	0	0	0	0	0	0	67	1	506	263	769
12月		51	2	0	0	0	0	0	3	0	71	5	520	299	819
1月		76	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	389	293	682
2月		64	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	369	280	649
3月		66	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	433	254	687
合計		567	22	5	0	11	15	0	11	1	623	24	5,883	3,243	9,126

3. 集団栄養指導

- 1) 外来 7名
- 2) 入院
 - 【糖尿病教育入院】 42名
 - 【CKD教育入院】 11名

4. 入院患者栄養サポート

- 1) Nutrition Support 2,999件
- 2) 特定集中治療室早期栄養介入管理 2300名（400点：3369件 / 250点：3088件）
- 3) 周術期栄養管理 838件

血液浄化センター

5

各部門の状況

血液浄化センター

2023年度、血液浄化センターでは、COVID 19 対応として入院患者・外来患者の罹患時に隔離透析を含む対応を行った。そして、こうした対応の中で明らかになった老朽化に伴う設備面の課題や、病院全体として急性期機能を強化する方針を踏まえ、慢性期外来維持透析施設の今後の体制について病院と協議を重ね、段階的な見直しを行うこととなった。午前・午後透析のうち午後透析枠を縮小し、2025年3月31日までに段階的に閉鎖した。午後の時間帯は、腎臓病教育・指導の充実や LDL アフェレシスなどの血液浄化療法の実施に活用し、センターとしての役割を再整理した。また、加算付き腎臓リハビリテーションを看護師スタッフ中心に透析中に開始し、患者支援の幅を広げた。

常勤医師の急な退職に際しては、診療体制の維持を最優先とし、京都大学腎臓内科学講座に非常勤医師の派遣を依頼し、秋以降は木曜・金曜に応援を得て対応した。

腹膜透析の普及に向けては、2024年7月21日に当センター主催で近隣の訪問看護ステーションを対象とした PD セミナーを開催した。手技指導や患者教育に関する情報共有を行い、腹膜透析導入患者の支援を多施設で担える体制づくりに向けて前進した。

■ 診療実績

血液浄化療法数などは下記の通りである。（2024年4月～2025年3月）

浄化センター件数	合計	浄化センター件数	合計	浄化センター件数	合計
HD	3,827	LDL-A	59	延べ実施件数（入院）	1,622
OHDF	4,297	DFPP	4	延べ実施件数（外来）	6,658
ECUM	0	レオカーナ	36	HD 導入患者	28
PD	267	G-cap	0	PD 導入患者	7
血漿交換	4	CART	53	ハイブリッド	2
IAPP	13	SPP	26		

■ 学会発表 / 学会講演

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 43 回日本アフェレシス学会関西地方会	2025.02	山村 龍也 (臨床工学科)	遠心分離法による LDL 吸着療法の経験から得た治療過程における利点と欠点	高松市
第 15 回日本腎臓リハビリテーション学術集会	2025.03	安田 可織 (看護部)	当部署の腎臓リハビリテーションの取り組み	横浜市

■ その他（研究会発表・講演など）

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
腎臓病療養指導士のための CKD 連携セミナー	2024.10	奥村 陽子 安部 葉子 (看護部)	腎臓病療養指導士としての活動について～今年度取得した今、5年前に取得した今、今後のモチベーションは～	WEB
HCU 勉強会		白川 佳央里 (臨床工学科)	病棟透析の基礎知識	京都市
HCU 勉強会		國次 美希 (臨床工学科)	血漿交換療法、血症交換療法と透析を併用する場合	京都市

外来化学療法センター

■ 外来化学療法センターについて

外来化学療法センターは2010年11月より外来棟2階で運用を開始、2021年度までは看護師配置6人/日、リクライニングシート15床とベッド4床の計19床の稼働で1日に可能な化学療法件数は30件までとなっていた。しかし化学療法件数は2017年以降増加傾向が続いており(図1)、特に免疫チェックポイント阻害薬の臓器横断的な適応拡大によって今後も更なる増加が見込まれており、慢性的に外来化学療法センターの予約取得が困難な状況が継続している。レジメン毎に規定されたスケジュール通りに治療ができていないケースも多数認められ、患者さんからの不安な意見が寄せられることも多い。またレジメンの種類増加や複雑化、点滴ルート確保の問題などスタッフの業務量やストレスも多く、化学療法受け入れ件数の増強を主眼とし、また安全な治療環境と動線を確保するためにセンターの拡張工事を行い、2023年5月の連休明けよりリクライニングシート21床とベッド4床の合計25床に増床となり、専用の診察室や面談室、スタッフ休憩室を備えている。

現時点では1日に可能な化学療法件数は30-32件であるが、増床に伴って今後はそれを越えた件数も可能となっている。今後は人員の確保が課題ではあるが、バイタルサインの自動入力や、京大病院で開発中の電子カルテと連動した薬液バッグの遠隔自動切り替え装置など省力化によって、安全に応需可能な治療件数を増加させてゆくことを目指す。また仕事と治療の両立支援のために夕方以降の治療枠の設定の検討も引き続き行ってゆく。

スタッフは外来化学療法に専従する診療科として2019年6月より腫瘍内科が発足しているが、常勤医師はがん薬物療法専門医1名のみとなっている。薬剤師は日本医療薬学会がん指導薬剤師1名とがん専門薬剤師4名を中心としたメンバーが外来化学療法センターに2名/日の配置のほか、2020年2月より新設されたがん専門病棟のG5病棟にも専門薬剤師を重点配置している。看護師は名/日の配置となっている。

免疫チェックポイント阻害薬使用に際しては、Katsura Immunotherapy Team(KIT)を結成し、多職種連携による症例の登録と治療適応の確認、免疫関連有害事象(irAE)対策を行っている。初回導入時のみ入院で行い、看護師・薬剤師による指導とDVD鑑賞によるirAEの周知徹底を行う。irAE出現の際は主治医からKITへ報告を行い、有害事象に応じて各診療科にコンサルトを行うほか、院内メールによるチーム内での迅速な情報共有と月1回の化学療法委員会での報告を行っている。

今後も引き続き患者さんの生活の質を落とすことなく安全に化学療法を行うために、多職種連携で業務に邁進してゆく。

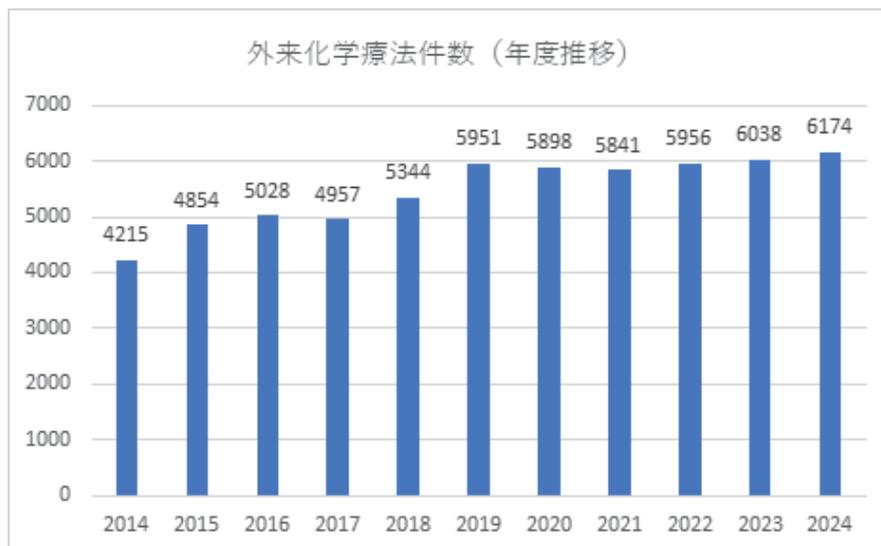


図1 外来化学療法件数の年次推移 (年度別)

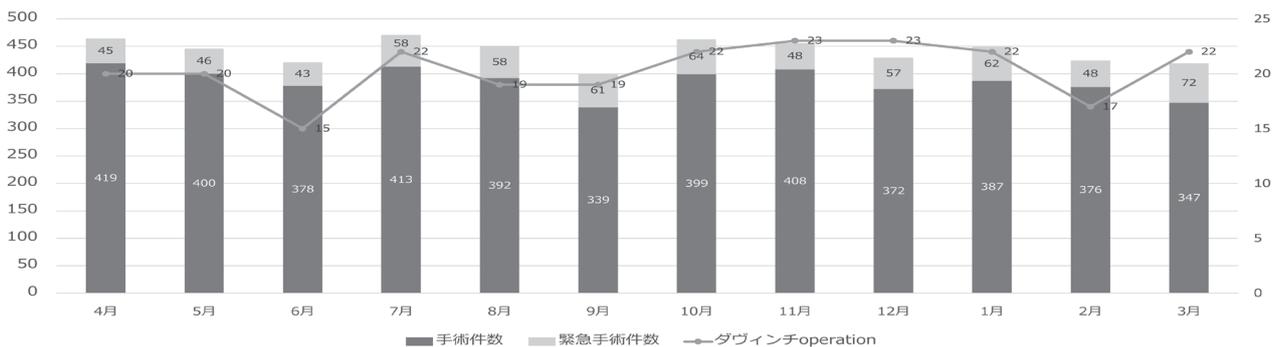
手術室

科別手術件数 (2024/04/01 ~ 2025/03/31)

	麻酔別	合計	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科	全麻	765	63.75	53	70	52	73	74	53	70	69	65	58	67	61
	その他	253	21.08	25	15	21	25	21	23	21	25	21	20	19	17
眼科	全麻	5	0.42	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0
	その他	1,396	116.33	128	119	119	127	106	104	134	110	105	124	112	108
救急科	全麻	7	0.58	2	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	その他	7	0.58	0	0	0	1	1	1	1	0	0	2	1	0
形成外科	全麻	43	3.58	3	3	6	6	9	2	1	2	4	1	4	2
	その他	365	30.42	48	35	41	35	34	22	28	38	26	23	28	7
血液内科	全麻	4	0.33	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器科	全麻	279	23.25	24	28	20	19	22	22	20	24	20	22	24	34
	その他	9	0.75	0	0	1	2	0	1	0	0	3	2	0	0
産婦人科	全麻	175	14.58	15	11	13	9	16	12	15	12	16	17	17	22
	その他	125	10.42	12	12	13	11	6	5	8	20	10	11	8	9
耳鼻科	全麻	152	12.67	15	16	12	11	18	11	10	10	10	12	13	14
	その他	46	3.83	4	5	2	2	4	5	6	2	2	2	4	8
心臓血管外科	全麻	160	13.33	12	13	11	15	13	18	14	12	16	11	11	14
	その他	67	5.58	8	3	3	5	8	3	4	9	7	8	5	4
腎臓内科	全麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	20	1.67	2	3	1	1	0	2	1	6	1	1	2	0
整形外科	全麻	235	19.58	18	24	17	18	20	21	24	22	19	18	15	19
	その他	215	17.92	21	16	18	17	17	18	10	20	23	17	18	20
脊椎脊髄外科	全麻	211	17.58	19	21	15	26	21	19	15	7	14	18	15	19
	その他	3	0.25	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
内科	全麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	51	4.25	4	2	4	2	3	3	5	5	6	7	5	5
乳腺科	全麻	73	6.08	2	6	8	7	7	8	8	5	5	8	7	2
	その他	2	0.17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
脳神経外科	全麻	63	5.25	4	7	2	6	2	1	10	5	5	8	6	7
	その他	47	3.92	5	4	2	5	6	4	7	1	0	3	4	6
泌尿器科	全麻	119	9.92	8	8	10	7	8	8	13	14	11	13	9	10
	その他	354	29.5	29	21	27	32	26	31	30	36	36	33	25	28
放射線科	全麻	2	0.17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	その他	30	2.5	3	3	3	2	6	1	1	1	3	3	2	2
皮膚科	全麻	1	0.08	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	7	0.58	0	0	0	0	1	2	1	1	0	2	0	0
麻酔科	全麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0.58	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	全麻+その他	5,292	441	464	446	421	471	450	400	463	456	429	449	424	419

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月間手術件数	464	446	421	471	450	400	463	456	429	449	424	419	5,292
緊急手術件数	45	46	43	58	58	61	64	48	57	62	48	72	662
ダヴィンチ operation	20	20	15	22	19	19	22	23	23	22	17	22	244

2024年度年間手術件数



臨床試験センター

■ 治験審査委員会報告 2024 年度

1. 審査（実施の可否審査のみ）及び審査判定件数

（2024年4月1日～2025年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治験薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
治験機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
製造販売後薬	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
製造販売後機器	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
承認数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
条件付承認数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 実施中件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
治験薬	3	3	3	3	3	2	1	2	2	2	2	2	2
治験機器	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3
治験薬・機器 合計件数	8	8	8	8	8	7	6	6	6	6	6	5	5
製造販売後薬	56	55	53	52	52	52	50	50	51	51	51	51	51
製造販売後機器	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5
製造販売後薬・ 機器合計件数	59	59	57	56	56	56	54	54	55	55	56	56	56

3. 継続審査・迅速審査 件数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	薬剤	機器	薬剤	機器	薬剤	機器	薬剤	機器	薬剤	機器	薬剤	機器	薬剤	機器											
継続審査数	8	7	9	3	4	2	4	3	6	0	2	2	2	10	2	0	5	1	4	2	5	1	3	2	87
迅速審査	0	1	0	1	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
承認数 (迅速審査含む)	8	8	9	4	4	7	4	4	7	0	2	2	2	10	2	0	6	1	4	2	5	1	3	2	97
条件付承認数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取り消し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16		13		11		8		7		4		12		2		7		6		6		5		97

■ 倫理・臨床研究審査委員会報告 2024 年度

（2024年4月1日～2025年3月31日）

	委託研究審査数					実施中変更申請数					迅速審査数					抄録迅速審査数					継続審査 件数	一括審査 件数	終了 件数	
	件数	承認	条件付承認	保留	却下	件数	承認	条件付承認	保留	却下	件数	承認	条件付承認	保留	却下	件数	承認	条件付承認	保留	却下				
4月	3	3	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0
5月	2	2	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	203	0	28
6月	3	3	0	0	0	5	5	0	0	0	5	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	2
7月	4	4	0	0	0	7	7	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8月	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	3	0
9月	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10月	7	7	0	0	0	3	3	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
11月	5	5	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	4	4	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0
2月	2	2	0	0	0	7	7	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
3月	1	1	0	0	0	7	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	32	32	0	0	0	70	70	0	0	0	20	20	0	0	0	10	10	0	0	0	0	203	15	37

健康管理センター

[1] 2024年度 人間ドック実績報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 健診の種類別受診者数

種 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日帰りドック	79	105	142	313	330	277	355	329	282	156	191	218	2,777
法定健診等	8	5	1,367	16	25	1	8	1,253	9	2	6	12	2,712
生活習慣病予防健診等	107	162	263	144	128	133	149	115	100	190	140	123	1,754
脳ドック	3	4	6	9	6	6	6	7	5	3	3	7	65
一泊ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	197	276	1,778	482	489	417	518	1,704	396	351	340	360	7,308

○一泊ドックの受診者数がないのは、新型コロナウイルスへの感染対策として、休診していたためである。

2. 相手先別受診者数

相 手 先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人利用	17	7	11	7	1	12	14	8	7	11	15	14	124
健康保険組合	32	34	43	45	33	55	38	57	39	38	36	35	485
共済組合	3	12	33	65	90	47	73	66	80	18	14	21	522
事業所・代行業者（ドック）	17	12	1	3	1	0	5	1	0	1	2	2	45
国保・後期高齢者	19	47	63	200	199	162	214	190	153	86	116	120	1,569
国民健康保険組合	8	6	12	7	12	12	18	20	10	8	11	36	160
全国健康保険協会	93	153	248	139	128	128	148	109	98	187	140	120	1,691
事業所（健診）	8	5	1,367	16	25	1	8	1,253	9	2	6	12	2,712
合計	197	276	1,778	482	489	417	518	1,704	396	351	340	360	7,308

3. 休日ドック

○2024年11月10日（日）：14名

4. 健康教室

○2024年11月27日

図1. 受診者 年代別

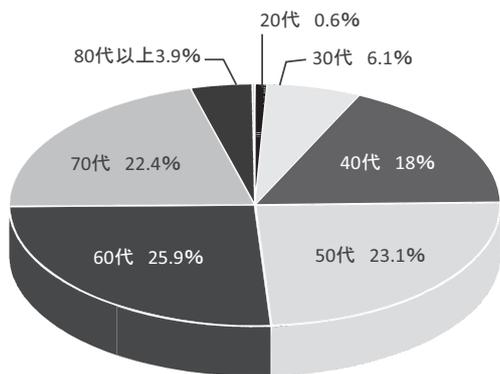


図2. 受診者 男女別

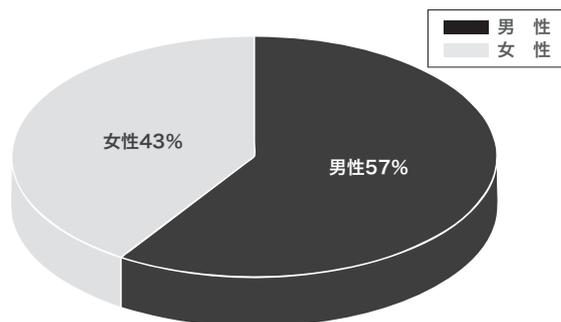


表1-(1). 2024年度 D1・D2判定(要精査・治療)の受診数(項目別・年代別・性別)

(D1・D2判定で出来るだけ早く精査、受診の指示が出た受診者数)

	20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
糖尿病・内分泌内科	2	0	28	4	53	18	86	65	50	54	45	31	6	2	0	0	270	174	444
循環器科	0	0	1	0	30	7	25	21	26	13	30	17	6	3	4	0	122	61	183
血液内科	0	0	1	0	1	7	4	3	12	2	10	9	6	0	0	0	34	21	55
消化器科	1	0	29	16	69	48	119	67	124	81	142	66	36	14	1	0	521	292	813
泌尿器科	0	0	1	0	7	2	18	8	31	13	19	12	7	2	0	1	83	38	121
腎臓内科	1	0	0	2	3	1	7	1	14	5	11	3	1	0	0	0	37	12	49
婦人科	0	0	0	16	0	33	0	49	0	46	0	44	0	1	0	0	0	189	189
乳腺科	0	0	0	13	0	49	0	53	0	22	0	22	0	0	0	0	0	159	159
呼吸器科	1	0	3	1	8	8	7	12	17	15	26	9	13	4	0	0	75	49	124
眼科	0	0	5	5	15	6	20	11	51	17	37	19	6	1	0	0	134	59	193
整形外科	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4	0	3	0	0	0	0	2	9	11
耳鼻科	0	0	1	0	2	0	1	1	4	1	2	1	1	1	0	0	11	4	15
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	1	0	0	0	5	1	6
脳神経外科	0	0	0	0	1	1	3	2	3	2	2	1	0	0	0	0	9	6	15
その他	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	5	1	0	0	0	2	8	10
合計	5	0	69	58	189	180	294	298	333	275	326	242	84	28	5	1	1305	1082	2,387

受診者総数 2,387名

表1-(2) 2024年 C判定(要経過観察)の受診数(項目別・年代別・性別)

(C判定で3・6か月後に再検指示が出た受診者数) (2024年4月～9月までの受診者を対象)

	20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
糖尿・内分泌内科	1	2	25	11	64	29	125	75	156	80	113	77	25	10	0	1	509	285	794
循環器科	0	0	7	6	26	10	57	32	70	50	59	42	10	3	0	1	229	144	373
血液内科	0	0	0	0	0	0	3	0	1	7	0	0	0	0	0	0	4	7	11
消化器科	2	0	12	1	35	1	81	13	64	14	39	10	3	0	0	0	236	39	275
その他	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
合計	3	2	44	18	125	42	266	120	293	151	211	129	38	13	0	2	980	477	1,457

2024年4月～9月受診者数 1,457名

表2. 要精査・治療、経過観察検診者への手紙送付数・回収数

	D1・D2判定	C(3・6か月)判定
	2024年4月～2025年3月	2024年4月～9月(上半期分)
手紙送付数	1,073	732
手紙回収数	291	183
回収割合	27.12%	25.00%

図3. 要精査・治療、経過観察受診者への手紙送付・回収数

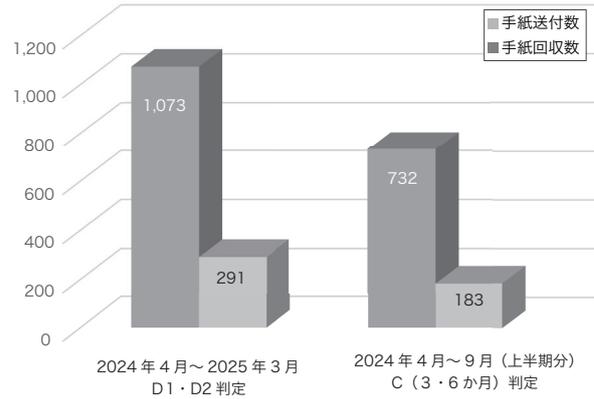
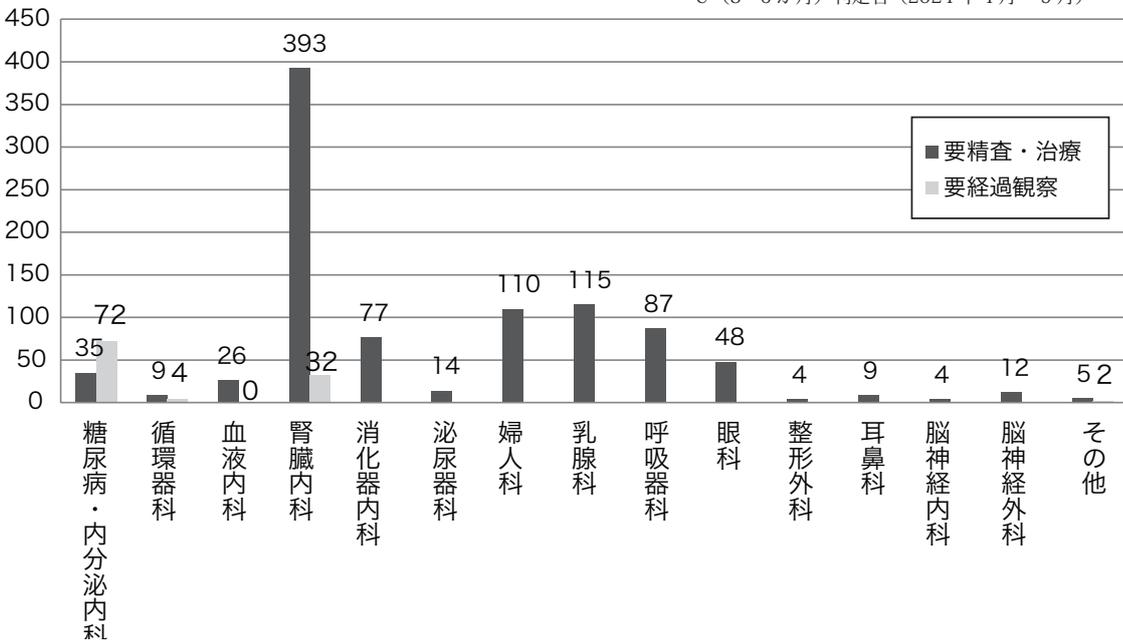


図4・要精査・治療、経過観察で当院を受診した数



当院受診延べ件数

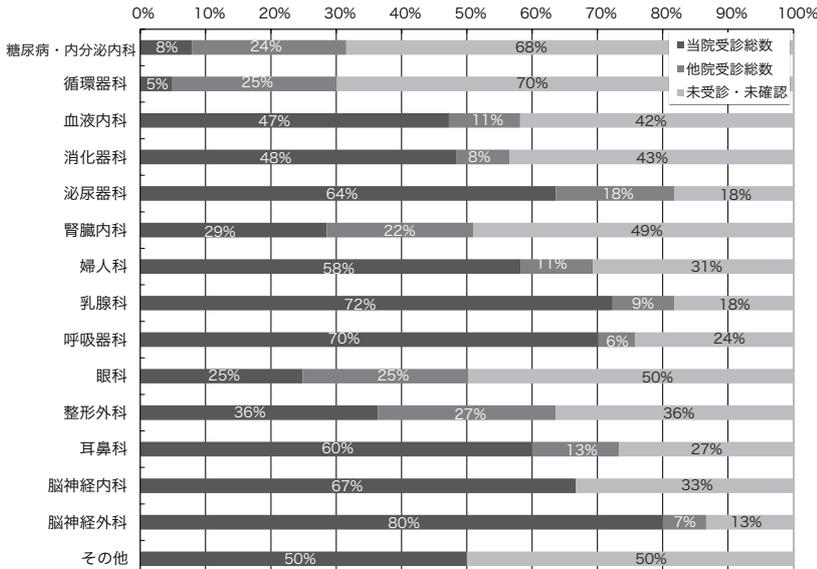
D1・D2判定者(2024年4月～2025年3月)・・・948件
 C(3・6か月)判定者(2024年4月～9月)・・・110件

表3-(1) .D1・D2(要精査・治療)の項目別受診件数

項目	要治療・精査総件数	当院受診総数	%	他院受診総数	%	未受診・未確認	%
糖尿病・内分泌内科	444	35	8	105	24	304	68
循環器科	183	9	5	46	25	128	70
血液内科	55	26	47	6	11	23	42
消化器科	813	393	48	67	8	353	43
泌尿器科	121	77	64	22	18	22	18
腎臓内科	49	14	29	11	22	24	49
婦人科	189	110	58	21	11	58	31
乳腺科	159	115	72	15	9	29	18
呼吸器科	124	87	70	7	6	30	24
眼科	193	48	25	49	25	96	50
整形外科	11	4	36	3	27	4	36
耳鼻科	15	9	60	2	13	4	27
脳神経内科	6	4	67	0	0	2	33
脳神経外科	15	12	80	1	7	2	13
その他	10	5	50	0	0	5	50
合計	2,387	948	40	355	15	1,084	45

(注) %は小数点1位で四捨五入

図5-(1) .D1・D2 (要治療・精査) 項目別受診率 (2024年4月～2025年3月)



(注) %は小数点1位で四捨五入

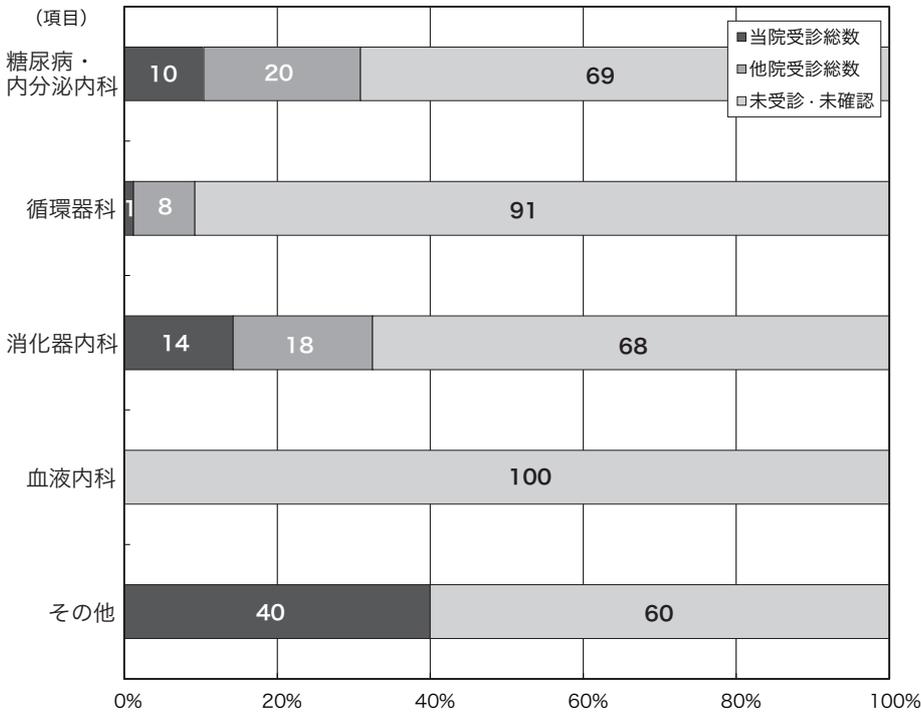
表3-(2) .C判定 (要経過観察) の項目別受診率

(2024年4月～9月)

項目	要経過観察総数	当院受診総数	%	他院受診総数	%	未受診・未確認	%
糖尿病・内分泌内科	693	72	10	142	20	479	69
循環器科	325	4	1	26	8	295	91
血液内科	9	0	0	0	0	9	100
消化器内科	225	32	14	41	18	152	68
その他	5	2	40	0	0	3	60
合計	1,257	110	66	209	47	938	387

(注) %は小数点1位で四捨五入

図5-(2) .C判定 (要経過観察) の項目別受診率 (2024年4月～9月)



(注) %は小数点1位で四捨五入

表4. 健康相談

1. 健康相談利用者数 (2024年4月～2025年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	30	20	29	35	40	49	50	48	37	32	22	31	423
女性	28	18	18	30	24	28	38	36	42	30	25	34	351
合計	58	38	47	65	64	77	88	84	79	62	47	65	774

2. 健康相談内容 (複数項目有り)

内容	2022年度		2023年度	
	件数	比率%	件数	比率%
① 判定指導	529	70	526	68
② 受診・検査予約	94	12	101	13
③ 検査結果説明	116	15	123	16
④ 栄養相談	19	3	24	3
合計 (延べ件数・%)	758	100	774	100

図6. 健康相談内容及び件数

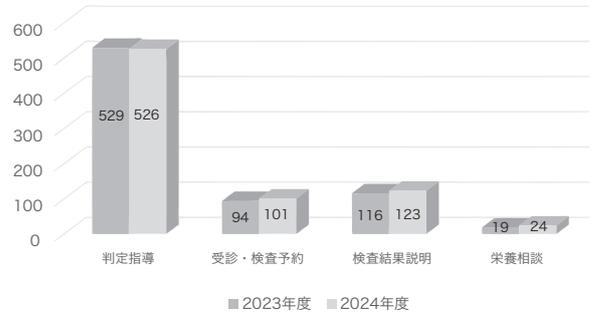


図7. ドック後のがん発見数 (2024年4月～2025年3月)

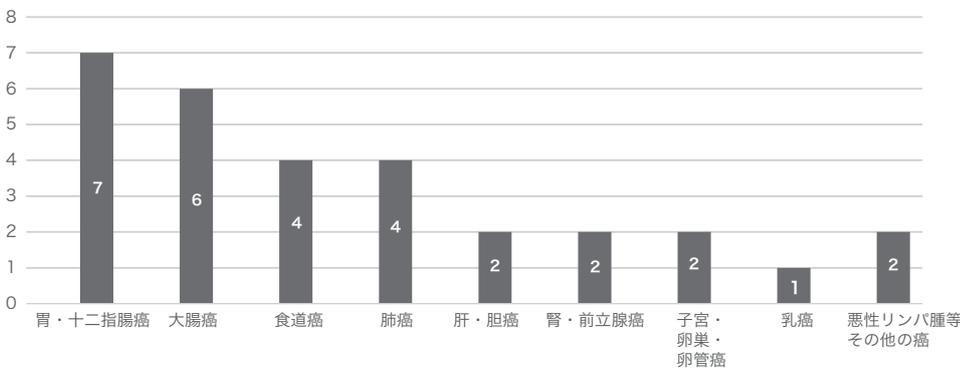
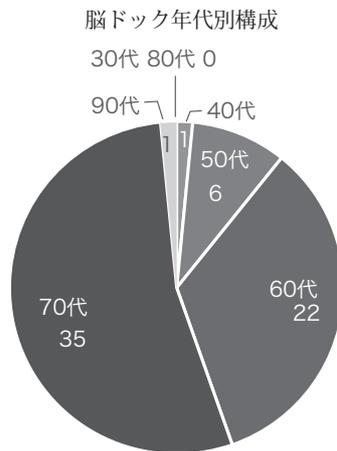
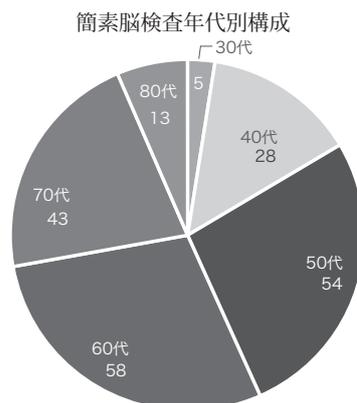


図8. 脳ドック及び簡易脳検査の受検者数

	脳ドック	割合 (%)
30代	0	0.0
40代	1	1.5
50代	6	9.2
60代	22	33.8
70代	35	53.8
80代	0	0.0
90代	1	1.5
男性	34	52.3
女性	31	47.7
合計	65	100



	簡易脳検査	割合 (%)
30代	5	2.5
40代	28	13.9
50代	54	26.9
60代	58	28.9
70代	43	21.4
80代	13	6.5
男性	123	61.2
女性	78	38.8
合計	201	100



医療の質の内容

専門技術の質	プロセス・知識と技術の保証
患者満足度の質	患者・家族の求める医療
職員満足度の質	人材活用・モチベーションの向上・研修などの教育機会
マネジメントの質	ビジョン・方針の妥当な策定 (組織全体と現場の一体感・調和) 病院運営・経営 現場での改善
社会的質	地域社会への貢献

TQM 運用規約

(発足経緯)

2006年に院内の医療安全対策委員会・感染対策委員会・クリニカルパス委員会・輸血輸液委員会・栄養管理委員会・NST委員会・褥瘡防止対策委員会・外来業務改善委員会などの委員会を総括し、改善を推進する目的でTQM会議として発足した。2008年病院行動方針のもと、組織横断的に質改善活動を推進するTQMセンターとして部署が設置された。

(基本理念)

患者さんの視点、業務プロセスの視点、学習と成長の視点、財務の視点をバランスよく質を考え、TQM (Total Quality Management) を推進する。

第1章 総則

(名称)

第1条 当院における医療の質改善活動を行う部署をTQMセンターと称する。

(運営)

第2条 年度始めにTQMセンター行動計画書を作成し、達成にむけて運用を行う。

(目的)

第3条 TQMセンターは、医療の質を担保し向上させるため、院内全体に存在する医療の質に関わる問題について提言を行い改善することを目的とする。

(活動内容)

第4条 TQMセンターは、目的を達成するために次の活動を行う。

- 1) 医療の質改善の評価を行うための指標 (Quality Indicator : QI) を作成し、その評価、改善を行う。
- 2) 患者満足度調査を年1回実施して集計分析し、院内・院外における患者の視点からの質改善活動および提言を行う。
- 3) 職員満足度調査を年1回実施して集計分析し、職員の視点からの質改善活動および提言を行う。
- 4) 組織風土醸成のためのTQM活動やクリニカルパス大会などの活動を推進する。
- 5) 基本となるコミュニケーション・メディアーションを推進する。
- 6) インフォームド・コンセントの質向上を推進する。
 - ①説明・同意マニュアルの保管管理、改訂を行う。
 - ②説明・同意書の管理を行い、必要時改訂を推進する。
 - ③インフォームド・コンセントに必要な補助教材や物品を考慮する。
 - ④臨床倫理にかかわる検討を推進する。
- 7) 医療の質向上にむけたチーム医療推進のための提言・改善活動を行う。
- 8) 臓器移植に関する院内体制を整備し、対応を支援する。

- 9) コンフリクト・マネジメントを行う。院内諸問題の対話的調整関係モデルの定着化に向けた取り組みを行う。
- 10) 関係する部署・委員会と協働で院内文書一元管理を行う。
- 11) その他、組織横断的問題に対して、調整および支援を行い共に解決へ向けた支援を行う。
- 12) 院内医療監査のしくみを構築する。
- 13) 日本病院機能評価指標に基づく質改善
- 14) 医療情報システム運用を通して質改善活動を行う (別紙1)
- 15) タスクシフト推進を行う

第2章 組織

(センター職員の構成)

第5条 TQMセンターの職員は、基本理念、目的を達成するために専従者2名を配置し、達成に必要な専任者 (兼任) を配置し、医療の質改善活動を行う。(別表①)

(所属長)

第6条 病院長は、TQMセンター長を指名し任命する。任期は1年間とし院長の指示により延長される。

(構成員)

第7条 構成員は、TQMセンター長が指名し病院長が任命する。

(副センター長)

第8条 TQMセンター長は、副センター長を指名し病院長が任命する。

第3章 会議

(会議)

第9条 TQMセンターに次の会議をおく。

- 1) 定例会議
- 2) 臨時招集会議
- 3) TQM活動推進事務局会議

(定例会議)

第10条 TQMセンター長は、定例会議を招集主催する。

- 2、TQMセンター長がやむを得ず欠席する場合にはセンター会議副責任者がこれを代行する
- 3、定例会議は、原則的に月に1回開催する。
- 4、定例会議の議事は、書記が議事録を作成しTQMセンター長の承認を経て管理部門に提出保管する。書記がやむを得ず欠席する場合にはTQMセンター長は、代理を指名することができる。

(臨時会議)

第11条 TQMセンター長は、臨時で構成員を招集し臨時会議を招集できる。

(TQMセンター運営会議)

第12条 TQMセンター長は、TQMセンター運営に必要な事項や組織横断的な問題の提起に際して、定期的に業務運用の確認を行い運営方針について立案し指示を行う。

- 2、専従者は、検討課題等を整理し話し合った内容を議事録としてTQMセンターに保管する。

(TQM活動推進事務局会議)

第13条 TQMセンター長は、TQM活動を行う上でその支援するTQM活動推進事務局を設置する。

- 2、TQMセンター長は、TQM活動推進事務局構成員を指名する。
- 3、TQM活動推進メンバー事務局会議は、月に1回程度開催する。
- 4、TQM活動推進メンバー事務局は、TQM活動を支援しTQM活動推進事務局会議シンポジウムの開催準備、運営を行う。運営に関しては細則にこれを定める。

(決議事項)

第14条 定例会議及び臨時会議は、構成員の過半数以上の出席をもって成立する。

第15条 TQMセンター長は、病院全体の運営に関わる事項や財政負担に関わる事項はあらかじめ管理部門と相談し、必要時承認手続きを経なければならない。

第16条 TQMセンター長は、決議を必要とする事項において構成員の3分の2以上の承認を得なければならない。

第17条 TQMセンター長は、第4条に関わる活動内容については構成員の議決承認を得なければならない。

第4章 雑則

(規約の修正、変更)

第18条 TQMセンター長は、規約の修正、変更が生じた場合は定例会議で構成員に報告し承認を得なければならない。

(細則の制定)

第19条 TQMセンター長は、この規約の定めのない事項について、定例会議の議決を経て、TQMセンターの業務の執行に必要な細則を定めることができる。

(規約の保管)

第20条 この規約は、TQMセンター長が保管責任を持ちTQMセンターで保管し、構成員はそれぞれに写しを保有するものとする。また、一部管理部門に提出する。

(行動方針制定)

第21条 TQMセンター長は、行動方針について年1回振り返りと今後の方針を定め、管理部門に報告する。

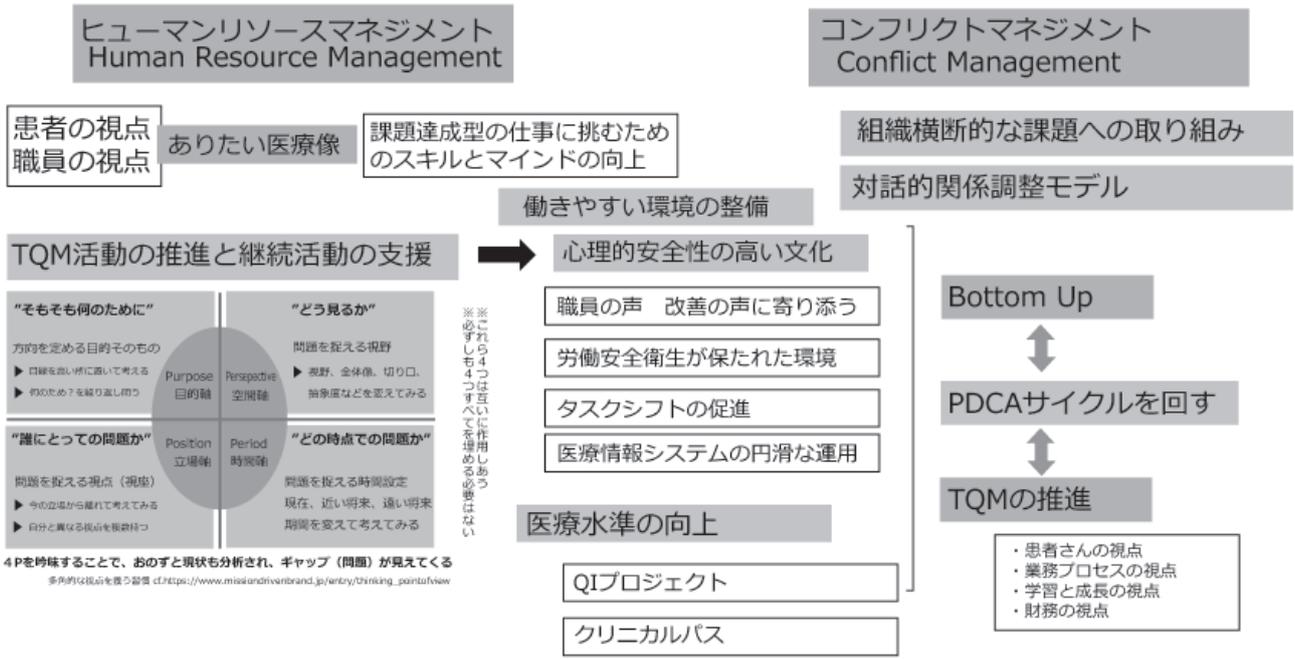
附 則

1、この規約は、2025年6月24日 第12版として改訂し施行する。

■ 構成メンバー

	部署	構成員氏名	
TQMセンター長兼副院長	外科	間中 大	兼任
TQMセンター	TQMセンター	出森 智子 (副責任者)	専従
診療部門	脳神経外科	中久木 卓也 (兼クリニカルパス)	兼任
	血液内科	菱澤 方勝	兼任
	緩和ケア科	村上 寛子	兼任
	副院長・救急科	寺坂 勇亮	兼任
	放射線科治療部	坂本 隆吏	兼任
医療安全対策	医療安全管理室	岡田 依子	兼任
医薬品管理	薬剤科	中村 絢子	兼任
医療機器管理	臨床工学科	岡田 忠久	兼任
	臨床工学科	白川佳央里	兼任
栄養管理・NST	栄養科	白木原 梨央 (兼NST)	兼任
放射線管理	放射線科	谷 和幸	兼任
検査・輸血管理	検査科	竹内 寿美	兼任
リハビリテーション管理	リハ科	原 弘明	兼任
看護部門	認定看護師	伊藤 貢江 (兼褥瘡対策)	兼任
	認定看護師	中村 考志 (兼感染対策)	兼任
事務部門	総務課庶務係	市野 悦治	兼任
	総務課人事係	高橋 慎吾	兼任
	総務課人事係	伴 綾菜	兼任
	用度課	福原 梨菜	兼任
医療マネジメント部	情報企画室	加納 和哉	兼任
	地域医療連携室	西田 敦之	兼任

TQMセンター役割概念図



5 各部門の状況 | TQMセンター

Human Resource Management とは

人事管理や労務管理に当たる英語の表現が Personnel Management だとすれば、その発展的な概念や機能を表すものとして HRM が位置づけられる。一般的には「人的資源開発」や「人材マネジメント」と訳される。HR が部門名称や使命を表すのに対して、HRM は人的資源に関する様々な機能を指す概念を指す。これらの機能が個々に存在しているというより、機能全体を通して経営力向上につながる経営戦略思考が含まれているのが特長である。

※辞典・百科事典の検索サービス - Weblio 辞書

学会発表 / 学会講演

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
日本看護学教育学会第 34 回が学術集会	2024.08	出森 智子	看護ラダー研修にコンフリクトマネジメントを必須とした効果と意義	東京都

その他 (研究会発表・講演など)

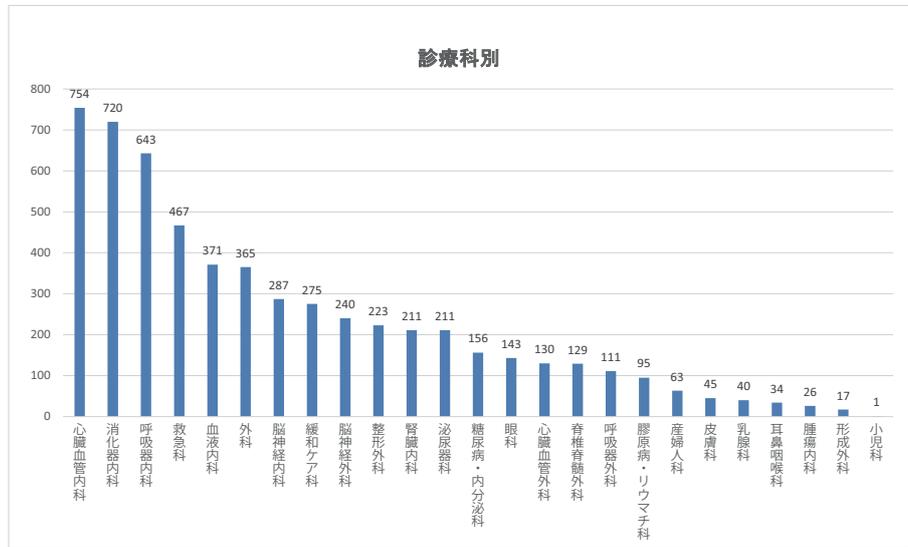
講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
天理大学 講師	2024.04	出森 智子	総合臨床演習 (医療安全学)	天理市
天理大学 講師	2025.05	出森 智子	総合臨床演習 (医療安全学)	天理市
日本人間ドック・予防医療学会	2024.06	出森 智子	訪問審査サーベヤー	京都市
TQM 推進セミナー (京都府立医科大学付属病院)	2024.07	出森 智子	当院における TQM 活動について	京都市
福岡医療・スポーツ専門学校 講師	2024.11	出森 智子	医療安全学	福岡市
京都介護・福祉サービス 第三者評価等支援機構調査員	2024.12	出森 智子	第三者評価 (障害)	宇治市
京都介護・福祉サービス 第三者評価等支援機構調査員	2025.01	出森 智子	第三者評価 (介護)	京都市
一般社団法人日本精神科看護協会 講師	2025.01	出森 智子	医療安全管理者養成研修	東京都
京都介護・福祉サービス 第三者評価等支援機構調査員	2025.03	出森 智子	第三者評価 (障害)	宇治市

患者サポートセンター

退院支援介入に関するデータ (退院時年度)

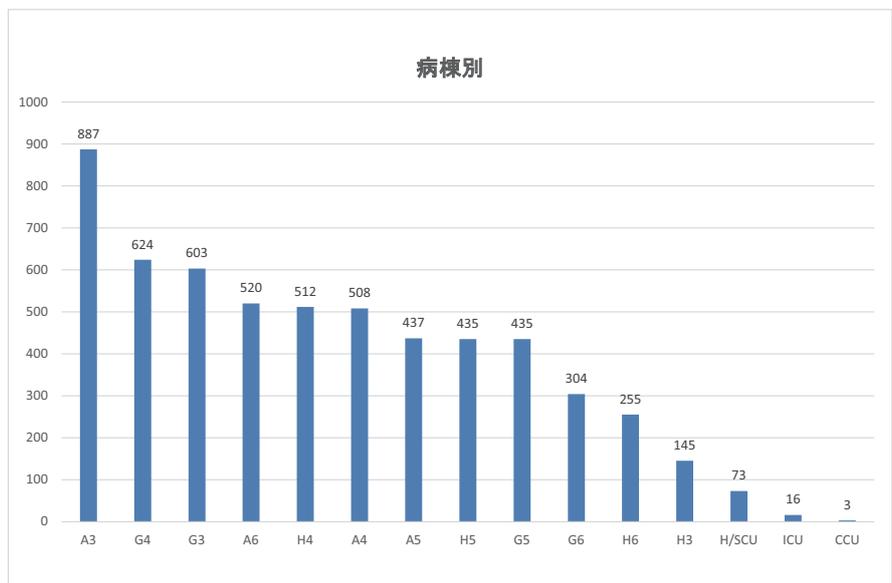
1) 診療科別退院支援介入件数 (退院時)

分類	件数
心臓血管内科	754
消化器内科	720
呼吸器内科	643
救急科	467
血液内科	371
外科	365
脳神経内科	287
緩和ケア科	275
脳神経外科	240
整形外科	223
腎臓内科	211
泌尿器科	211
糖尿病・内分泌科	156
眼科	143
心臓血管外科	130
脊椎脊髄外科	129
呼吸器外科	111
膠原病・リウマチ科	95
産婦人科	63
皮膚科	45
乳腺科	40
耳鼻咽喉科	34
腫瘍内科	26
形成外科	17
小児科	1
合計	



2) 病棟別退院支援介入件数 (退院時)

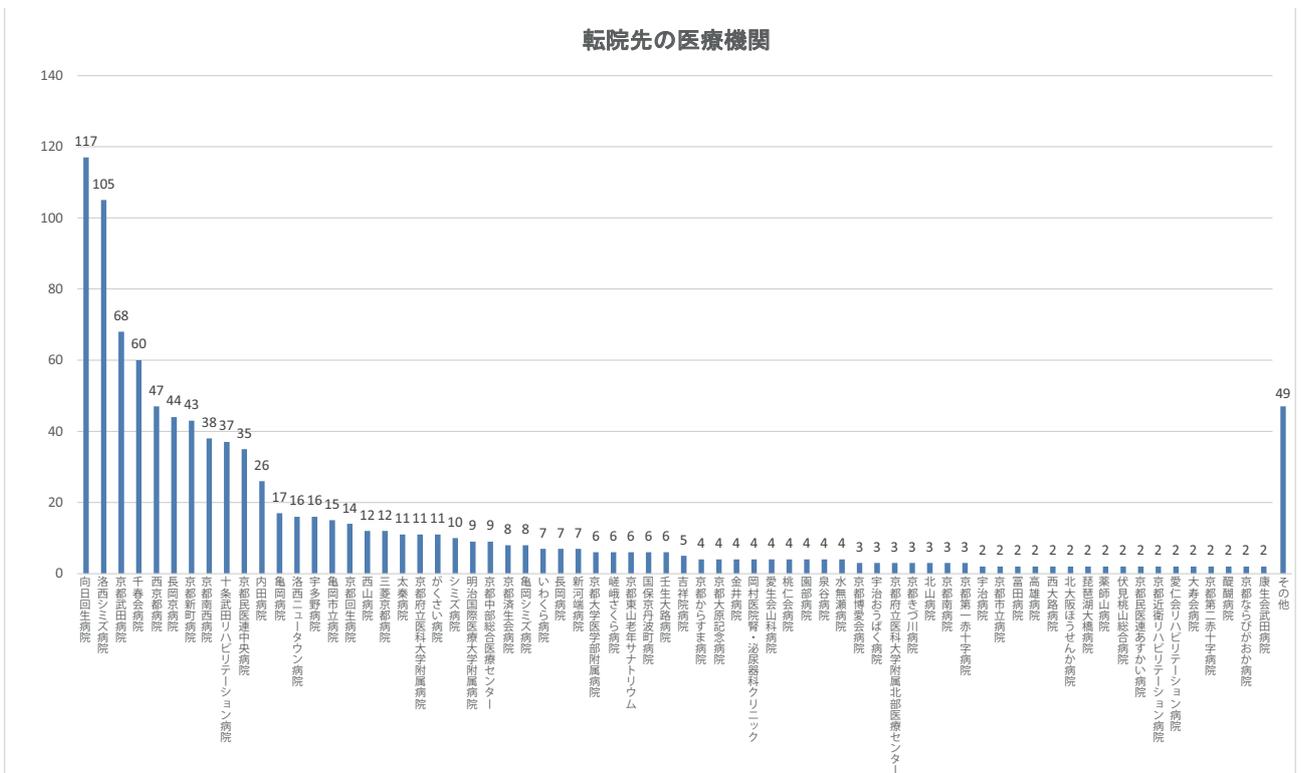
病棟	件数
A3	887
G4	624
G3	603
A6	520
H4	512
A4	508
A5	437
H5	435
G5	435
G6	304
H6	255
H3	145
H/SCU	73
ICU	16
CCU	3
合計	



3) 転院先 (117 施設)

医療機関名	件数	医療機関名	件数	医療機関名	件数	医療機関名	件数
向日回生病院	117	三菱京都病院	12	吉祥院病院	5	宇治病院	2
洛西シミズ病院	105	太秦病院	11	京都からすま病院	4	京都市立病院	2
京都武田病院	68	京都府立医科大学附属病院	11	京都大原記念病院	4	富田病院	2
千春会病院	60	かくさい病院	11	金井病院	4	高雄病院	2
西京都病院	47	シミズ病院	10	岡村医院腎・泌尿器科クリニック	4	西大路病院	2
長岡京病院	44	明治国際医療大学附属病院	9	愛生会山科病院	4	北大阪ほうせんか病院	2
京都新町病院	43	京都中部総合医療センター	9	桃仁会病院	4	琵琶湖大橋病院	2
京都南西病院	38	京都済生会病院	8	園部病院	4	薬師山病院	2
十条武田リハビリテーション病院	37	亀岡シミズ病院	8	泉谷病院	4	伏見桃山総合病院	2
京都民医連中央病院	35	いわくら病院	7	水無瀬病院	4	京都民医連あすかい病院	2
内田病院	26	長岡病院	7	京都博愛会病院	3	京都近衛リハビリテーション病院	2
亀岡病院	17	新河端病院	7	宇治おうばく病院	3	愛仁会リハビリテーション病院	2
洛西ニュータウン病院	16	京都大学医学部附属病院	6	京都府立医科大学附属北部医療センター	3	大寿会病院	2
宇多野病院	16	嵯峨さくら病院	6	京都市つ川病院	3	京都第二赤十字病院	2
亀岡市立病院	15	京都東山老年サトリウム	6	北山病院	3	醍醐病院	2
京都回生病院	14	国保京丹波町病院	6	京都南病院	3	京都ならびがおか病院	2
西山病院	12	壬生大路病院	6	京都第一赤十字病院	3	康生会武田病院	2
						その他	49

転院先の医療機関



診療情報管理室

2024 年度 退院患者に関する統計

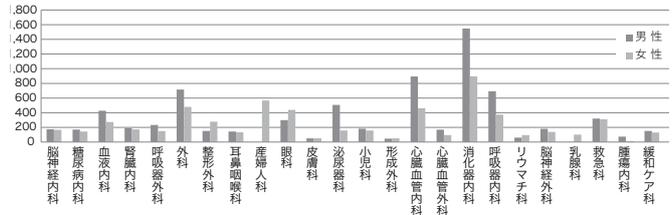
A. 退院患者数

	総数	男性	女性
退院患者数	13,472	7,532	5,940
平均在院日数	12.2	12.1	12.3

B. 診療科別・性別 退院患者数

診療科	退院患者数	男性	女性	平均在院日数
脳神経内科	340	174	166	23.6
糖尿病内科	314	170	144	14.7
血液内科	700	426	274	18.6
腎臓内科	363	190	173	14.9
呼吸器外科	381	232	149	12.0
外科	1,195	716	479	12.5
整形外科	429	152	277	14.5
耳鼻咽喉科	277	143	134	6.9
産婦人科	567	0	567	6.6
眼科	737	298	439	3.4
皮膚科	102	50	52	12.8
泌尿器科	664	507	157	9.1
小児科	339	182	157	5.6
形成外科	97	47	50	12.1
心臓血管内科	1,357	895	462	12.1
心臓血管外科	262	168	94	17.4
消化器内科	2,445	1,548	897	8.6
呼吸器内科	1,066	692	374	12.7
リウマチ科	154	60	94	20.6
脳神経外科	317	180	137	21.4
乳腺科	102	1	101	9.4
救急科	630	320	310	13.5
腫瘍内科	86	73	13	10.8
緩和ケア科	281	151	130	28.7
脊椎脊髄外科	267	157	110	18.0
総計	13,472	7,532	5,940	

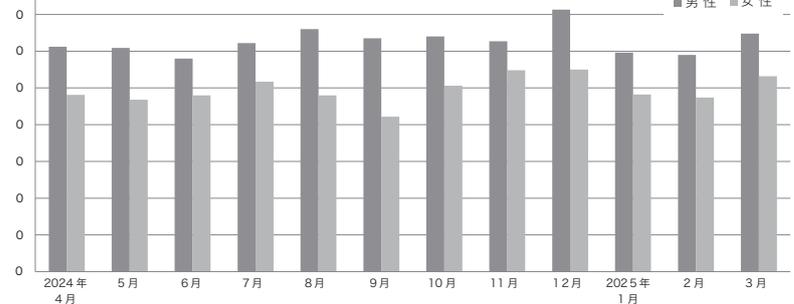
2024 年度診療科別・性別 退院患者数



C. 月別・性別 退院患者数

退院月	退院患者数	男性	女性
2024年4月	1,093	612	481
5月	1,077	609	468
6月	1,060	580	480
7月	1,139	622	517
8月	1,140	660	480
9月	1,057	635	422
10月	1,146	640	506
11月	1,175	627	548
12月	1,263	713	550
2025年1月	1,078	596	482
2月	1,064	590	474
3月	1,180	648	532
総計	13,472	7,532	5,940

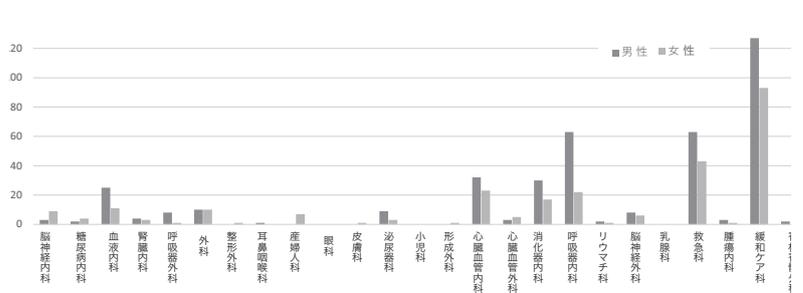
2024 年度月別・性別 退院患者数



D. 診療科別・性別 死亡患者数

診療科	死亡患者数	男性	女性
脳神経内科	12	3	9
糖尿病内科	6	2	4
血液内科	36	25	11
腎臓内科	7	4	3
呼吸器外科	9	8	1
外科	20	10	10
整形外科	1	0	1
耳鼻咽喉科	1	1	0
産婦人科	7	0	7
眼科	0	0	0
皮膚科	1	0	1
泌尿器科	12	9	3
小児科	0	0	0
形成外科	1	0	1
心臓血管内科	55	32	23
心臓血管外科	8	3	5
消化器内科	47	30	17
呼吸器内科	85	63	22
リウマチ科	3	2	1
脳神経外科	14	8	6
乳腺科	0	0	0
救急科	106	63	43
腫瘍内科	4	3	1
緩和ケア科	220	127	93
脊椎脊髄外科	2	2	0
総計	657	395	262

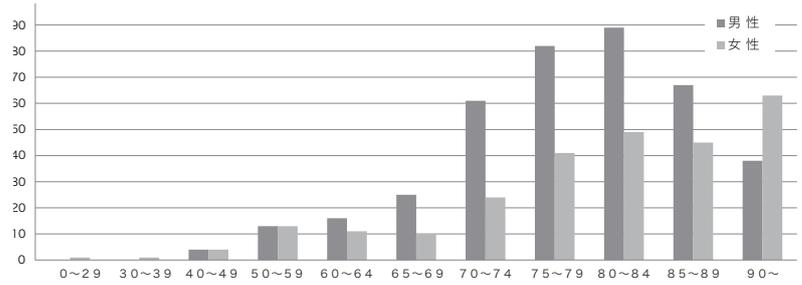
2024 年度診療科別・性別 死亡患者数



E. 年齢別・性別 死亡患者数

年齢区分	死亡患者数	男性	女性
0~29	1	0	1
30~39	1	0	1
40~49	8	4	4
50~59	26	13	13
60~64	27	16	11
65~69	35	25	10
70~74	85	61	24
75~79	123	82	41
80~84	138	89	49
85~89	112	67	45
90~	101	38	63
総計	657	395	262

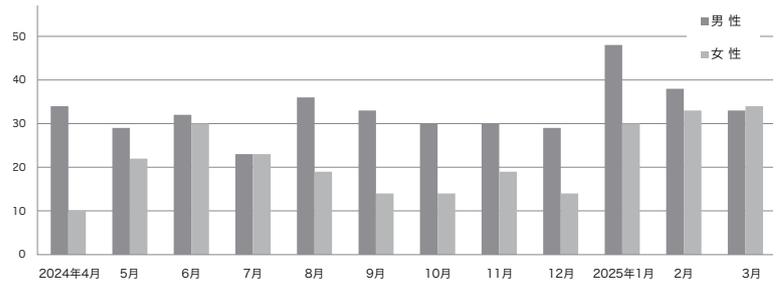
2024 年度年齢別・性別 死亡患者数



F. 月別・性別 死亡患者数

退院月	死亡患者数	男性	女性
2024年4月	44	34	10
5月	51	29	22
6月	62	32	30
7月	46	23	23
8月	55	36	19
9月	47	33	14
10月	44	30	14
11月	49	30	19
12月	43	29	14
2025年1月	78	48	30
2月	71	38	33
3月	67	33	34
総計	657	395	262

2024 年度月別・性別 死亡患者数

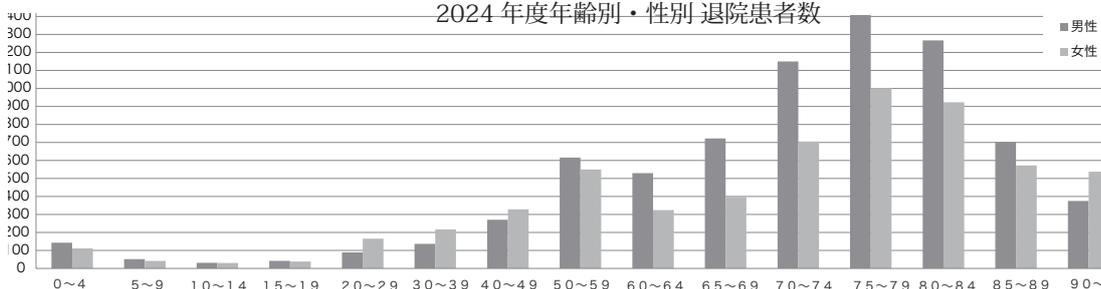


G. 年齢別・診療科別 退院患者数

年齢区分	総数	男性		女性		脳神経内科		糖尿病内科		血液内科		腎臓内科		呼吸器外科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		産婦人科		眼科		皮膚科		泌尿器科	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
0~4	254	143	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	94	52	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	5	3	8	0	0	1	0	0	0	0	0	
10~14	61	31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
15~19	80	42	38	3	0	0	0	0	0	0	1	0	6	5	4	2	5	1	2	1	0	12	0	0	0	0	4	0	
20~29	254	89	165	0	4	5	3	3	7	3	5	11	2	12	6	5	6	15	12	0	81	0	1	3	1	3	1		
30~39	353	136	217	6	6	10	6	8	1	7	17	7	1	18	11	6	4	15	8	0	116	2	0	3	2	1	4		
40~49	598	270	328	3	7	7	10	18	5	11	13	11	6	26	36	9	4	8	18	0	98	5	4	7	1	14	10		
50~59	1,166	616	550	14	15	17	13	4	13	18	28	15	21	79	37	20	26	18	17	0	85	32	19	5	6	34	18		
60~64	853	529	324	10	4	14	6	22	23	16	13	13	13	66	32	9	9	14	12	0	26	10	22	2	4	34	12		
65~69	1,119	722	397	15	8	14	12	41	16	23	6	26	17	72	34	14	26	13	4	0	45	23	43	7	2	56	13		
70~74	1,855	1,150	705	20	13	26	15	105	54	22	20	39	22	119	67	15	33	20	17	0	38	41	59	6	3	80	13		
75~79	2,409	1,408	1,001	28	18	16	21	73	50	36	13	47	28	147	108	10	50	11	20	0	28	79	136	6	7	127	36		
80~84	2,190	1,267	923	38	32	40	27	93	60	31	23	41	23	106	79	21	43	9	9	0	30	61	85	6	6	79	24		
85~89	1,274	702	572	20	29	18	17	40	21	18	18	11	4	51	46	11	30	4	2	0	7	24	46	2	10	48	9		
90~	912	375	537	16	30	3	14	19	24	4	17	5	7	14	20	14	35	3	4	0	1	20	24	3	10	26	17		
総計	13,472	7,532	5,940	174	166	170	144	426	274	190	173	232	149	716	479	152	277	143	134	0	567	298	439	50	52	507	157		

年齢区分	小児科		形成外科		心血管内科		心血管外科		消化器内科		呼吸器内科		リウマチ科		脳神経外科		乳腺科		救急科		腫瘍内科		緩和ケア科		脊椎骨髄外科	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
0~4	128	106	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5~9	38	26	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	15	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	1	2	1	3	1	0	0	0	3	1	1	2	0	0	3	0	0	0	5	9	0	0	0	0	2	0
20~29	0	0	1	3	2	2	1	0	10	9	2	2	0	4	0	0	1	7	16	0	0	0	0	2	3	
30~39	0	0	3	4	1	1	1	2	17	11	9	7	2	5	5	0	1	10	9	0	0	1	1	4	0	
40~49	0	0	4	4	21	7	0	2	73	31	24	12	0	10	4	6	0	13	9	16	2	0	0	3	14	12
50~59	0	0	3	3	72	16	20	6	158	124	42	22	4	10	19	12	0	22	20	23	1	0	4	4	17	10
60~64	0	0	3	1	52	16	13	6	117	53	71	23	1	8	14	5	0	6	16	12	3	4	9	6	20	8
65~69	0	0	8	3	76	28	20	6	205	67	45	27	1	6	11	7	0	9	16	6	14	0	9	6	13	6
70~74	0	0	3	5	130	56	25	11	257	120	117	48	13	12	18	19	0	19	33	18	16	4	27	25	18	14
75~79	0	0	3	8	173	81	36	22	305	178	155	77	6	16	34	23	0	6	44	26	15	1	30	30	27	18
80~84	0	0	3	4	181	90	26	24	249	146	127	79	18	11	24	24	0	17	52	42	13	2	28	26	21	17
85~89	0	0	5	1	121	78	19	15	98	88	64	37	9	6	25	18	1	6	52	60	9	2	36	10	16	12
90~	0	0	0	4	65	87	7	0	56	69	35	38	6	10	14	23	0	1	55	73	0	0	7	19	3	10
総計	182	157	47	50	895	462	168	94	1,548	897	692	374	60	94	180	137	1	101	320	310	73	13	151	130	157	110

2024 年度年齢別・性別 退院患者数



H. 診療科別 診療圏退院患者分布

a : 京都市内退院患者分布

診療科 / 地域	京 都 市 内										
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	伏見区
脳神経内科	3		2	3			3	12	40	171	3
糖尿病内科	1		2	2				14	24	165	4
血液内科	2	3	1	1		1		26	52	248	12
腎臓内科	1	1	2				1	18	40	160	4
呼吸器外科	4	1	1	3		2	1	13	30	148	7
外科	2	1	5	10			7	41	119	540	11
整形外科	4	2	3	3			1	22	40	211	1
耳鼻咽喉科			1			2		13	13	139	1
産婦人科		2		7		3	3	19	40	247	16
眼科	2	2	1			1	2	36	56	399	2
皮膚科								3	4	60	1
泌尿器科	2				1			22	51	341	9
小児科				1			4	34	20	206	7
形成外科	1					1	1	8	3	32	2
心血管内科	7		5	17	2	2	2	29	183	591	22
心血管外科	4	1		1			1	5	24	106	7
消化器内科	5	7	5	10		3	8	116	223	1,154	24
呼吸器内科	2	2	8	7		1	6	45	98	496	10
リウマチ科		1	1					10	14	58	2
脳神経外科	2	1	2	3			2	11	49	120	5
乳腺科							1	8	5	41	1
救急科	3	1	3	4		2	4	20	90	286	4
腫瘍内科							1		2	38	
緩和ケア科	3			3			2	11	30	127	3
脊椎脊髄外科	2			1		1		7	15	114	3
総 計	50	25	42	76	3	19	50	543	1,265	6,198	161

b : 地域別退院患者分布

診療科 / 地域	京都市	向日市	長岡京市	亀岡市	乙訓郡	京都府他・府下
脳神経内科	237	46	21	22	5	9
糖尿病内科	212	38	27	25	2	10
血液内科	346	74	103	123	22	32
腎臓内科	227	38	23	36	2	37
呼吸器外科	210	30	34	61	3	43
外科	736	151	76	163	8	61
整形外科	287	66	29	33	4	10
耳鼻咽喉科	169	45	10	39	1	13
産婦人科	337	81	40	65	6	38
眼科	501	126	33	51	3	23
皮膚科	68	14	8	8		4
泌尿器科	426	95	57	59	6	21
小児科	272	35	8	8		16
形成外科	48	17	3	19	1	9
心血管内科	860	181	92	159	10	55
心血管外科	149	21	20	45	2	25
消化器内科	1,555	287	164	318	21	100
呼吸器内科	675	140	82	124	5	40
リウマチ科	86	20	12	28	1	7
脳神経外科	195	32	18	45	1	26
乳腺科	56	26	9	7		4
救急科	417	67	23	82	4	37
腫瘍内科	41	5	3	9	8	20
緩和ケア科	179	36	29	24	5	8
脊椎脊髄外科	143	24	21	20	3	56
総 計	8,432	1,695	945	1,573	123	704

I. ICD-10 別 退院患者疾病分類

分類	疾病分類	件数
01	感染症及び寄生虫症 (A00~B99)	342
02	新生物 (C00~D48)	4,274
03	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50~D89)	101
04	内分泌、栄養及び代謝疾患 (E00~E90)	382
05	精神及び行動の障害 (F00~F99)	28
06	神経系の疾患 (G00~G99)	265
07	眼及び付属器の疾患 (H00~H59)	719
08	耳及び乳様突起の疾患 (H60~H95)	74
09	循環器系の疾患 (I00~I99)	1,953
10	呼吸器系の疾患 (J00~J99)	1,217
11	消化器系の疾患 (K00~K93)	1,539
12	皮膚及び皮下組織の疾患 (L00~L99)	127
13	筋骨格系及び結合組織の疾患 (M00~M99)	456
14	腎尿路生殖系系の疾患 (N00~N99)	689
15	妊娠、分娩及び産じょく(褥) (O00~O99)	150
16	周産期に発生した病態 (P00~P96)	28
17	先天奇形、変形及び染色体異常 (Q00~Q99)	21
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00~R99)	66
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00~T98)	770
20	傷病及び死亡の外因 (V01~Y98)	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00~Z99)	15
22	原因不明の新たな疾患又はエマーゼンシーコードの暫定分類 (U00~U49)	256
総計		13,472

J. DPC 診断群分類別 疾病構成

分類No	診断群分類	件数
01	神経系疾患	559
02	眼科疾患	731
03	耳鼻科疾患	316
04	呼吸器系疾患	1,898
05	循環器系疾患	1,594
06	消化器系疾患、肝臓・胆嚢・膵臓疾患	3,578
07	筋骨格系疾患	510
08	皮膚・皮下組織の疾患	151
09	乳房の疾患	86
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	435
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患	960
12	産褥期疾患・異常妊娠及び女性生殖系疾患	459
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	652
14	新生児疾患・先天奇形	44
15	小児疾患	29
16	外傷・熱傷・中毒	624
17	精神疾患	15
18	その他の疾患	554
19	DPC 対象外	277
総計		13,472

K. 悪性新生物診療科別 退院患者数

診療科	退院患者数	男性	女性	(再掲) 死亡患者数
脳神経内科	2	1	1	
糖尿病内科	2	2	0	
血液内科	448	265	183	24
腎臓内科	3	2	1	
呼吸器外科	203	108	95	1
整形外科	522	292	230	12
整形外科	1	1	0	
耳鼻咽喉科	54	30	24	1
産婦人科	139	0	139	6
眼科	0	0	0	
皮膚科	3	1	2	
泌尿器科	352	304	48	5
小児科	1	1	0	
形成外科	15	7	8	
心臓血管内科	2	2	0	1
心臓血管外科	0	0	0	
消化器内科	1,018	696	322	26
呼吸器内科	425	289	136	27
リウマチ科	1	1	0	
脳神経外科	5	2	3	
乳腺科	82	0	82	
救急科	1	0	1	1
腫瘍内科	68	59	9	4
緩和ケア科	266	144	122	218
脊椎脊髄外科	4	2	2	
総計	3,617	2,209	1,408	326

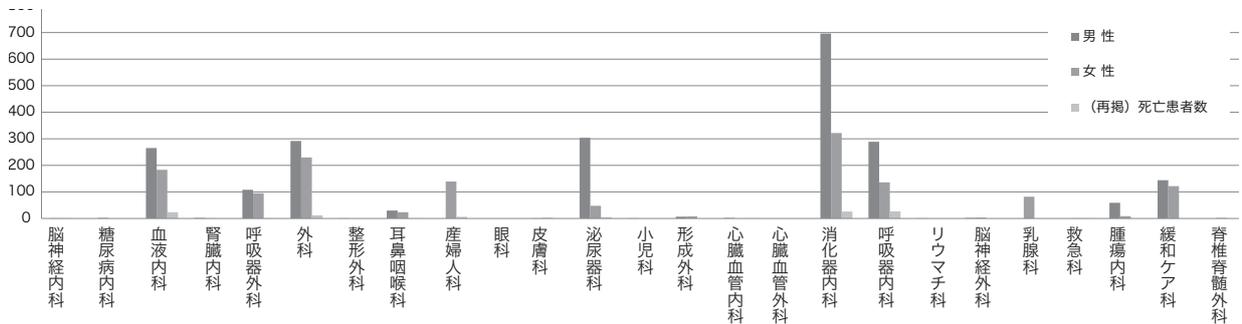
L. 悪性新生物部位別 退院患者数

腫瘍部位	退院患者数	(再掲) 死亡患者数
咽頭部	5	1
食道	211	14
胃	321	29
小腸	16	1
結腸	309	20
直腸・肛門	208	8
肝臓	153	23
胆のう・胆管	80	9
膵臓	335	38
喉頭部	35	4
肺	640	85
皮膚	16	1
軟部組織	16	4
乳房	89	6
子宮	74	5
卵巣	72	10
前立腺	165	10
腎臓	27	3
尿管	36	2
膀胱	130	1
甲状腺	13	0
脳悪性腫瘍	6	5
悪性リンパ腫	281	15
骨髄腫	38	4
白血病	156	14
その他	185	14
総計	3,617	326

M. 部位別治療実績

部位 / 治療	体腔鏡	外科治療	内視鏡	化学療法	放射線	カテーテル	骨髄移植	ラジオ波
咽頭部	2	1		15	2			
食道	10		39	71	9			
胃	43		73	88	12			
小腸	1	3	3	2	2			
結腸	66	8	43	76	11			
直腸・肛門	39	3	12	76	13			
肝臓	6	7		34	6	34		23
胆のう・胆管	2	6		33	1			
膵臓	9	15		108	10			
喉頭部								
肺	93	11		153	32			
皮膚		12		7	1			
軟部組織	3	2		6				
乳房		65		23	5			
子宮	14	6		30	1			
卵巣		9		18	3			
前立腺	28			56	8			
腎臓	9			7				
尿管	16			14	1			
膀胱	5	1	95	46	5			
甲状腺		13		3				
脳悪性腫瘍				1				
悪性リンパ腫				92	8		2	
骨髄腫				18	6		3	
白血病				73			4	
その他	31	9		69	12			

2024年度 悪性新生物診療科別 退院患者数



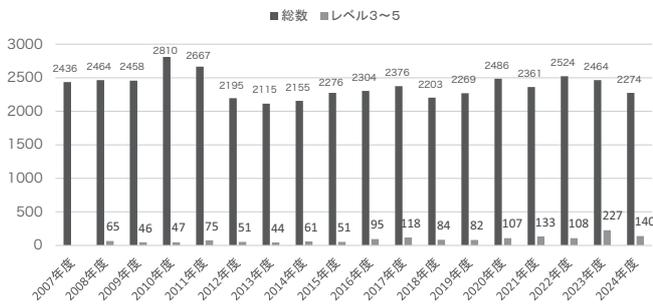
医療安全管理室

5 各部門の状況

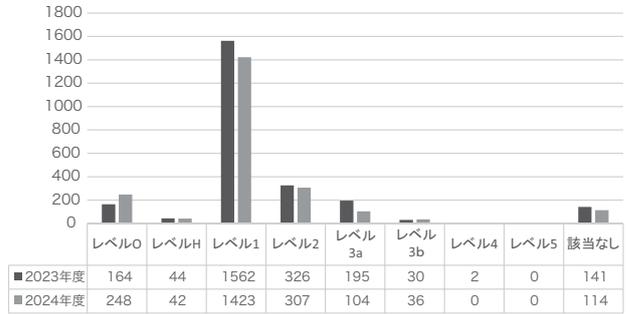
医療安全管理室

1. インシデント・アクシデント報告

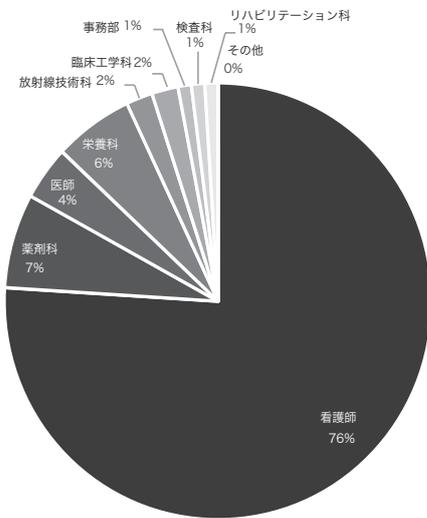
I/A 報告件数 年推移



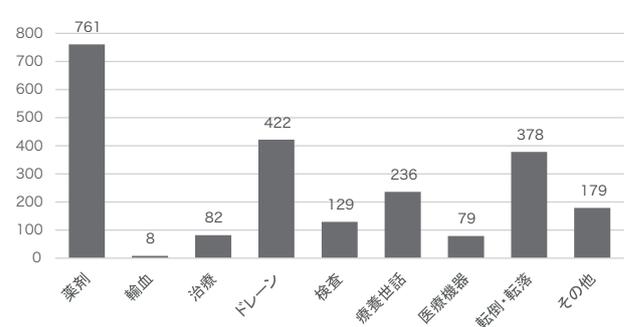
レベル別件数昨年度との比較



2024年度職種別報告

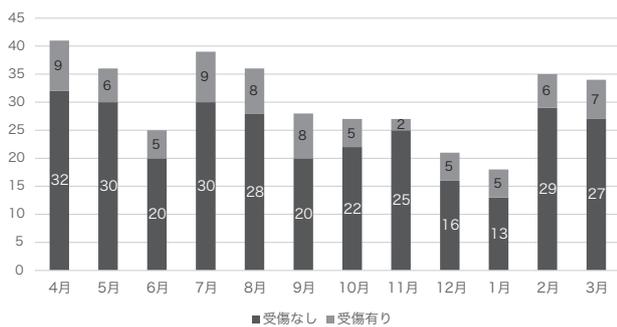


2024年度概要別件数

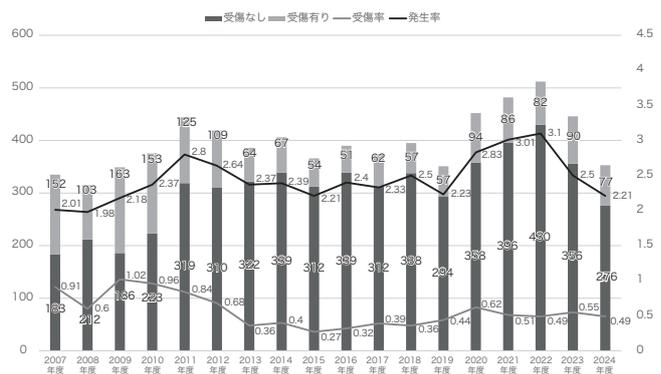


2. 転倒・転落

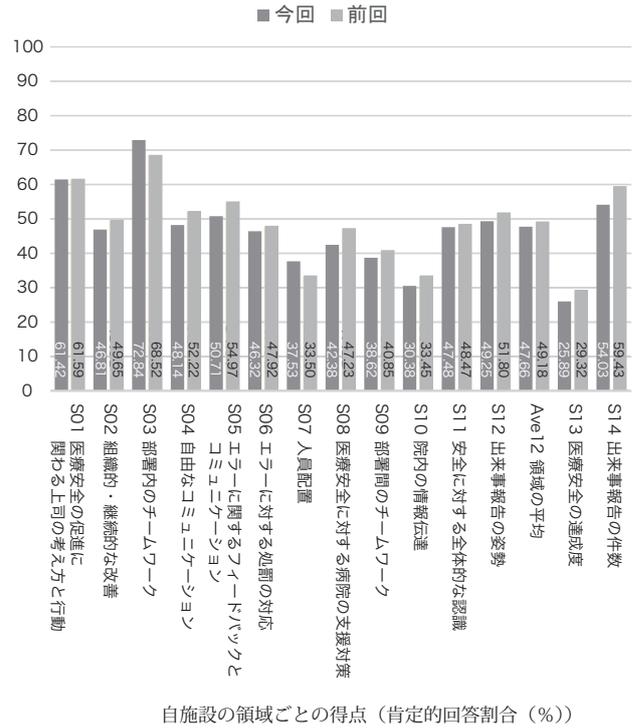
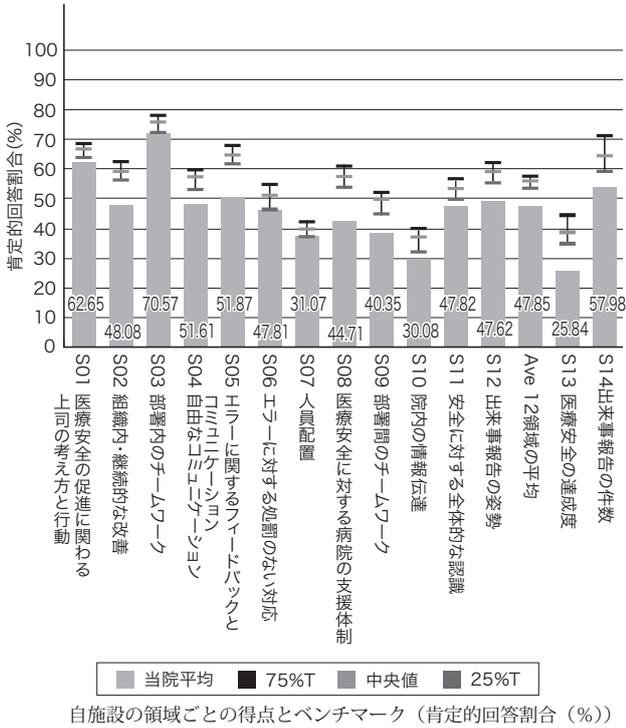
2024年度転倒・転落総件数（入院・外来）件



転倒・転落件数年次推移（入院患者）



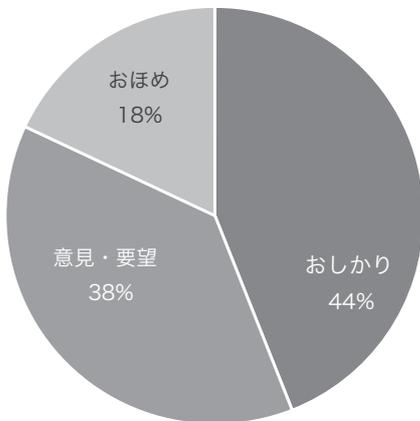
3. 医療安全文化調査結果



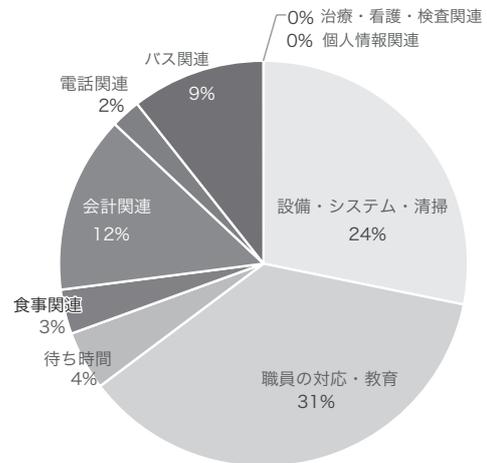
3. 医療安全文化調査結果

1) ご意見箱

2024 年度ご意見箱集計結果

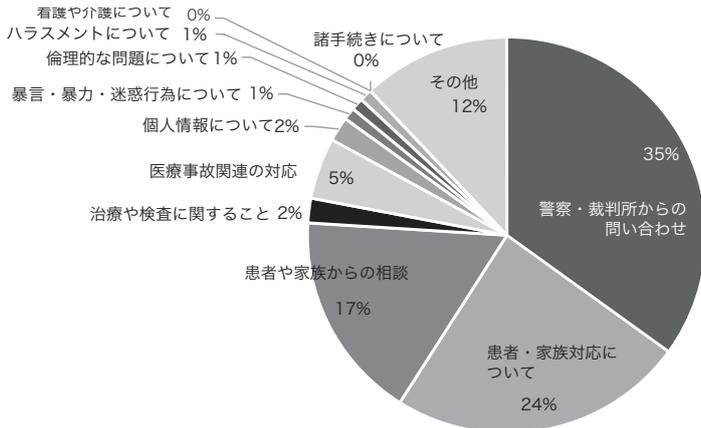


ご意見箱：苦情や意見の内容

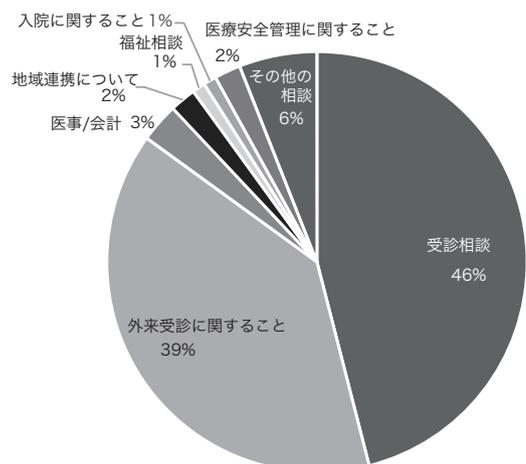


2) 相談対応

医療安全管理室：相談対応内容



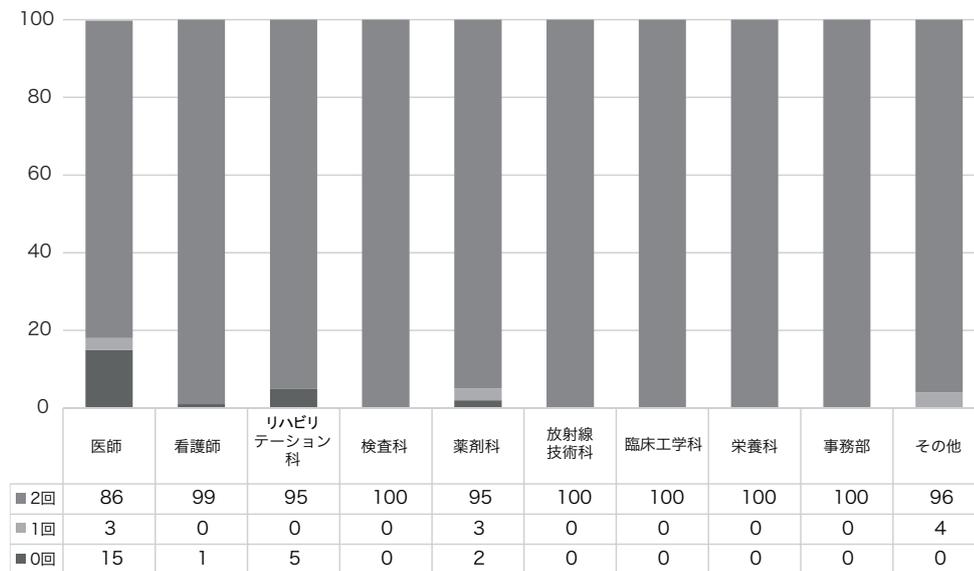
外来患者相談窓口



5. 医療安全研修

開催日	テーマ・内容	参加者
2024.7.9 cocri	DNAR ガイドラインについて	1,072 名
2024.6.7 2024.7.19	PICC 研修	25 名
2024.7.2 2024.7.29	C I C C 研修（講義及び演習）	15 名
2024.9.10 cocri	RRT とN ews スコア	1,029 名
2025.2.13	栄養科の安全管理について 医療安全文化調査報告	48 名
2025.2.28	講演会 どこまで治療をするべきか？の考え型・患者家族への話し方 - 救急・集中治療領域の緩和ケア - 飯塚病院 連携医療・緩和ケア科 石上雄一郎先生	88 名

2024 年度医療安全必須研修受講率



福祉相談室

常勤4名、非常勤1名のソーシャルワーカーが所属。がん相談支援センター・脳卒中相談窓口の業務と兼務している。福祉相談室のみの相談件数は昨年度（14,833件）より約2,000件以上増加しており人材確保・育成が必要。

場所：C棟1階

相談内容による集計と相談者別による集計で報告。

(1) 問題種別集計

問題種別名	問題種別内訳名	年度計
1. 経済問題	a. 医療費	703
	b. 室料	748
	c. その他	208
2. 諸制度の利用		4,020
3. 療養継続困難－外来	a. 他への連携	756
	b. 老人	330
	c. 単身	277
	d. ターミナル	185
	e. 精神	3,658
	f. 周産期	679
	g. その他	195
3. 療養継続困難－入院	a. 他への連携	117
	b. 老人	133
	c. 単身	429
	d. ターミナル	353
	e. 精神	161
	f. 周産期	68
	g. その他	284
4. 退院支援困難	a. 身寄りなし、キーパーソン不在	1,201
	b. 精神疾患等	243
	c. 経済問題	166
	d. 意思決定困難	10
	g. その他	307
5. ケアマネ業務		7
5. 介護保険代行申請		330
6. 社会生活の相談		75
7. 虐待関連	a. 子ども	838
	b. DV	35
	c. 高齢者	278
	d. 障害者	15
8. 院内他部署の相談		81
8. 院外の相談		90
9. 傾聴のみ		67
10. その他	a. 病院への苦情	17
	b. その他	93
合 計		17,157

(2) 相談者別集計

	相談者カテゴリー	年度計
	本人のみ	3,294
	家族のみ	1,682
	本人と家族	515
	その他（含む不明）	104
(院内)	救急科医師	99
	精神科医師	703
	外来 看護師	670
	外来 クラーク	445
	文書受付	77
	医師事務 補助者	265
	医事課	802
	医師	616
	病棟 看護師	1,205
	病棟 クラーク	112
	その他 (PT・OT・ST・臨床心理士・薬剤師)	288
	(院外)	行政（高齢担当）
行政（障害担当）		545
行政（子ども担当）		1,265
行政（生活保護）		401
行政（その他）		223
高齢相談窓口（ケアマネ、包括）		846
障害相談窓口（支援センター）		363
精神科 訪問看護		847
その他 (後見人・施設職員・学校など)		1,550
合 計		17,157

■ 院外研修等

<石田・村田>

- ・ 佛教大学 社会福祉士養成課程における実習 指導
- ・ 東京通信大学 社会福祉士養成課程における実習 指導
- ・ 令和6年度 自殺ハイリスク者等支援研修会
- ・ 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」処方薬市販薬のオーバードーズの当事者

<石田>

- ・ 青少年のオーバードーズについて～どのように理解し支援するか～
- ・ 精神疾患と触法行為を考える～再発防止・支援の取り組み～
- ・ 同志社大学精神医学講座担当

<村田>

- ・ 令和6年度京都府高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議
- ・ 脳卒中後の自動車運転再開支援

<小野寺>

- ・ 京都福祉医療施設協議会 医療ソーシャルワーカー部会 6回

心理相談室

心理相談室では常勤2名および非常勤の臨床心理士が、患者とその家族に対して、心理検査、心理療法、臨床心理学的援助を行っている。

1. 精神科外来

知能／発達検査・認知機能検査・人格検査などの心理検査と、カウンセリング・遊戯療法・箱庭療法などの心理療法を行っている。対象は幼児から高齢者まで様々である。

2. 小児科外来

神経発達外来において、知能／発達検査・認知機能検査・人格検査などの心理検査と、不登校や心身症などを抱える子どもと親の心理療法を行っている。

3. 乳腺科

多職種による乳腺チームによって、乳癌患者および家族の支援を行っている。医師、看護師（外来・病棟）、作業療法士、薬剤師、MSW、遺伝カウンセラー、臨床心理士によるカンファレンスを開催し、必要に応じて緩和ケア科医師にもご参加いただいている。

臨床心理士は告知時と周術期、再発時、終末期を中心に関わっている。

4. 各科病棟

依頼のあった入院患者とその家族に対して、臨床心理学的援助を行っている。悪性腫瘍の患者・家族に対して、緩和ケアチームの一員あるいはがん相談支援センター相談員として関わることや、集中治療室の患者・家族に対して、入院時重症患者対応メディエーターとして関わることもある。また、小児がん・AYAがん患者の長期フォローアップ外来を開設するとともに、AYAサポートチームとして活動している。

5. 職員

職種や雇用形態を問わず、常時心理相談を受け付けている。

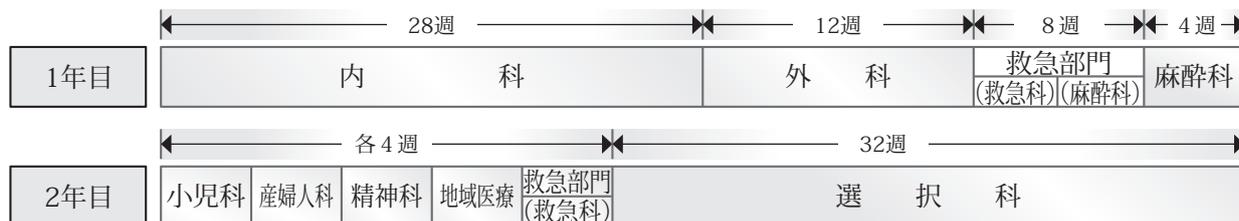
表. 面接のべ件数 (2024年4月～2025年3月)

精神科外来	心理検査	150		531	
	心理療法	381			
小児科外来	心理検査	85		290	
	心理療法	患児	111		205
		親	94		
乳腺科	1,193				
各科病棟	225				
職員・学生	36				
合計	2,275				

研修管理事務局

京都桂病院臨床研修プログラム

研修スケジュール



※ローテート順は各研修医により異なる。

*内科：循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、膠原病・リウマチ科

*外科：選択外科8週、消化器外科4週。

*精神科：当院にて外来研修。

*地域医療：天王山草野クリニック、丹後中央病院、にしかわクリニック、大塚医院、よしき往診クリニック

研修管理事務局年間スケジュール

日程	内 容	マッチング
4月	新研修医オリエンテーション	
5月	民間医局主催 レジナビFair	登録開始
	民間医局主催 レジナビFair	
6月	民間医局主催 レジナビFair オンライン	
	レジビナー（京大たすき説明会）	
8月	研修医選考試験①	
	研修医選考試験②	
9月	研修医選考判定会議	順位登録・中間発表
	民間医局主催 レジナビFair	
10月		結果発表
2月	医師臨床病院説明会（オンライン）	
3月		国家試験結果発表

研修管理事務局定例スケジュール

日 程	内 容
毎月第3金曜日 17時45分～	研修医連絡会議
年5～6回	CPC
毎月第3水曜日 12時～	IMEC-K
毎月第3金曜日 18時～	研修管理・指導医委員会
毎月第4月曜日 18時～	BLS
年3回	ICLS
年2回（夏・冬）	研修医ヒアリング
年1回（冬）	アンケート実施
毎週火曜日 7時30分～	読影勉強会
毎週水曜日 7時15分～	救急勉強会
毎週金曜日 18時～	研修医勉強会

研修管理委員会・指導医委員会メンバー

医 師	46名
看 護 師	1名
事 務	3名
連携病院・施設委員	12名
外部委員	2名
計	64名

協力型病院

いわくら病院	（精神科）
新京都南病院	（救急科）

協力型施設

天王山草野クリニック	（地域医療）
丹後中央病院	（地域医療）
にしかわクリニック	（地域医療）
大塚医院	（地域医療）
よしき往診クリニック	（地域医療）
かみや小児科医院	（地域医療）
よしおかこどもクリニック	（地域医療）
青木小児科医院	（地域医療）
山内医院	（地域医療）

見学者数

	初期研修	後期研修
平成22年度	81名	15名
平成23年度	71名	20名
平成24年度	54名 (70)	12名 (13)
平成25年度	53名 (68)	10名 (11)
平成26年度	57名 (65)	13名 (16)
平成27年度	64名 (74)	12名 (15)
平成28年度	69名 (83)	12名 (12)
平成29年度	75名 (87.5)	1名 (1)
平成30年度	89名 (110)	7名 (7)
平成31年度 (令和元年度)	83名 (90)	8名 (8)
令和2年度	69名 (81)	8名 (8)
令和3年度	91名 (104)	6名 (6)
令和4年度	104名 (119)	7名 (7)
令和5年度	110名 (120)	6名 (6)
令和6年度	109名 (158)	8名 (8)

※()は延人数

京都大学からの臨床実習 (イレクティブ実習) 受け入れ

	受け入れ人数	実習診療科
平成22年度	7名	眼科、消内、血内、糖内
平成23年度	11名	消内、血内、糖内、小児科
平成24年度	7名	消内、血内
平成25年度	8名	消内、血内、糖内
平成26年度	40名	血内、糖内、産婦、小児科
平成27年度	31名	血内、糖内、産婦、小児科
平成28年度	31名	血内、膠原、産婦、小児科
平成29年度	52名	血内、膠原、産婦、小児科、外科、腎内
平成30年度	54名	血内、膠原、産婦、小児科、外科、腎内、糖内、精神
平成31年度 (令和元年度)	30名	血内、膠原、産婦、外科、腎内、糖内
令和2年度	10名	血内、膠原、外科、腎内
令和3年度	23名	血内、外科、糖内、膠原、産婦
令和4年度	18名	血内、膠原、産婦、外科、腎内、糖内
令和5年度	24名	血内、膠原、産婦、外科、腎内、糖内
令和6年度	34名	血内、膠原、産婦、外科、腎内、糖内、呼外

京都府立医科大学からの臨床実習 (クリニカルクラークシップⅡ) 受け入れ

	受け入れ人数	実習診療科
令和6年度	2名	循内

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 137 回日本循環器学会近畿地方会	2024.05	平尾 洋太郎	COVID-19 劇症型心筋炎に対して補助循環デバイスを用いて救命した一例	大阪市
第 52 回日本血管外科学会学術総会	2024.05	吉田 裕史	EVAR typeIIendoleak 治療後 呼吸困難を主訴に判明した腹部大動脈原発 Angiosarcoma の 1 例	別府市
第 132 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会	2024.07	柏木 郁実	COVID-19 の持続感染を契機に発見された Good 症候群の 1 例	大阪市
日本消化器病学会近畿支部 第 121 回例会	2024.09	若林 輝	5-ASA 製剤による薬剤性肺炎を発症した潰瘍性大腸炎の一例	京都市
日本消化器病学会近畿支部第 121 回例会	2024.09	中川 理花	Klebsiella pneumoniae による侵襲性肝膿瘍症候群を発症し、眼内炎に至った一例	京都市
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会	2024.10	高橋 知暉	門脈圧亢進による肝性脳症をきたした多発性嚢胞腎の 1 例	姫路市
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会	2024.10	大辻 寛子	血液透析を要した APS 腎症に対し、ワーファリン・ACE 阻害薬による加療が奏功した 1 例	姫路市
第 67 回日本甲状腺学会学術集会	2024.10	須川 健	甲状腺全摘術後の急激な甲状腺機能低下によるミオパチーを呈したバセドウ病の 1 例	横浜市
第 86 回日本臨床外科学会学術集会	2024.11	吉田 裕史	肝門部神経鞘腫に対して腹腔鏡下腫瘍摘出術を施行した一例	宇都宮市
第 208 回近畿外科学会	2025.03	高橋 知暉	Kugel 法術後の再発性鼠径ヘルニアに対して TAPP が可能であった 1 例	大阪市
第 208 回近畿外科学会	2025.03	水本 妃早子	結腸左半切除後の EVAR 施行時、審査腹腔鏡下に ICG で腸管血流評価した 1 例	大阪市

感染対策室

感染管理を専門とする医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師等から構成される感染対策チーム（Infection Control Team: ICT）が中心となり、各部門と連携のもとで以下の活動をおこなった。

新型コロナ感染症の感染症法上の位置づけが、2023年5月8日から2類から5類に移行し、行政にヨル様々な規制が緩和された一方、各施設独自で感染対策のルールを作成が必要となり、当院でも患者、職員のマニュアルを見直し、引き続いて感染拡大の防止に努めた。

5

各部門の状況

感染対策室

■ 活動報告

- ① 院内感染対策委員会の開催（毎月1回）
- ② 院内感染対策マニュアルの作成と改訂
- ③ 病棟の巡視（毎週1回）
- ④ 手指衛生ラウンド（毎週1回）
- ⑤ 院内感染対策支援・コンサルテーション
- ⑥ 感染症サーベイランス
 - ・ 耐性菌サーベイランス
 - ・ 医療デバイス関連感染サーベイランス
 - ・ 手指衛生の調査
- ⑦ 職員に対する感染防止対策
 - ・ ワクチン抗体価の把握、およびワクチンの接種
 - ・ 針刺し・体液曝露対応
 - ・ 結核対策
- ⑧ 院内環境整備
- ⑨ 抗菌薬適正使用支援 (AST)
- ⑩ 職員に対する感染対策に関わる教育および情報提供
 - ・ 新入職者対象研修「感染対策研修」
 - ・ 新人看護師・薬剤師・リハビリ対象研修「感染対策研修会」
 - ・ 中途採用者研修「感染対策研修会」日時：10月4日、2月14日 講師：感染管理認定看護師 中村 考志
 - ・ 感染対策研修会①「疥癬対策について」 講師：皮膚科部長 石川 牧子 日時：2024年07月30日
 - ・ 感染対策研修会②「CRE感染対策」 講師：腎臓内科副部長・感染症専門医 大棟 浩平 日時：2025年1月24日
 - ・ 抗菌薬適正使用研修会①「WHOが推奨する新しい抗菌薬適正使用の基準分類 AWaRe って何？あわれ？」
講師：薬剤科 堀内 望 日時：2024年07月30日
 - ・ 抗菌薬適正使用研修会②「肺炎治療薬の選択～肺炎診療ガイドライン2024を読み解く～」
講師：薬剤科 中津川 瑛美 日時：2025年1月14日
 - ・ ICTニュースの発行（毎月）
- < 院外教育 >
 - ・ 京都中央看護保健大学校「感染症と看護」講師 計8回講義
 - ・ 京都看護大学 看護の智協働開発センター 感染管理認定看護師教育課程 専門教科講師
- < 実習生受け入れ施設 >
 - ・ 京都府看護協会 新興感染症対策に関する看護師養成研修 2施設計4名実習受け入れ
 - ・ 院外感染対策及び抗菌薬コンサル件数 8件/年
- ⑪ 地域の医療機関との連携
 - ・ 地域の医療機関と年4回合同カンファレンス（新興感染症訓練含む）
参加施設：西京都病院、洛西シミズ病院、向日回生病院、千春会病院、京都市医療衛生企画課医務担当（京都市保健所）、乙訓保健所
日時：6月10日 テーマ「疥癬の感染症対策」
9月9日 テーマ「感染症に関わる診療報酬改定・最近の新型コロナ対策について」
12月9日 テーマ「新興感染症訓練：新興感染症から地域を守れ！」
2月10日 テーマ「インフルエンザ対策」17:30～18:30
 - ・ 診療所・クリニック対象
参加施設：桂川さいとう内科循環器クリニック・ふなきクリニック・かまの外科医院・西大丸診療所・どいクリニック・まつい内科呼吸器科医院・まつざき内科クリニック・岩瀬医院・にしかわクリニック・ひがき小児科医院・タケダ内科医院・いわせ内科クリニック・かさはら内科医院・林檎原診療所

- ① 感染対策合同カンファレンス 2024年5月28日(月) 14:00～15:00
テーマ「外来感染対策向上加算に関する施設基準・連携強化加算」
- ② 新興感染症訓練 2024年10月28日(月) 14:00～
テーマ「新興感染症を想定した机上訓練」
- ・感染防止対策の相互監査
三菱京都病院 ICTによる当院の訪問ラウンド 日時:2024年9月30日 13:30～
済生会京都府病院へ ICT 訪問ラウンド 日時:2024年9月24日 14:00～
 - ・感染防止対策ラウンド
 - ① 洛西シミズ病院 日時:11月12日 14:00～15:00
 - ② 千春会病院 日時:1月12日 14:00～15:00
 - ③ 西京都病院 日時:2月17日 13:30～14:00
 - ④ タケダ内科医院 日時:3月10日 13:00～14:00
 - ・クラスター発生施設訪問指導ラウンド 1施設
 - ・疥癬アウトブレイク発生施設訪問ラウンド施設 日時6月、10月

■ 組織

氏名	職種	認定/資格など
菱澤 方勝	医師	血液内科専門医 Infection control doctor (ICD)
中村 考志	看護師	感染管理認定看護師 (CNIC)
谷 みゆき	看護師	感染管理特定認定看護師 (CNIC)
谷口 文代	看護部長	感染管理認定看護師 (CNIC)
堀内 望	薬剤師	抗菌化学療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師
漣 航平	薬剤師	抗菌化学療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師
松尾 基樹	薬剤師	感染制御認定薬剤師
中津川 瑛美	薬剤師	感染制御専門薬剤師
蔵敷 恵美	検査技師	
渡辺 晴美	検査技師	
山本 由奈	検査技師	
山本 正樹	医師(非常勤)	日本感染症学会認定指導医

6 各委員会の報告

褥瘡予防対策委員会

2024 年度褥瘡発生状況 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
保有件数	44	46	43	36	66	62	47	47	53	90	85	68	57
持込件数	16	13	22	15	45	31	21	29	27	47	33	16	26
当院発生件数	14	15	10	15	9	8	12	12	13	21	16	21	14
褥瘡有病率	3.26	3.25	3.01	1.98	2.79	3.86	3.23	3.07	2.98	5.11	6.22	2.62	3.45
褥瘡推定発生率	1.52	1.79	1.29	0.78	0.82	0.57	1.10	1.62	1.57	1.96	1.75	1.25	1.34

2024 年度発生場所別重症度

	d1	d2	D3	D4	D5	U	DTI
持込	13	157	72	0	0	79	0
当院発生	4	105	23	0	0	33	0

DESIGN-R (深さ評価)	
d 1	: 持続する発赤
d 2	: 真皮までの損傷
D 3	: 皮下組織までの損傷
D 4	: 皮下組織を越える損傷
D 5	: 関節腔・体腔に至る損傷
U	: 深さ判定が不能の場合

2024 年度発生部位

	肩部	肩甲骨部	脊柱部	大転子部	腸骨部	仙骨部	尾骨部	坐骨部	踵骨部	外踝部	足趾部	その他
持込	0	9	16	29	9	103	47	11	28	12	5	51
当院発生	4	0	9	5	4	62	47	2	16	5	0	12

当院褥瘡発生率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2022 年度	2.02	1.20	1.00	1.01	2.06	1.17	1.77	1.69	2.15	3.24	1.71	1.28	1.69
2023 年度	1.12	1.99	3.10	2.35	2.86	3.18	1.96	1.29	0.82	0.68	1.21	1.12	1.81
2024 年度	1.52	1.79	1.29	0.78	0.82	0.57	1.10	1.62	1.57	1.96	1.75	1.25	1.34

当院治癒率

	全発生数	当院治癒	当院治癒 / 全発生 * 100		当院治癒 / 当院発生 * 100	
			全治癒率	当院発生	当院発生 → 当院治癒	当院治癒率
2022 年度	425	193	45.41	189	93	49.21
2023 年度	482	228	47.20	213	103	48.36
2024 年度	487	236	48.46	166	82	49.40

平均治癒期間

	平均治癒期間	当院発生 平均治癒期間
2022 年度	12.33	12.20
2023 年度	11.56	11.87
2024 年度	11.81	10.24

学術委員会

学術委員会では講演会・ヒルトップセミナーを開催しました。

■ 学術講演会 於：京都桂病院ホール

講演日		講演者		演題名	参加人数	
1	2024 6/6	第114回	栄養科	白木原 梨央さん	当院脳卒中センターから回復期リハビリテーション病院に転院した脳卒中患者の栄養とリハビリに関する調査	28名
			RH科	周藤 共生さん	呼吸器疾患急性期における呼吸困難と抑うつとの関係	
2	2024 9/5	第115回	泌尿器科	小河 孝輔先生	男性医師が育児休暇を取って見えた世界	40名
			情報企画室	加納 和哉さん	法改正に伴う臨床工学技士の業務拡大と当院の取り組み	
3	2024 11/7	第116回	検査科	横山 健輔さん	ルールを覚えて心電図を読み解こう！	47名
			薬剤科	溝手 彩さん	CKD治療にかかわる腎臓病療養指導士として	
4	2025 2/3	第117回	産婦人科	川口 雄亮先生	子宮体癌 ～センチネルリンパ節生検～	36名
			脊椎脊髄外科	五百蔵 義彦先生	術後の回復を早める脊椎手術 FESS	

■ 桂ヒルトップセミナー 於：京都桂病院ホール

講演日		講演者		演題名	参加人数	
1	2024 4/18	第50回	血液内科	菱澤 方勝先生	悪性リンパ腫の病型分類と治療～最近の知見を中心に～	45名
2	2024 7/18	第51回	産婦人科	芦原 隆仁先生	婦人科腫瘍診療における最近のトピックス	23名

■ 京都桂病院論文賞

学術委員会で「京都桂病院論文賞」を創設しました。

論文賞の選出基準は、年報に掲載された原著論文で査読のあるものを対象とし、第一著者が当院所属または、執筆当時当院所属であった著者です。

今回は2022年度の年報に掲載された論文の中から選出を行いました。今後、順次年度を追って選考を行います。

○最優秀賞：薬剤科 土手 賢史さん

「Risk of a second cancer and infection in patients with indolent B-cell lymphoma exposed to first-line bendamustine plus rituximab : A retrospective analysis of an administrative claims database」

○優秀賞2位：消化器内科 田中 泰敬先生

「Magnifying Narrow-Band Imaging with Acetic Acid Spray for Superficial Non-Ampullary Duodenal Epithelial Tumors Based on the Mucin Phenotype」

○優秀賞3位：放射線科治療部 伊藤 仁先生

「Appropriate Patient Status for Ra-223 Treatment in the Treatment Sequence for Castration-resistant Prostate Cancer」

○奨励賞1位：救急科 安尾 俊祐先生

「Diagnostic accuracy of urinary antigen tests for pneumococcal pneumonia among patients with acute respiratory failure suspected pneumonia : a systematic review and meta-analysis」

○奨励賞2位：放射線技術科 樋口 大規さん

「Evaluation of internal margins for prostate for step and shoot intensity - modulated radiation therapy and volumetric modulated arc therapy using different margin formulas」

○奨励賞3位：放射線科診断部 渡邊 幸香先生

「A Volumetric Analysis of Coronary Calcification on Non-Electrocardiogram-Gated Chest Computed Tomography Using Commercially Available Deep-Learning Artificial Intelligence」

職員教育研修委員会

研修会の企画運営

コース	開催日時	講師	内容	参加人数
新採用者 研修	4/1 (月)	人事課	オリエンテーション	98名
	5/28 (金)	中村 考志 (感染管理認定看護師)	感染防止対策	15名
	6/20 (木)	岡田 依子 (医療安全管理室室長)	医療安全対策 (KYT)	21名
	7/11 (木) 7/19 (金)	岡田 依子 (医療安全管理室室長)	医療安全対策 (チームコミュニケーション)	42名
	7/17 (水) 10/16 (水) 2/19 (水)	伊佐 将人 (産業医)	メンタルヘルス (セルフケア)	各 42名
3年目 研修	① 9/6 (金) ② 9/27 (金)	森 修吉 (職員教育委員会副委員長) 谷口 文代 (職員教育委員会委員長)	「BART で組織を理解する」 ～病院職員としての自覚を高める～	38名
中途 採用者 研修	① 10/4 (金) ② 2/14 (金)	岡田 依子 (医療安全管理室室長)	医療安全対策	① 6名 ② 10名
		中村 考志 (感染管理認定看護師)	感染防止対策	
		伊佐 将人 (産業医)	メンタルヘルスケア	
役職者 研修	7/5 (金)	若園 吉裕 (院長)	医療を取り巻く環境	25名
		志賀 徹也 (事務部長)	病院の経営と運営	
		谷口 文代 (看護部長)	組織とマネジメント	
役職者 研修	12/6 (金) 12/10 (火)	谷口 文代 (看護部長) 岡田 依子 (医療安全室長)	心理的安全性の高い組織をつくる	86名
全体研修	11/15 (金)	福岡 かつよ氏 (ラポール株式会社代表取締役)	医療の現場における接遇研修	39名

クリニカルパス委員会

【組織】

委員長	医師	中久木 卓也（脳神経外科）
副委員長	医師	高橋 亮（脳神経外科）
	看護師	須摩谷 あいこ（G5病棟）
書記	クリニカルパス事務局	山本 幸代、谷藤 風花
委員	医師	栗本 雅史（眼科）、長嶋 一昭（糖尿病・内分泌内科）、植田 知代子（緩和ケア科） → 林 裕美（血液内科）、溝渕 正寛（心臓血管内科）、東 修平（心臓血管外科）、 山田 義人（呼吸器外科）、近藤 尚哉（腎臓内科）、水津 愛（産婦人科）、 奥谷 祐希（整形外科）、荒木 理（消化器内科）、小河 孝輔（泌尿器科）
	看護師	宮田 亜希子（H5病棟）、田淵 陽子 → 望月 都（A5病棟）
	検査科	織田 誠
	薬剤科	土手 賢史（～2024.12）
	放射線科	鳥居 史子
	リハビリテーションセンター	森崎 勇貴、福井 宣善
	臨床工学科	山下 友樹
	栄養科	安達 唯 → 長谷川 日菜
	医事課	吉田 周平
	診療情報管理室	成瀬 杏子

【定例委員会】

日時・場所	内容	
2024年5月21日（火） 17:30～ ホール	1. パス勉強会について 2. パス未終了について 3. 今後のパス委員会について	4. 改定登録パス 5. 新規登録パス 6. 新規パス作成中
2024年6月18日（火） 17:30～ ホール	1. パス事務局新体制について 2. 今後のパス委員会について （Gmailを使った委員会運用について）	3. 医療用パス保存時のコメント追加について 4. 改定登録パス 5. 新規登録パス
2024年7月16日（火） 17:30～ ホール	1. パス未終了について 2. Gmailのチャット機能を活用して委員会活動について	3. 今年度パス委員会の予定 4. 改定登録パス 5. 新規パス作成中
2024年9月17日（火） 17:30～ ホール	1. 栄養科より「食事内容の小規模な変更についての権限の許可依頼」について（別紙参照） 2. パスアンケートについて 3. 改定登録パス	4. 新規登録パス 5. パス作成について 6. 講演会等について
2024年12月17日（火） 17:30～ ホール	1. 講演会について 2. 紙媒体の開催お知らせの廃止について 3. 血液内科 新規マップについて	4. 改定登録パス 5. 改定登録マップ
2025年1月21日（火） 17:30～ ホール	1. パス委員 薬剤科について 2. 講演会について 3. パス未終了について	4. 改定登録パス
2025年3月18日（火） 17:30～ ホール	1. 講演会について 2. 改定登録パス・マップ 3. 新規作成中マップ	4. その他

NST (Nutrition Support Team) 委員会

■ 組織

委員長	医師	畦地 英全 (消化器内科)
副委員長	管理栄養士	川手 由香 (栄養科・NST 事務局)
委員	医師	長嶋 一昭 (糖尿病・内分泌内科)、宮田 仁美 (腎臓内科)、寺坂 勇亮 (救急科)、伏谷 仁志 (外科)、岡田 春太郎 (呼吸器外科)、水津 愛 (産婦人科)
	看護師	津田 恵美子、伊藤 貢江
	管理栄養士	池田 芙美、稲葉 直子、白木原 梨央、森本 瑞代、高砂美有
	薬剤師	野崎 歩、馬橋 美由季、吉川 和美
	臨床検査技師	日浦 佑美
	理学療法士	村田 拓巳
	言語聴覚士	浅野 哲郎
	医事課	野路 久恵

■ 2024 年度の支援状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
261	203	215	220	294	288	239	254	211	256	290	268	2,999

■ 研修生

① 院内 修了状況 (人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
看護師	4	1	0	0	2	9	6
薬剤師	5	1	0	0	2	4	0
管理栄養士	1	1	0	0	2	3	1
他	0	0	0	0	3	1	0
計	10	3	0	0	9	17	7

② 院外 修了状況 (人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
看護師	2	0	6	5	2	9	1
薬剤師	4	1	1	4	0	4	0
管理栄養士	3	1	4	2	0	3	2
他	0	0	1	0	0	1	1
計	9	2	12	11	2	17	4

■ 勉強会

- 7/26 (金) NST 勉強会「NST Festival」 NST 委員
- 11/8 (金) NST 特別講演会「幸せに健康に長寿を迎えるための新しい栄養学」
京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学 教授 内藤 裕二 先生
- 12/13 (金) NST 勉強会「日本語版重症患者の栄養療法ガイドライン 2024 を紐解く」
京都桂病院 救急科 部長 寺坂勇亮 先生
- 3/8 (金) NST 特別講演会「NST 活動の成果と残された課題」
甲南女子大学 医療栄養学科 教授 佐々木 雅也先生

■ 学会発表 / 学会講演

学会名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 69 回日本透析医学会学術集会・総会	2024.6	川手 由香 (管理栄養士)	CKD 全期を通じた腎臓リハビリテーションを支える栄養管理	横浜市
第 40 回日本栄養治療学会学術集会	2025.2	白木原 梨央 (管理栄養士)	多職種連携による早期栄養介入管理加算、早期経腸栄養開始の舵取りの効果	横浜市
第 40 回日本栄養治療学会学術集会	2025.2	高砂 美有 (管理栄養士)	胃切術後患者における術前 CONUT 及び NRS2002 と術後の体重と食事摂取量の関連性の検討	横浜市

■ その他 (研究会発表・講演など)

講演名	年月日	発表者名	演題名	場所
第 17 回日本 CKD チーム医療研究会	2024.9	川手 由香 (管理栄養士)	私たちの地域における「腎臓病療養指導士の会」の取り組みを紹介します	東京都

京都桂病院年報

2024 年版

発行日 2026 年 3 月

編集・発行

社会福祉法人 京都社会事業財団

京 都 桂 病 院

〒615-8256

京都市西京区山田平尾町17

TEL (075) 391-5811(代)
